ヘラフナ釣りをする矢口先生。左となりは大間旭国（現大島親方）。

スッと吸いこんだ瞬間、ボクは鋭くあわせた。とたんに肩が抜けるような衝撃がはしった。二、三分のファイトも二、三十分に感じられた。静かに、慎重に糸をたぐりながら、ソッとメガホンを池の中につっこみ、グイとその中に鯉を引きこんだ。泥棒釣り大成功の一幕であった。

（「あとがき」より）

（カバーデザイン　日本ヘリエールアートセンター）

釣りキチ三平

KCSP 160

釣りキチ三平

第4集

コイ釣り編

矢口高雄

講談社

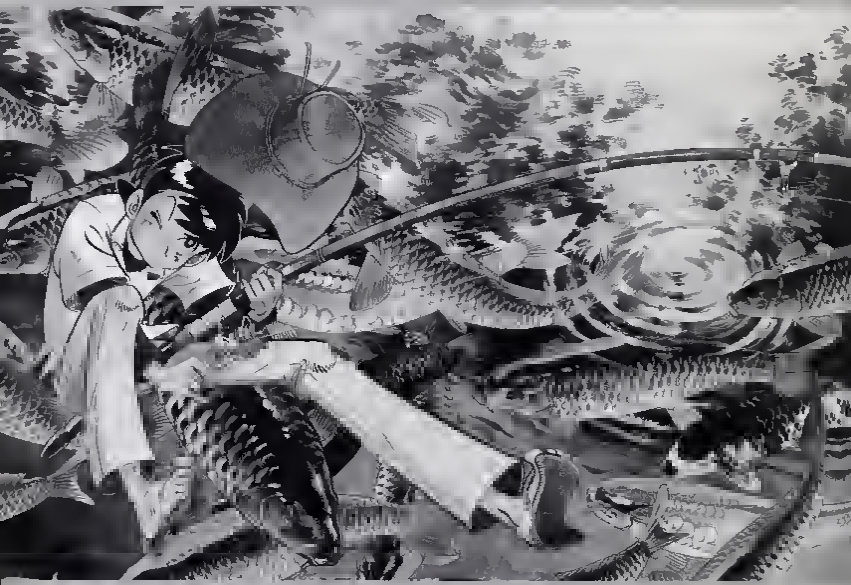
P640

雑誌 45423-60
ISBN4-06-101160-X
C0379 P640E (2)

講談社　定価640円（本体621円）

KCスペシャル
釣りキチ三平
1 アユ釣り編
2 フナ釣り編
3 イワナ釣り編
4 コイ釣り編
5 おもしろ釣り編
6 ヤマメ釣り編
7 謎の魚釣り編Ⅰ
8 謎の魚釣り編Ⅱ
9 イシダイ釣り編
10 コイ釣り編Ⅰ
11 ニジマス釣り編
12 ライギョ釣り編
13 イトウ釣り編Ⅰ
14 イトウ釣り編Ⅱ
15 イトウ釣り編Ⅲ
16 おもしろ釣り編Ⅱ
17 ムツゴロウ釣り編Ⅰ
18 ムツゴロウ釣り編Ⅱ
19 秘伝アユ漁編Ⅰ
20 秘伝アユ漁編Ⅱ
21 渓流釣り編
22 アカメ釣り編
23・24 フライフィッシング編Ⅰ・Ⅱ
25 怪魚釣り編
26・27・28 サーモン・ダービー編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
29・30 マス釣り編Ⅰ・Ⅱ
31・32・33 ブルーマーリン編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
34・35 キャスティング編Ⅰ・Ⅱ
36 ヘラブナ釣り編
37 アユ釣り編Ⅱ
大好評発売中!

釣りキチ三平



第4集　コイ釣り編

矢口高雄

釣りキチ三平〈第4集〉コイ釣り編

もくじ

三日月湖の野鯉の巻……6
あとがき……393

釣りキチ三平

第4集 コイ釣り編

矢口高雄

鯉は一日一寸……
野鯉釣りの極意
これに尽きる

一尺(三十センチ)の鯉なら
十月頃は釣り場
通うぐらいのねばりが
必要と言うことだ
きたっ!!
ついに仕止めたぞ
大物野鯉!!

三ちゃん
あたし きょうは
はりきってるだ
ガバガバ
釣りあげるわよ
ホホウ
けっこうじゃ
ねえか ユリッペ
ただし
おめえの竿に
かかってくれる
魚がいるかと
いうことだな

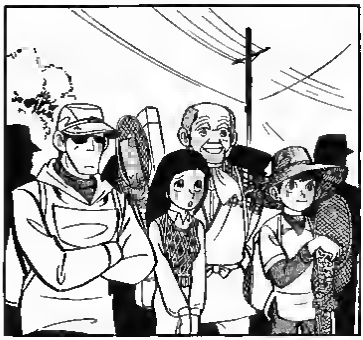
――この日
三平のじいちゃんたちが所属している釣友会の例会（釣り大会）がおこなわれた
一、場所
〇川三日月湖一帯
（国鉄T駅より徒歩二十五分）
一、対象魚
ヘラブナ・マブナ・鯉
一、使用竿数
二本以内とする
一、しかけ・エサ
自由とする
一、表彰
釣りあげ重量順に
一位から五位まで表彰
ほかに大物賞あり

また 夜があけきらぬ中を 一行をのせた一番列車は一路〇川の三日月湖をめざして走る
天気晴れ
無風――
ぜっこうの
釣り日とりだ

三日月湖の野鯉の巻

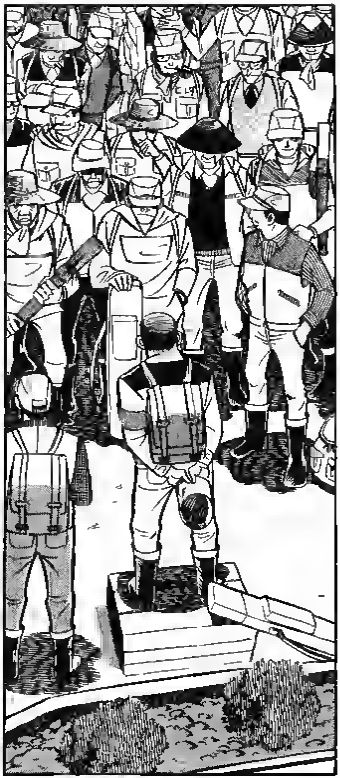
釣りキチ三平
フア～～ッ
ねむてえて
のりこす
ところ
だったわい
ハーイ
こちらです
会員のみなさん
こちらに
集合して
くださーい
ワワワ
牛乳三本
くれ
ウム
よい天気
じゃ

負、七尾
みなさん
おはよう
ございます
ガヤ
ガヤ
オハヨウ
ワイ
ワイ
エー
本日は
わが釣友会
恒例の
釣り大会です
会員の
みなさんには
日ごろの技を
いかんなく
発揮せられ
会員の親睦と
釣り技術の発展
向上につとめて
いただきたいと
思います
さいわいなことに
きょうは好天に
めぐまれて
おりますので
勝負のほうも
さることながら
心ゆくまで
たのしんで
いただきたいと
思います



ユリちゃん
ねむくねえか
けさは だいぶ
早おきだった
からな

ちーっとも
それよか
早いとこ
釣り大会が
はじまらないか
なあ……



ユリッペ なーに
ねぼけてる
もう とっくに
はじまってるぜ
だ だって
三ちゃん
ここは駅前よ
これから釣り場さ
いくんだべ

ハハハ
ユリちゃんは
はじめての
参加だから
わからん
じゃろが
はじまって
いるんじゃよ

どどこで
クッ
あら!?
エ～～～
大会の要項は
すでに みなさまの
お手もとに
パンフレットを
わたしておりますが
ねんのため 要点を
もうしあげます
対象魚は
ヘラブナ
マブナ 鯉の
三種類に
かぎります

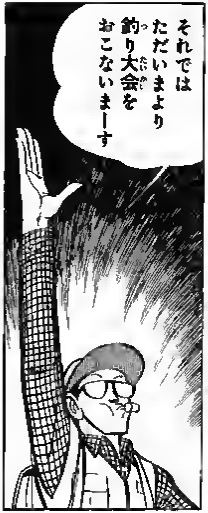
オドーッ
早くおきてけれ
もう大会は
はじまってる
だぞ
しかけ
エサなどは
各自自由と
します
ただし
二本以上の
竿の使用を
禁止します
心配するなて
まだ役員の
長話が
つづいてるべ
WC

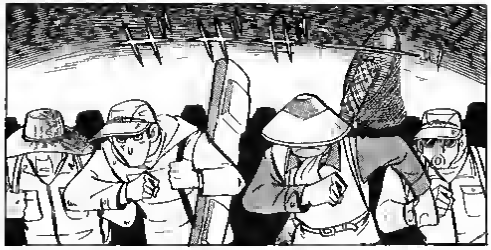
それでは
みなさん
時計を
あわせて
ください
ただいま
午前五時
四十五分

ウヒョ〜〜ッ
おらの時計
五分おくれて
いるぞ
ゆうべ
ねる前に
NHKの時報に
あわせて
おいただ
ワイワイ
カチカチ

時計が
午後二時を
さしたら
大会終了です
まちがえ
ないで
ください
午後二時
ですよーっ

それでは
参加者全員
位置に
ついて
くださーい


それでは
ただいまより
釣り大会を
おこないまーす

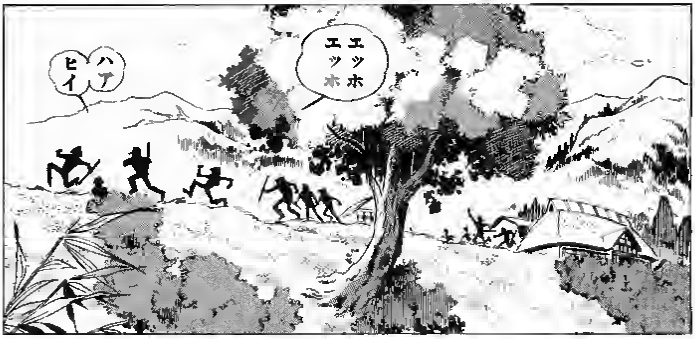


おーい
ユリッペ
なに
してるだ
早く
早く

それーっ
ことしこそ
一番のりだ
ぞーっ
あたたっ
だれだ おらの足
ふんづけた
のは!!

オーイ
竿をわすれた
やつが
いるぞーっ

さあ!!
ユリッペ
おらたちも
ほかの
れんじゅうに
負けねえで
走るぞ
!?
いそげ
いそげ
三ちゃん
どうして
そんただ
マラソン
みてえなこと
するだ
クッ
カーッ
だから
いったで
ねえか
釣り大会は
すでに
この
駅前から
はじまるん
だって!!
ヤスさん
もう
いいかげんに
おきたら
どうでえ
もう みんな
いっち
まったよ
アホ


エッホ
エッホ
ハア
ヒイ

いそげ
いそげ
早くいかねえといい釣り場にすわれねえぞ

コクリ
コクリ
ヤスさんまだねこけてるのけえ!!

一般に釣り大会ではかぎられた区域内に一時に多くの参加者が入漁することになるが野釣り（自然の川や湖で釣ること）の場合釣り場の状態がさまざまで釣れる場所と釣れない場所があるだけにまずいい釣り座（すわる場所）をえらぶことが第一条件である…

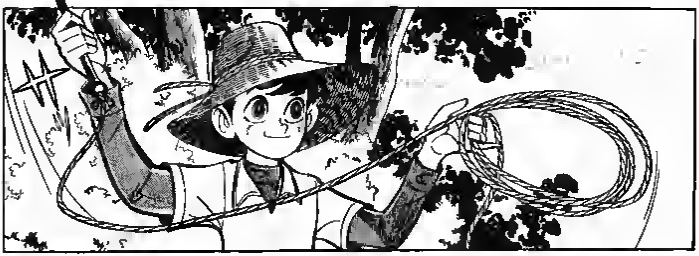
この日の釣り大会は
その釣り座の選定に
趣向をこらしていた
つまり
駅前より釣り場の三日月湖まで
徒歩二十五分という距離を利用
して 駅前で大会をスタートさせ
早く到着したものから順に
釣り座をえらばせるという
いわゆる早いもの勝ちの
うらみっこなしの方法を
とったわけである

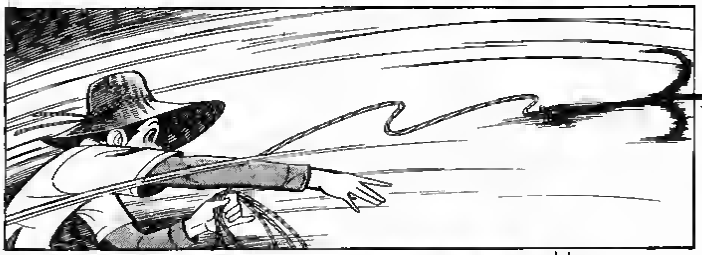
あら もう みんな はじめてるわ
だから いそげって いったでねえか
ハア ハア
さあ ユリッペ ぐずぐずしてる ヒマはねえ
さっそく はじめ ようぜ
このへんが よさそうな 釣り場だ……
いやあ すまん すまん
じいちゃん おそいじゃ ねえか
ヤスさんが なかなか おきないんだよ
ゲシシ ゆうべ おそくまで ユリのやつに 釣りかたを おしえてたもんで つい寝不足して しもうて
チェッ 釣り大会だと いうのに 朝から ふんだりけったり だなあ……

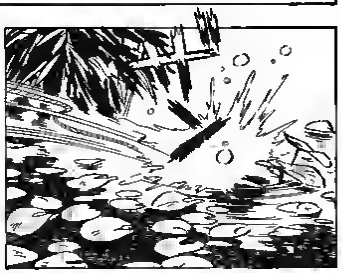
まあ 三平
そんなに
ふくれるな
あんまし
おこると
ロクなこと
ねえぞ
どうしただ
ユリちゃん
早いとこ
準備
しねえか
一平
じいちゃん
おかしいで
ねえか
三日月湖と
いうから
おらあてっきり
湖かと思って
きたら
ここは
ただの川で
ねえか

ハハハ
ちげえねえな
ユリちゃん
たしかに
三日月湖って
名まえから
すれば
湖だと思い
がちだが
ごらんのとおり
川じゃ
この川は むかし
こういうぐあいに
まがって流れて
いた川だが
ある年 洪水のため
川があふれて
まっすぐに流れだし
べつの あたらしい
川ができてしまった
のじゃ・・・・
とうぜんのことながら
水の流れやすい
あたらしい川が本流に
なり・・・
三日月湖
本流
川の役目を
なさなくなった
以前の川は
三日月のかたち
をして こうして
のこってるわけだ
もっとも
この三日月湖は
水口と水尻が本流と
通じているため
干あがることもなく
多少の流れすら
あるわけだし
・・・・
まあ
湖とはいっても
古川といったほうが
いいかもしれんな
ほうれ むこうさ
見えるのが
あたらしくできた
川じゃ・・・・

ところが
この古川が
本流でなくなり
流れがゆるやかに
なったため
水草がはえだし
……
マブナや
ヘラブナたちの
ぜっこうの
すみ家になって
しまったのじゃ
それにくわえて
洪水のとき 上流で
養殖していた
鯉がにげだし
この三日月湖に
すむようになった
そうじゃ
じゃから
ここには
マブナや
ヘラブナのほかに
野生化した
巨鯉が
ウヨウヨいると
いうことじゃ
一平じいちゃんって
なんでも 知って
いるんだなあ
おらあ びっくら
こいただ



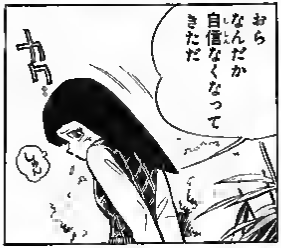


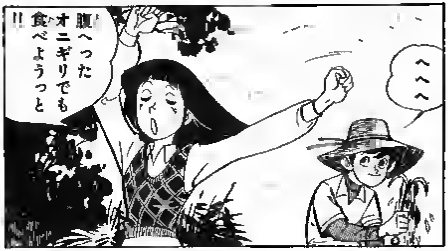

アホッ
こんだ
釣りバリが
あったら
お目にかかり
てえもんだ

三ちゃん
そんだ
でっけえハリで
釣るのけえ
フッ

これは
藻刈り用の
イカリだ
ガッ

こういう水藻なんかの障害物が多い釣り場では
刈りとって釣りやすい場所をつくってからはじめるんだ


おらなんだか自信なくなってきただ
カカ
しん


へへへ
腹へったオニギリでも食べようっと!!

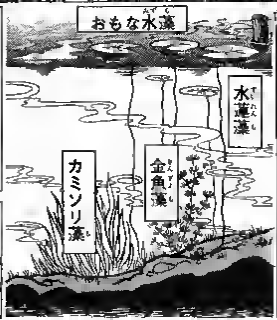
いろんな道具があるもんだなあ
モグモグ

ア

三ちゃんいまの音はなにをなげこんだ音だ

矢口釣りコーナー

藻のしげっているところは魚たちのあそび場であり休憩所であり産卵する場所でもあるのでたいていの場合 一番のねらい場所と考えてください



あまり藻が多くて ハリがひっかかるときは藻刈り器で刈りとってから 釣るとよい
刈りとってから三十分ていどするとふたたび魚があつまってくる

水藻のある釣り場のねらい場所

藻 はふつう水藻の密生しているところよりも水とおしいのいい藻のスキマをこのんであつまるから そこがねらい場である

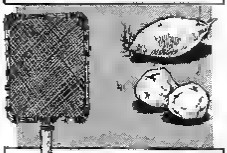
藻アナ 藻のあいだがポッカリとアナのようなスキマになっているところ

藻面 ひくい藻の表面

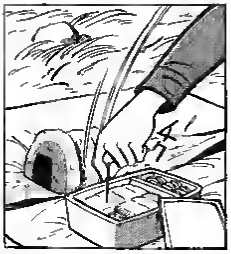
藻先 藻のはえぎわ

寄せ餌(バラエ)

フナ類は水中を回游する魚であるから 自分のポイントにエサをうって 魚を寄せあつめると よく釣れる これが寄せ餌である



サツマイモやジャガイモをにて金網でうらごしたものにサナギ粉をくわえて寄せ餌にする 水中でとけやすいようにあまりねらないこと

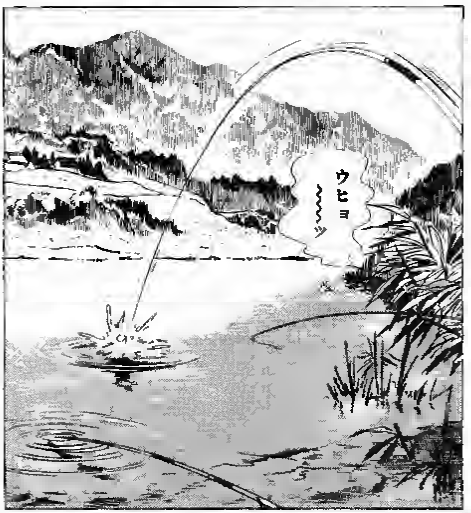


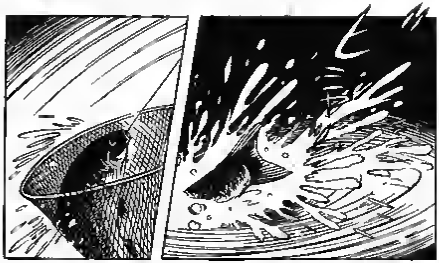
ユリッペ
このタマゴヤキ
うめえな
おめえが
つくったの
けえ
もちろんよ

それよか
三ちゃん
そんたに
のんきに
オニギリ
なんか
食べてても
いいのけえ

バカ!!
腹がへっては
いくさが
できんと
いうでねえか
それに さっき
藻刈りをした
ポイントの水が
すむのを
待ってるのさ

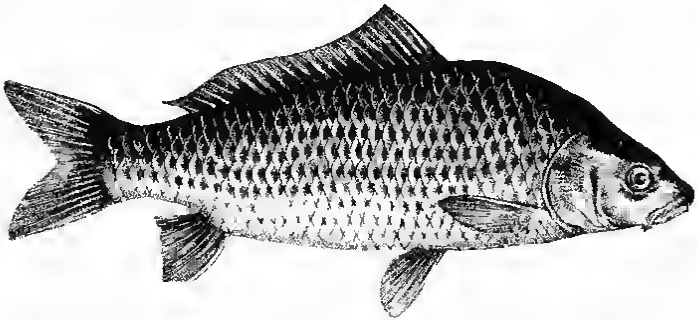
あら
早いわね
むこうの人
釣れた
みたいよ
あわてるなて
時間はたっぷり
ある…


ウヒョ
〜〜〜》

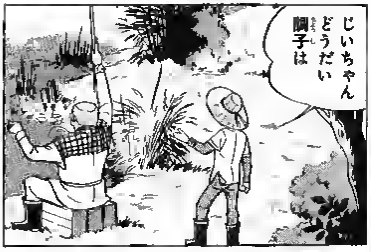


どどうでえ手ごたえは
中型ていどだなこのひきのあんべえだと

ホホウマブ（マブナ）じゃねえかいい型しとるなあ
二十五センチ級だな
クルオ釣ったの



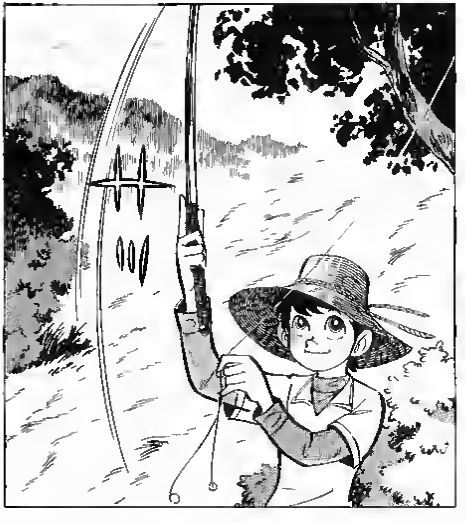
およそ三十分経過
……
ボツボツ アタリが
ではじめている
ようである
一般にフナ類は
早朝から
十時ごろまでと
夕方 日没の前後に
よく釣れる魚である
ため この日の大会も
早朝の開始ということ
に なったのである


じいちゃん
どうだい
調子は

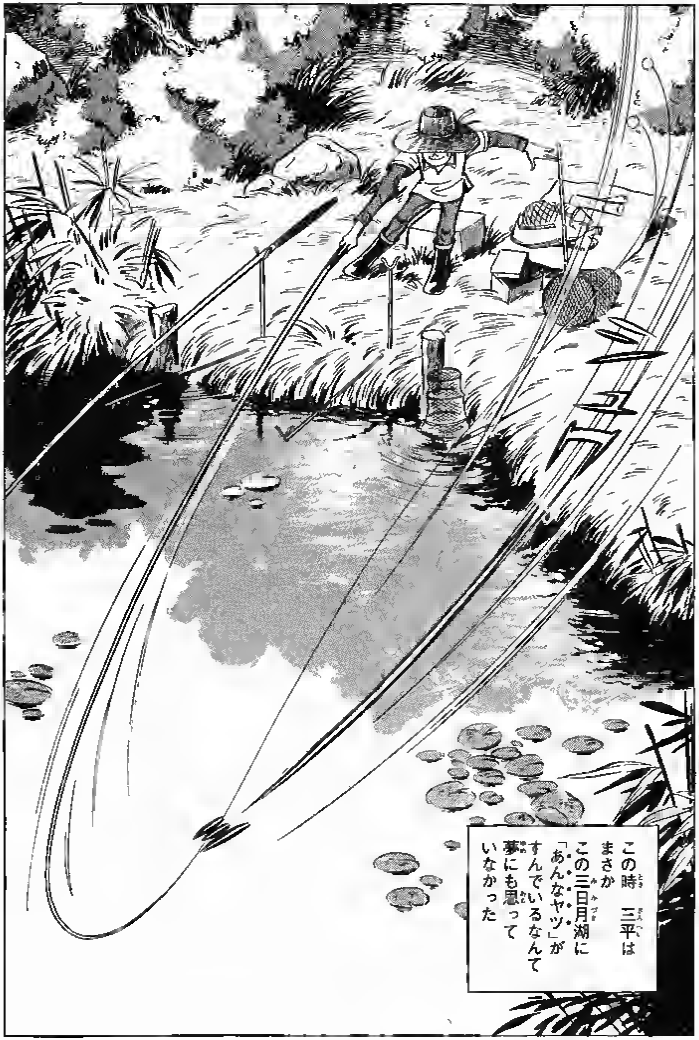
さてと
メシも食ったし
いっちょう
大物貰でも
ねらうと
するか

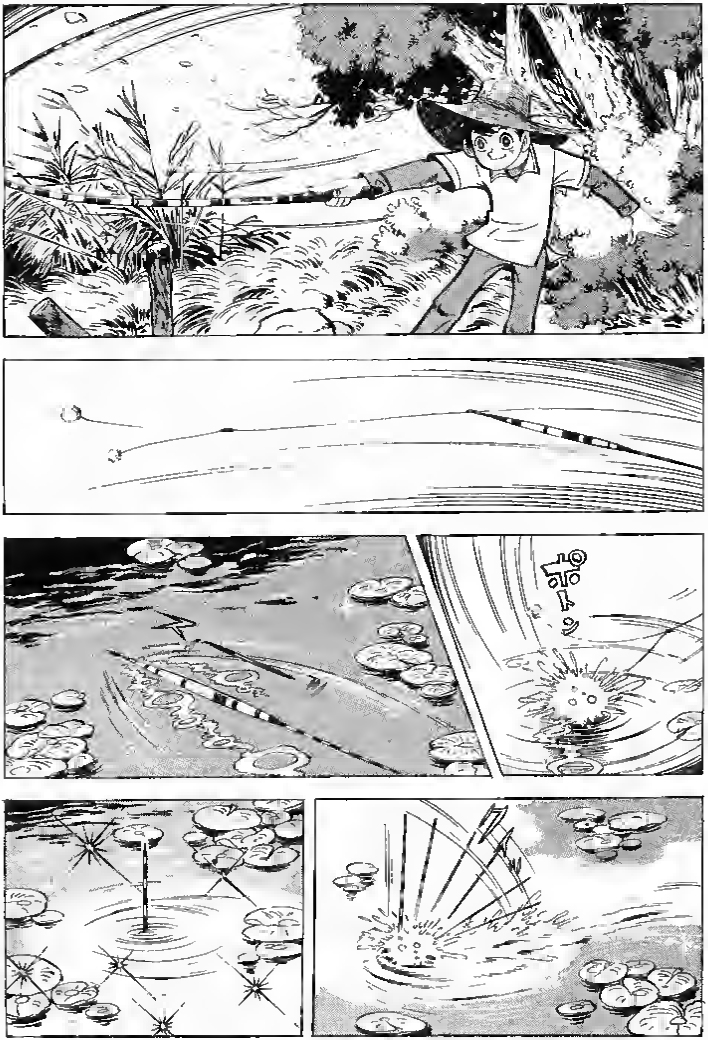
やっとこ
寄せ餌を
うちおわった
から
これから
ボツボツ
じゃな

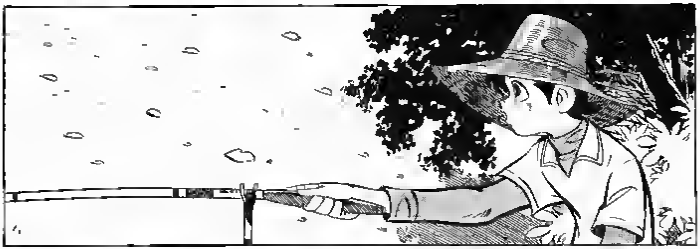
ようし!!
きょうは
負けないよ
じいちゃん

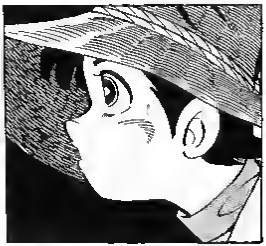


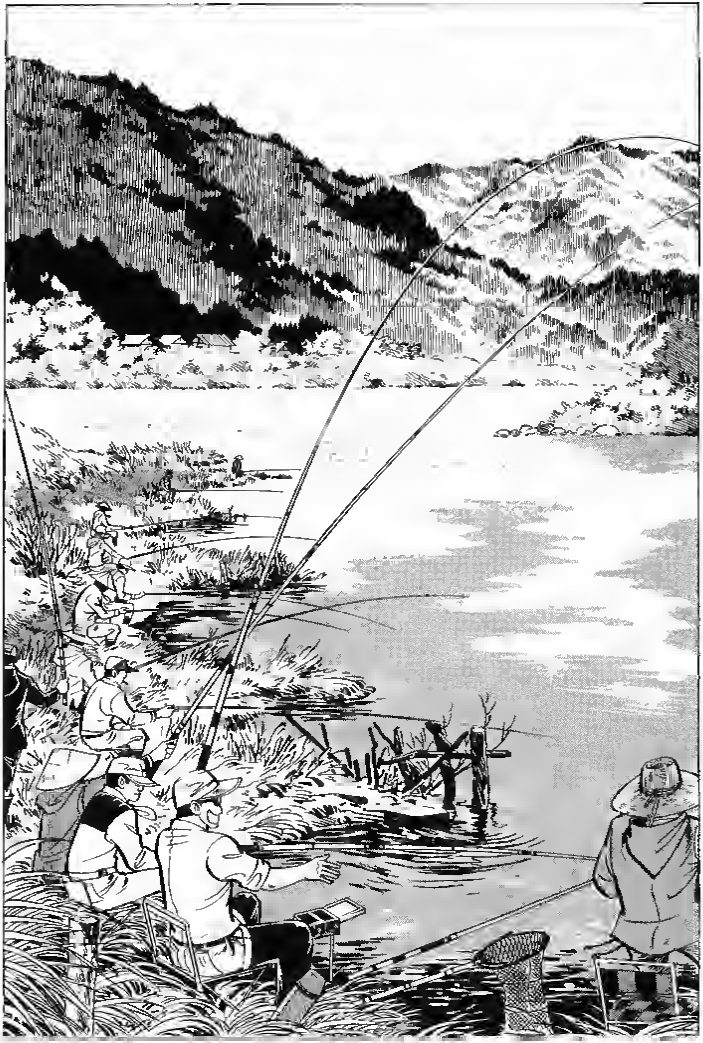
さあ
どうかな
……
フフフ

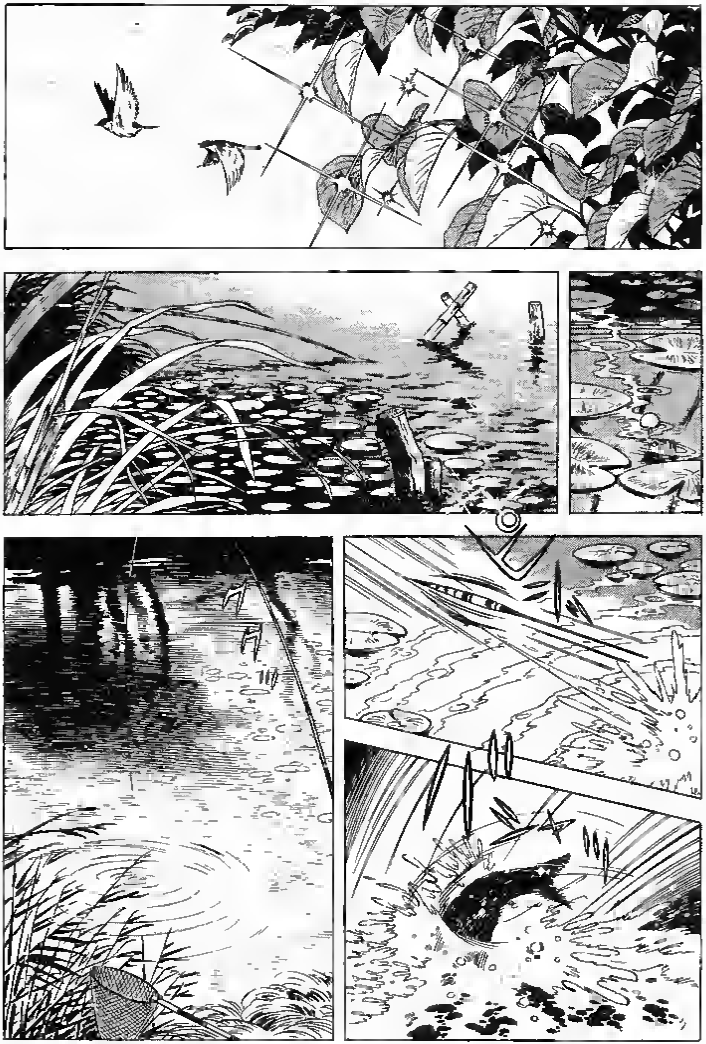

この時　三平は
まさか
この三日月湖に
「あんなヤツ」が
すんでいるなんて
夢にも思って
いなかった


ゴトン



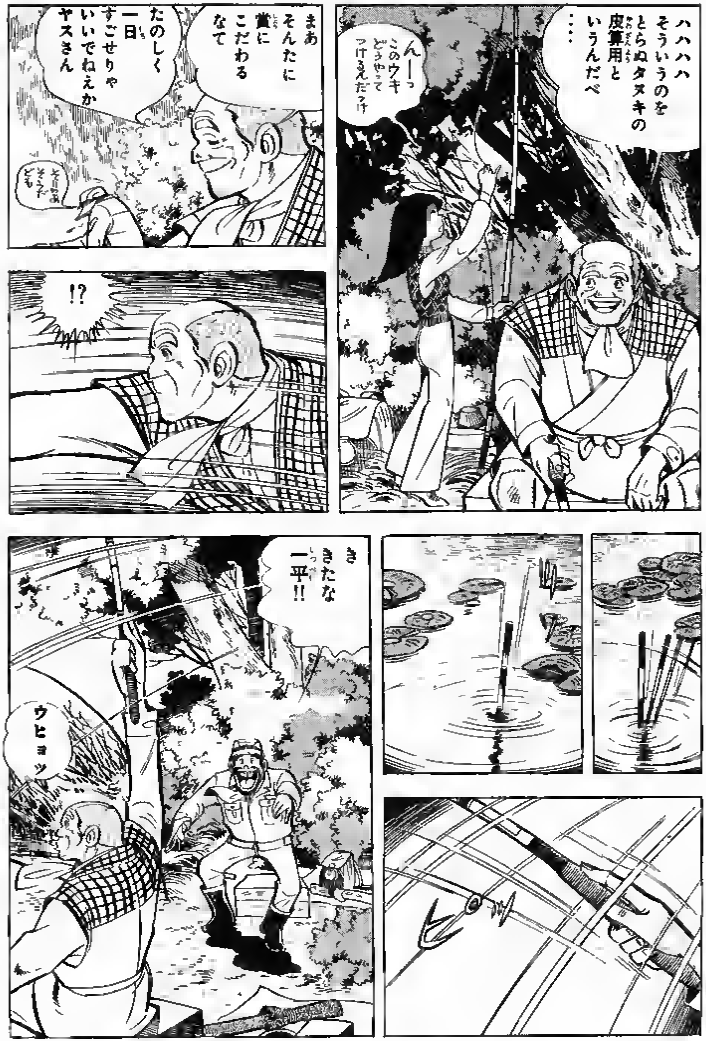






クッ
やりやがったな
クソオ
タハ〜〜〜ッ
ようし……
フ〜〜〜ッ
ヤッ

釣り大会ともなれば
自分の竿よりも
他人の竿のほうが
気になるのが
釣り人の心境であり
……
どこかで
アタリがあれば
その波紋が
付近の釣り人の
視線をいっせいに
うけて
一喜一憂の
釣り風景で
ある……
おーい
一平じいさーん
そっちは
どうでえ
ヤスさん
あせるなて
まだ竿を
おろした
ばかりでねえか
そんただごと
いったって
ほかでは
ガバガバ
あがってるで
ねえか
おらあ
賞をとるって
おっかあと
約束して
きただ ククッ


ハハハハ
そういうのを
とらぬタヌキの
皮算用と
いうんだべ
……
ん―っ
このウキ
どうやって
つけるんだ？？
まあ
そんたに
賞に
こだわる
なて
たのしく
一日
すごせりゃ
いいでねえか
ヤスさん
!?
きたな
一平!!
ウヒョッ

うわっ
おっ!! じいちゃん 早いな!!
どうでえ そうとうの 型じゃ ねえのけえ
なあに この ひきの あんべえだと てえしたこと ねえべ

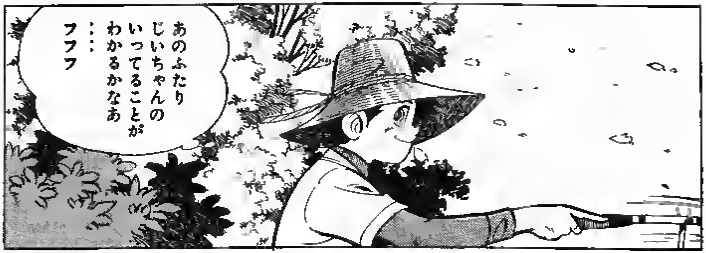
ンまあ
すんごい
やっぱし
一平
じいちゃん
だわ!!
トヒョ〜〜〜ッ
ヘラ（ヘラブナ）
じゃねえか
いい型を
してる
二十五センチ
はあるべ

一平さん
エサは
なにを
つかってるだ

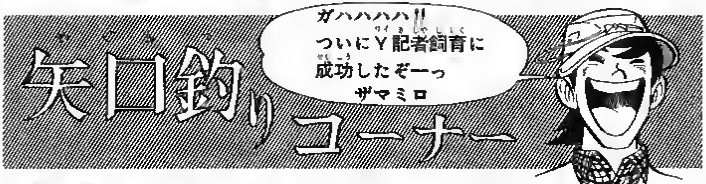
ふつうの
イモネリ
じゃ
ほかに
キジ（ミミズ）
アカムシ サナギ
オカユネリなんかも
持ってきてるから
いろいろ
つかってみるべ

まあ
朝のうちは
水温もひくい
もんじゃが
ヘチの
浅場は
日光をうけて
だいぶ 水が
ぬるくなって
きてるからな
ねらいどころ
じゃな
わしは エサを
片ズラシにして
浅場のカケアガリ
をねらってるだ

なーるほど
片ズラシで
カケアガリを
なあ…
ナンテ
カケアガ


あのふたり
じいちゃんの
いってることが
わかるかなあ
……
フフフ

てなところで
そろそろ
Y配者が
あらわれる
ころだが
……
そら
きた
おい 矢口
……これは
ムリにとは
いわない
が
用語が
ちょっと
専門的だから
……そのう
いつものやつを
……ここで
たのしてやってくれよ

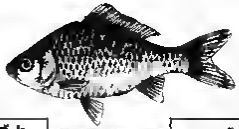

矢口釣りコーナー
ガハハハハ!!
ついにY配者飼育に
成功したぞーっ
ザマミロ

釣りには
釣り用語って
やつがあるので
釣りキチの
きみなら
バッチリおぼえて
おいたほうが
いいぞ

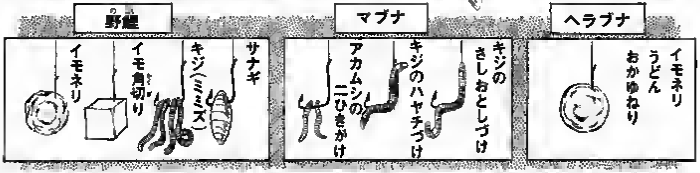
釣り場のよびかた

岸
沖
川の中心付近をさす
ヘチ
岸よりのことで魚はこの場所についてることが多い
平場
底の平らなところ
カケアガリ
岸にもかって浅くなる斜面

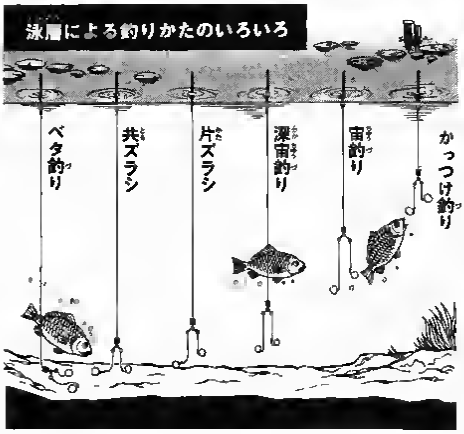
魚の釣れる条件



○対象魚のこのもエサを使用すること



○魚は自分に適した水温の層(泳層—釣り用語でタナとよぶ)で生活をしているので エサがその泳層(タナ)に合致すること



ねえ
三ちゃん
このウキ
どうやって
つけるの
……？
カーッ
ユリッペ
いいかげんに
してくれよ
きょうは
釣り大会
だぞ
みんな
一ぴきを
あらそって
真剣に
釣ってるで
ねえか
それとも
おめえ
おらの釣りを
じゃまするために
きたのけえ
だって
……
おらあ いま
それどころで
ねえ!!
じいちゃんは
釣るし ほかの
れんじゅうだって
バンバン
あげてるし
そんただ
おこらんでも
いいべ
三ちゃんて
短気の
おこりんぼね
あいさ
おらあ
短気さ
だがな
短気な人ほど
釣りには
むいてるし
上達は
早いんだぜ

あーら
そんただ
理屈って
あるべか
おら釣りの
すきな人は
気のながーい人
だと思うがな
んだって
一日じゅうだまって
すわりっぱなしで
ウキとにらめっこ
してるなんて
よっぽど気の長い
人にきまってるだ
んだから
釣りは
短気な人には
むかねえべ
ハハハハ
ユリッペ
アサハカな
ことを
いうなて
短気な人ほど
じっとしてねえで
たえず いろいろと
気をくばり
研究してるもんだ
ハリのぐあいは
どうだとか…
エサはちゃんと
ついてるだろうか
……とか
釣れないときは
ポイントがわるいんで
ねえべか……とか
テグスがふとすぎたり
しねえか……とか
しじゅう考えるんだ
んだから
短気なやつは
上達が早いし
釣果も
あがるって
わけさ
だいたい
モサーッとした
気の長いやつには
魚は釣れるもんで
ねえて ハハン

わかったけえ
ああっ さ三ちゃん!!
ムッ!!
ピク
ピク
ウヒョッ
アハッ
ムムムムッ
イッ!!

ユリッペーッ
どっかさ
いきやがれーっ
おめえが
近づくと
ろくなことが
ねえだーっ
なによ
おらんとこさ
いじわるしたから
バチがあたった
んだべーっ
フフフ
なかが
いいのやら
わるいのやら
ツラあわせると
ケンカして
けつかるて
……
ハハハ
ユリちゃん
わしが
おしえて
やるから
となりさ
すわれ
まあ
ホント
せいぜい
じいちゃん
から
ならうが
いいさ
ユリッペ
みてえな
厄病神に
とりつかれたら
大物賞どころか
ボウズ（一ぴきも
釣れないこと）に
なりかねんて
クソオ!!
イ〜〜〜だ
!!
ペロ〜〜〜ン

ちぇっ!!
バッタリ
アタリが
なくなった
おかしい
なあ……
クソオ
ユリッペのやつ
おぼえて
けつかれ
……
そうそう
なかなか
うめえじゃ
ねえか
ンマア
おら才能(ドリョク)が
あるのかな
ホホホ
ギヒヒ
なーにが
ホホホだ
ン!?

ホホウ
アタリが
でたようじゃ
な…三平
オホッ

ウヒョ
ッ

ヘヘヘ
おらだって
ポチポチ
エンジンを
かけねえと
なあ…

さあ
いそがしく
なって
きたぞオ!!
ホレッ
三平くん
玉網だ
!!

もっと
左さ
左さ!!
ああっ
藻の中さ
つっこま
れるぞっ

あはっ!!
いいひき
しとるなあ
こりゃあ
大物だぞ

ヤスさーん
ひとのせわを
やくのもいいが
自分のほうは
どうなってる
だーっ
すこし
しずかに
釣らせて
くれよ～～～
ケッヘヘヘ
すまねえ
おら どうも
ひとのことが
気になる
タチで…
うっ
あ!!

ムーーーッ
くーーーっ
!?
あのな
ゴニョ
ゴニョ
ハハハ
よくあることじゃ
シマアジ魚のクチビルがきれて釣れてきたのけえ
んもーーーっ
おらにかまわねえでくれーーーっ

あーあ
朝っぱらから
ユリッペには
つかれるし
きょうは
さんざん
だあ…
タツオ
フフフ
三平のやつ
そうとう
あれてるな
三ちゃん
ゴメンな
ホラッ
ユリちゃん
おめえの竿が
ひいてるだ
は
ピク
ピク
ヨホッ
!!
か
かかったあ
!!
よしよし
あわてねえで
おちついてな
…
!?
ナヌッ
ユリのやつに
きた!?
チョホーッ
いっそがしい
なあ～～～
ク～～～ッ
一平
じいちゃん
す すんごい
ひきだわ

クッ
すごいヤルナ…
ヤスさん
三平の
ことばじゃ
ねえけど
はしゃぐのも
いいかげんに
してくれよ
まわりのひとの
めいわくにも
なるこったし
よ
ホッ
おら
むちゅうに
なると
つい…
ケヘヘッ
クソッ
魚なんかに
負けて
られるけえっ
ああっ
ユリちゃん
そんだ
ムリに
ひいちゃあ
いかん
あうっ
ブーン
ヒュー

ぶっ〜〜っ
こりゃあいかん
イテテ
ガハハハ
バーカみたい
凧あげじゃあるめえし
そんただ
空中高く
ぬきあげんでも
魚は釣れるぜ
ユリッペ

じいちゃん
ユリッペと
組んだら
てえへんだな
チョウや
トンボとりの
マネを
させられるんだ
からなあ
なーに
いってるだ
三ちゃん
ホレ見ろ
おめえなんか
まだ一ぴきも
釣ってねえ
ぺーっ
あら
あたってる
だけに
きついな
ザマー
カンカン
ミュワー
おーい
三公
よく見てろ
また釣って
みせるから
なーっ
クソオ
調子に
のりやがって
……

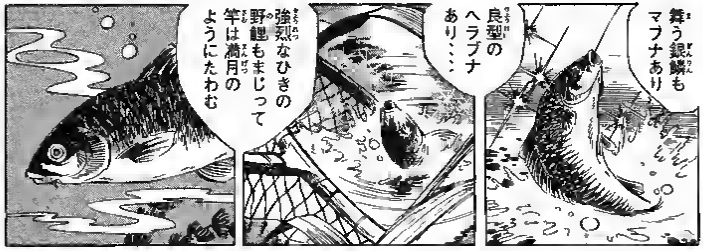
一平じいちゃんいまのひきはすんごかったなあ
やっぱし一平じいちゃんの近くには魚のほうから寄りあつまってくるのかしら
ユリちゃんはじめて釣りあげてうれしい気持ちもわかるがみんなのめいわくになるからもっとしずかに釣るべ
魚ってやつはとってもおくびょうだからあんまし物音をたてるとちってしまうもんじゃ
すみませーん
それにさっきみてえに強引にひきぬくのもその近くにすんでる魚がびっくらこいてにげる原因になるからよくねえな
なるべくしずかに音をたてねえでとりこむことじゃ
ホラ見てろよユリちゃん
モソ
モソ

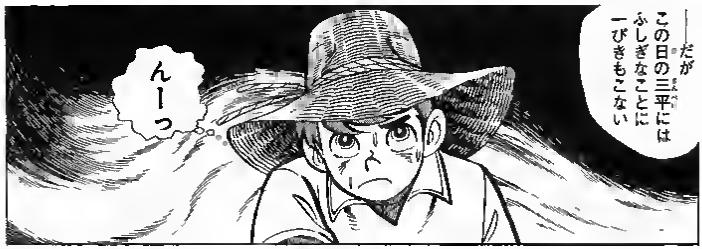
シーッ
シュー
うわっ
あれれっ
じいちゃん
またかあ
クソオ
いいか
こうして
ゆっくりと
ひいて
……
魚のよわるのを
じっくりと
待つんじゃ
ホラホラ
だんだんと
よわって
きたぺ

そこでころあいをみて クッと頭だけ出させてひと息空気をすわせるだ
こうすればあとは安心じゃ
ホーレからだを横にしたままかんたんにひきよせることができるべ
玉網さ入れるときは頭を手前にむけることじゃ
むこうさむいてると玉網のかげさおどろいてもう一度沖さにげることもあるでなあ
ナルホド
おっかしいなあこのポイントは……
よくよくケチのつくポイントだ……クソオ
おちつけガタガタわめくことねえべ
ユリッペなんかにきたのはマグレもマグレ大マグレにきまってるて

ありゃりゃっ!!
よし よし その調子 その調子
うわ〜〜っ こう…… こうですか 一平じいちゃん
こう だっけな 一平じいちゃん
そうじゃいいぞ ユリちゃん
こりゃあいい型のヘラだな
クウ
ムスー
きーんちゃん
二ひきめちゃん よ〜〜〜ん

開始から三時間経過……
釣り大会は順調にすすんで
参加者のフラシ(ビク)は
しだいにふくらんでいく
……
ましてや いちばん
食いのたつ
(よく釣れること)
午前十時ごろまでの
時間帯であって
みれば 釣り人に
とっては 最大の
山場といえよう

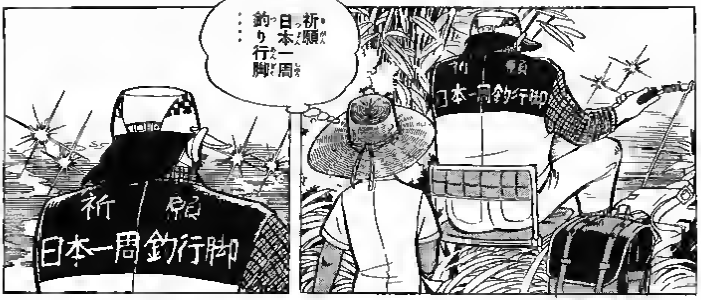

舞う銀鱗もマフナあり
良型のヘラブナあり……
強烈なひきの野鯉もまじって竿は満月のようにたわむ

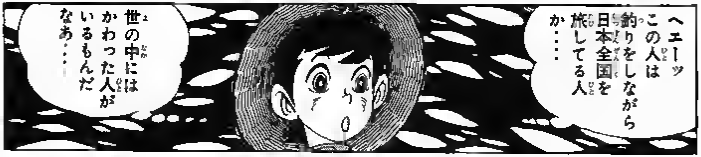

――だがこの日の三平にはふしぎなことに一ぴきもこない
んーっ

エサをかえしかけをかえあれやこれやしてみるのだが……
おかしい
どーしてもこねえ……
こんだはずはねえ
どうしたというんだ
それにひきかえ……きょう釣りをはじめたばっかりのドしろうとに……
きたよっ!!
三ちゃ～～～ん
ク～～～ッ
こんだはずはねえ

カーッ
あったまさ
きちゃうなあ
もーお
あわわっ
ドン
うるせえなあ
すこし
しずかに
してくれ

ハッ
釣れなくてあせる気持ちはわからなくもねえが
ここはおめえたちだけの釣り場じゃねえぜ
ちったあほかのれんじゅうのことも考えて釣ってくれよな
ハアどうもすみませんでした
わかりゃあいいさおれはべつに子どもが釣りをたのしんでいるのをとやかくいうつもりはねえ
きょうはせっかくの釣り大会のようだから手をやすめさしちゃわるい
早く釣り座について一ぴきでも多くあげることだな……
ン!?
これは……


祈願
日本一周釣行脚
祈願
日本一周釣行脚
祈願
日本一周釣り行脚……


ヘエーッ
この人は
釣りをしながら
日本全国を
旅してる人
か……
世の中には
かわった人が
いるもんだ
なあ……

すごい
もうフラシが
あんなに
ふくらんでる
……
これは
すごい腕の
人だぞ
魚紳……!?
この人の
名まえだな
魚紳っていう
のは……

名まえまで
魚に関係
あるなんて…
おもしろい
人だなや
……
どうして
釣らない
のか……?
ニヤ

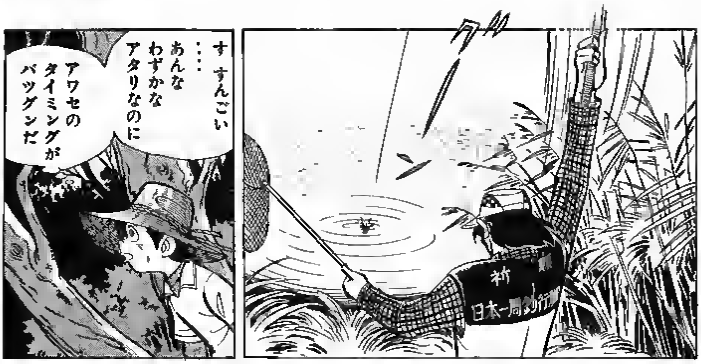
せっかくの釣り大会じゃないか
食いがたってる（よく釣れること）いまの時間をのがすてはあるまい
おじさんすみませんでした〜〜〜っ!!
……

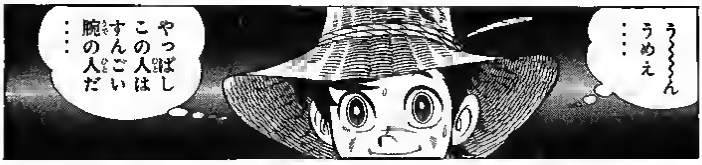
フフフ
ドッコイ
ショッ
……と
日本一周釣行
日本一周釣行

祈願日本一周釣り行脚……か
釣りをたのしみながら日本一周をしようなんてまったくかわってるなあ……
やっぱし世の中ってひろいんだなあ……いろんな人がいるんだなあ
ツラはおっかねえツラしてるども……
むかしっから釣りキチにワルはいねえというけど
どっかあったかみがあって……ふしぎな魅力ってやつがあるなあ
なんちゅうか……こう感じるなあ……おらあ
タテから見てもヨコから見てもきまってるんだよなあ……あのスタイルが……
よゆうっていうのかなあ……
やっぱし腕のたつ人はどことなくちがう……
うしろ姿なんかおらのじいちゃんに似てるぞ……

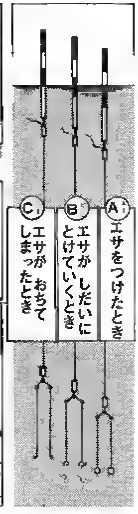
れ!?
日本一
ムーーーッ
コクン
カ――ッ
すんごいなあ
やっぱし
よゆうだ
なあ
おっ
!?

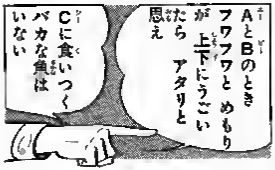
ウヒョッ

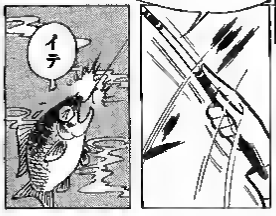




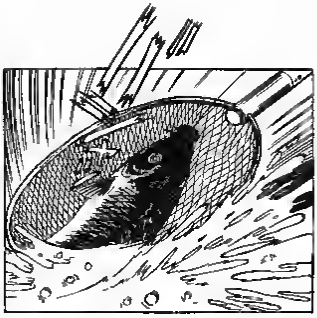
めもりによって アタリを見わけるためには あらかじめ つぎの三つの状態のときのめもりを パノチリ きめておくべし



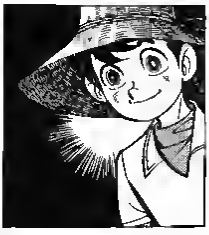




野鯉だなぁ
尺上はあるべ



まだ そんなところでうろうろしていたのか
釣り大会のほうはどうした 棄権するつもりか



おじさんのすばらしい釣りをみてゲンなおしをしてただ

いやあ 棄権するつもりはねえが
朝っぱらからこうるせえやつにつかれてまがりっぱなし（釣れないこと）だから…

おじさんは
背中に書いて
あるとおり
日本一周の
釣りの旅を
してるんだべ
ということは
この土地の人
じゃねえし
もちろん
釣り大会にも
参加して
ねえわけだ
そうだよ
それが
どうした
おしいなあ
こんなに
釣ったのなら
優勝 まちがい
ねえとこだべ
フフフ…
おれは
釣り大会なんて
お祭りごとに
はきょうみが
ない
ひとりで
だまって
釣るのが
すきな男だ
ヘエーッ
やっぱし
おじさんは
ほんとうの
釣りキチだ
なや
んだども
祈願って
ことは なにか
目的あっての
旅行なわけ
だべ…
フフフ
目的か
…
他人には
関係ねえ
ことだ
それじゃあ
この三日月湖に
立ちよったのは
気まぐれって
わけだ

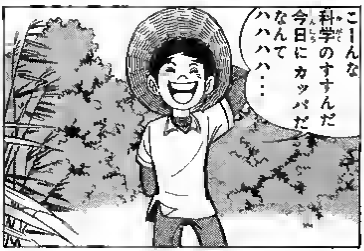
よくしゃべる子だな
おれは水があって魚が釣れるところならどこでもいい
ただこの三日月湖に立ちよったのは・・・・
カッパがすんでるという情報をキャッチしたからだ

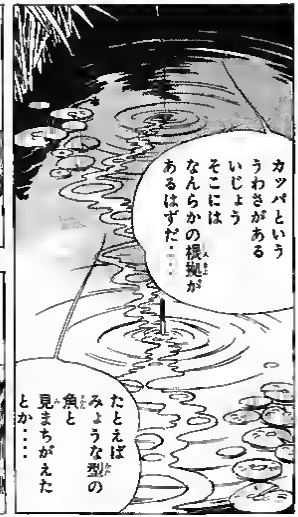
カッパ!?

カッパっていうと頭の上にお皿のあるあれだべ
むかしの人が考えた架空の動物の・・・・

ハハハハおじさんおらがなんぼ子どもだからといってからかわないでけれ
日本一周釣行脚

いやいるかもしれねえ
この世の中には科学で解決されないことがたくさんあるだろう


こーんな科学のすすんだ今日にカッパだなんてハハハハ・・・

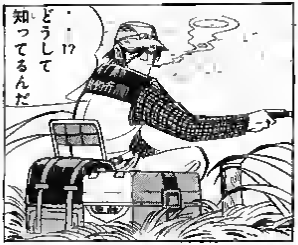

カッパという
うわさがある
いじょう
そこには
なんらかの根拠が
あるはずだ……
たとえば
みょうな型の
魚と
見まちがえた
とか……

なーるほど
おじさんて
おもしれえ
人だなや

ようし
そんじゃ
そろそろ
ゲンなおしも
したから
カッパでも
釣るか

おじゃま
しまし
たーーーっ
フフフ
そうだな
せいぜい
しずかに
釣って
くれ

おじさん おら
おじさんの
名まえを
知ってるぞ
魚紳って
いうんだべ

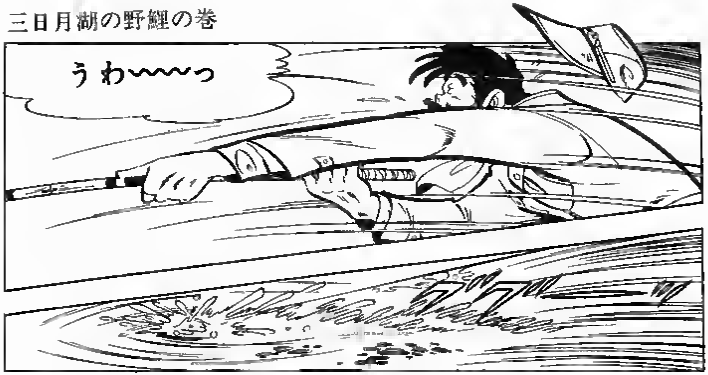

……!?
どうして
知ってるんだ

ハハハ
釣り用具入れの
バッグさ 書いて
あるべ
おらあ
三平三平って
いうだ
よろしくな!!

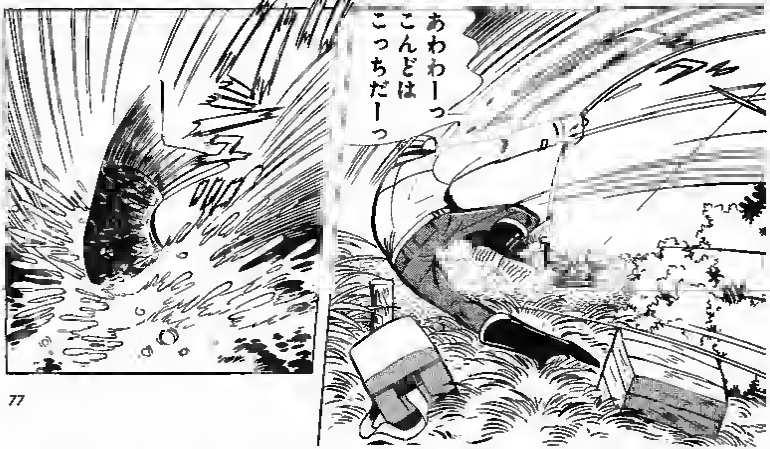
なるほど……
目のはやい
子どもだ
まいったな
三平三平
か……
フフフ

カッパかようし……
ポトー
イッ
魚紳(ぎょしん)
おもしろい人(ひと)だなや……
きたぞーっ
ついにきた!!
きた!!

ン!?
おう ヤスさん 初アタリだな おめでとう
一平さん!! そんただのんきなこといってるバヤイでねえ
クジラか マグロみてえなすんごいやつだぞーっ
ホホーッ クジラなんて釣ったこともねえくせに……
あいかわらずおおげさなこといって ヤレヤレ
ムッ こりゃあいかん
野鯉だなしかもかなりのシロモノだぞ!!
ヤスさん そんただムリにひいちゃあいかん
ん……んだども このままじゃひきずりこまれてしまうだ~~っ


うわ〜〜っ

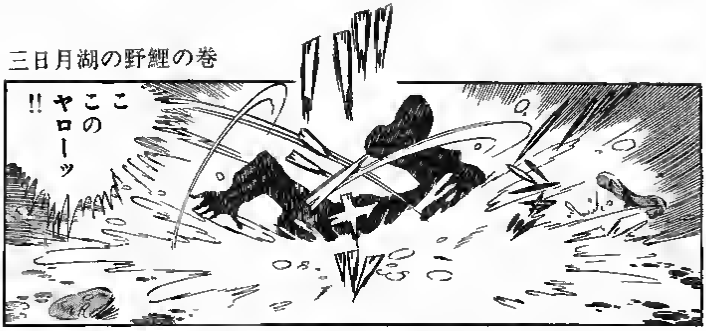
あせるな
ヤスさん
ジックリ
よわらせろ
あや〜〜〜っ
オドーッ
（おとうさん）
くそ!!


あわわーっ
こんどは
こっちだーっ

ウヒョッ
でかい
でかい
!!

一平さん
玉網だ
玉網を
貸せっ!!
ヤスさん
あせるなて
バラすぞ
そんただ
のんきな
こと
いってる
バヤイで
ねえ

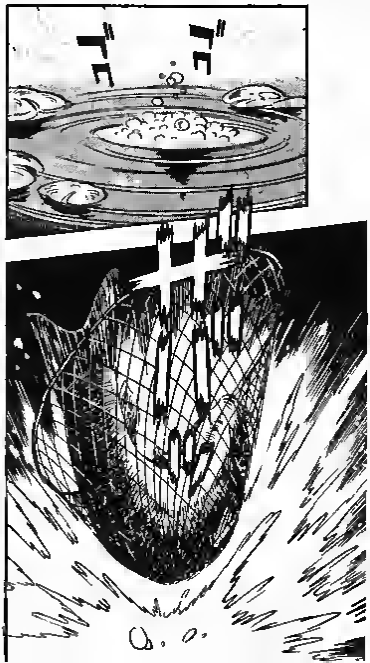
おらの
からだ
なんか
おぼれ
死んだって
かまわねえ
!!
なにが
なんでも
あげるぞーっ
うあ
ムギュ

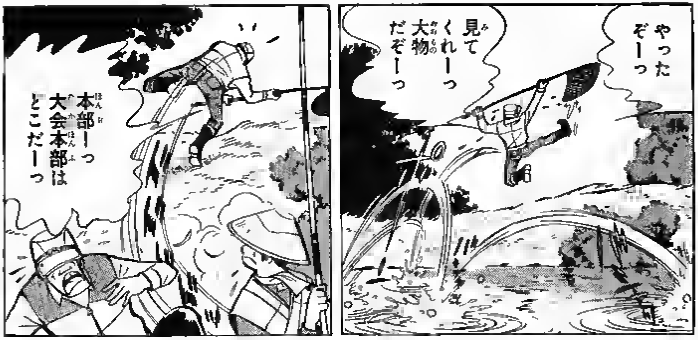

こ
このヤローッ
!!

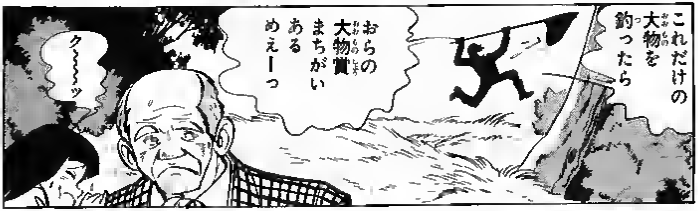
ああっ
見てられねえや

オドーッ
ヤヤスさん

やったぞーっ
大物だ
大物だーっ
二尺(六〇センチ)級の大物
野鯉だーっ




やったぞーっ
見てくれーっ大物だぞーっ
本部ーっ大会本部はどこだーっ


これだけの大物を釣ったらおらの大物賞まちがいあるめえーっ
クゝゝゝッ

あーあああ
きょうはへんな日だなやヤスさんにもかかるんだから……

ムッ
ピクッ

きたっ!!
こーんどこそは

へへへ
おっ 三平
きたわねっ
へへへ ボウズってのもカッコわるいからな
うわ〜〜っ な なんだこりゃあ
ガクガク
フニャ〜
うっ

あわわ～!?
ウップ!!
ウッ
どうしただ三平(さんぺ)!?
アラマ!
じいちゃ～～～ん
き きて
くれよ～～～っ
へ へんなやつが
かかった
だ～～～っ

やれやれ
きょうの
おめえは
さんざん
じゃな……
どうしたの
よオ……
三ちゃん
ハハハハ
なによ
三ちゃん
そのザマは
フフフ
まさか
カッパでも
釣れたんじゃ
ねえだろうな
あわっ
カ
カッパ
!?
三ちゃん
しっかりしてよ
けさから
一ぴきも
釣れねえで
頭さきたんで
ねえのけえ
フフフ
ちげえねえな
三平……
……んで
どこさいる
ああ
あれ
あれ
あの
草むら
ン!?

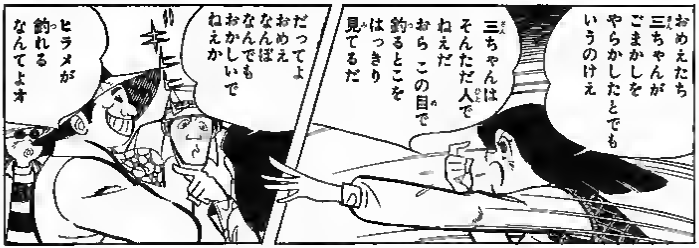
おいなんでえあれは
えれえさわぎでねえか
ひょっとして大物が釣れたんじゃねえのけえ
いってみるべ
どうしただいってえ
ガヤガヤ
ワイワイ
なんでえありゃあ
気味わりいやつだなや
ガヤガヤ
ワイワイ
ちょっとごめんよ
祈 日本一周
魚紳さん!!
三平三平くんだったね
見てたぜ釣るところを……

どれどれ
へんなやつって
こいつか
キジ(ミミズ)で
ベタ釣り
してたら
かかってきただ
ホホウ

ヒラメじゃ
ないか
ヒラメ
……!?
……
というと
あの……
海の魚の
そうだ
そのヒラメだ
まちがい
ない

あや～～～っ
海の魚が
川から釣れたと
いうのけえ
三ちゃん
みょうな
ことも
あるもん
じゃなあ
……
そんただこと
いったって
このとおり
釣れてきたんだ
しようがねえべ
ぶうたまげた
もオーッ

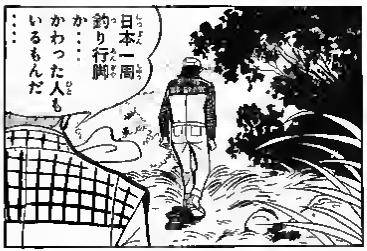
ヒラメだとよオ…
バカななんぼなんでも海の魚がこの淡水の三日月湖で釣れるわけがねえ
魚屋から買ってきたんじゃねえのけえ
バカバカしいてガハハ

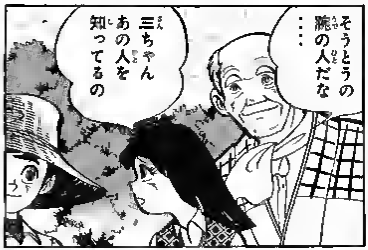

おめえたち三ちゃんがごまかしをやらかしたとでもいうのけえ
三ちゃんはそんただ人でねえだおらこの目で釣るとこをはっきり見てるだ
だってよおめえなんぼなんでもおかしいでねえか
ヒラメが釣れるなんてよオ

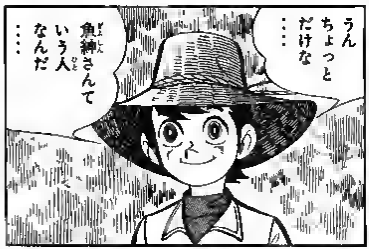
カーッヒラメだってなんだって釣れたもんは釣れただ〜っ
おめえたち三ちゃんにケチつける気かよオーッ
おほっ
まあまあユリちゃん
三ちゃーん一平じいちゃーんくやし〜〜い
みなさんおさわがせしてもうしわけねえ
さあ釣りをつづけてください

ふたりとも
心配するな
おれが
現認者に
なってやる
現認者（その人が そこで
その魚を たしかに釣った
ことを証明する人）
ここが
三日月湖
で……
この川は
こう流れて
海にはいってる
なあ……
そうじゃ ここは
海からは およそ
五十キロメートルは
上流になってるだ
……
海でもねえ
淡水の川で
こんただことが
ありうるもんだ
べか……？
ありうる
かも
しれない
おれも
河口から
二十キロ上流で
ヒラメを釣った
ことがある
日本地図
魚紳さんも
ですか!!
そんなことが
あったんです
か……
ふしぎな
もんです
なあ……
ふしぎ
ですよ
じっさい
……
三平くん

やっぱり
この三日月湖
には
なにかが
いる……
とてつも
ねえやつが
な……
フフフ

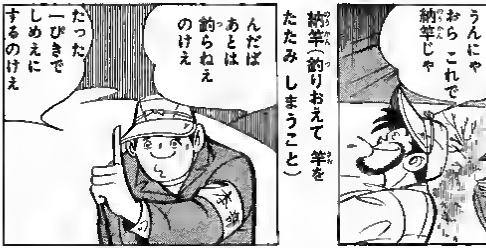

日本一周
釣り行脚
か……
かわった人も
いるもんだ
……


そうとうの
腕の人だな
……
三ちゃん
あの人を
知ってるの


うん
ちょっと
だけな
……
魚神さんて
いう人
なんだ
……

三平が珍魚を釣りあげたニュースはたちまち参加者のあいだにつたわっていった
まさに珍事だな淡水からヒラメが釣れたなんて
珍魚にはちげえねえがしょせん外道じゃねえか……ハハハハ
外道とは目的としした魚以外の魚のことで本大会はヘラ・マブナ・鯉が目的の魚であるからヒラメは外道となる

——いっぽう大物(おおもの)野鯉(のごい)を釣(つ)ったヤスさんのほうは……
計量(けいりょう)
まあまあとにかく計量(けいりょう)してみろて
てえしたシロモノじゃねえけどよ
しかしまだ大会(たいかい)はおわってないスよ
本部


のこり時間(じかん)もあることだしこれからだってそうとう釣(つ)れるべ
うんにゃおら これで納竿(のうかん)じゃ
納竿(釣りおえて 竿をたたみ しまうこと)
んだば あとは釣(つ)らねえのけえ
たった一(いち)ぴきでしめえにするのけえ

あいさこれ一(いち)ぴきでけっこう!!
それともなにかい一(いち)ぴきじゃあ計量(けいりょう)できねえというのけえ
そそういうわけでは
そんならさっさと計量(けいりょう)してくれ

おら
おめえたちのこと
考えて 早く
きてやってるだぞ
計量をうける
れんじゅうが
殺到してみろ
いそがしく
なって
はかりかたも
ザツになるべ
しかた
ねえな

ザコみてえな
もんだども
よオ…
ジックリ
はかって
くれよな

ク〜〜〜ッ
いい気な
もんだぜ
めったにねえ
大物をあげた
もんだから
まったく
きょうは
みょうな日だぜ
あんなヘタな男が
釣るんだから

どうでえ
そんなメダカ
みてえなもんで
よけりゃあ
あとで
魚拓でもとって
サインして
やってもいいぜ

クッ

オラ
おおっ
これは
ヒシャクユスリだの
ヤーぬ！
ギャヒッ
ムッ
すげえ
野鯉だ
六十二・三
センチメートル
七・一〇キロ
グラム……!!
ホホウ
まあ
そんただ
もんだろうな
ヒシャクユスリ
オラオラ
ガク
ガク
本部
野鯉と
しちゃあ
メダカクラス
だべえ……
チーサイ
チーサイ
ははは
ムッ
ヤラ
ヒシャクユスリ
は

ケッ
オッ
クッ
あ・・・
午後二時
釣り大会終了
SEIKO
クゝゝゝッ
釣りやがった
な おめえ
フフフ
たいしたこと
ねえて
どうだった
イモリ
一ぴきだ
みなさーん
計量しますから
本部のほうへ
きてくださーい

どうしただユリちゃん
さあ納竿だぞ
うん
三ちゃん
フフフしようがあるめぇ
日がわりいだきょうの三平はついてなかっただ……
んんだども……
ユリッペのクソババアこのう!!
てめえのおかげでおらあこのザマだ!!

なんでえ
釣るにことかいて
こーんな
バケモノみてえな
ヒラメ一ぴきたあ
このドテカボチャのアホンダラ
おめえ
なんか
もう二度と
いっしょに
釣りなんか
しねえぞっ
三ちゃん
もうしわけねえだ
あんなに
はりきってた
三ちゃんが
おらのために
一ぴきも
釣らないで
しまって……
……
三ちゃん
なして
だまってる
だ
なんとか
いってけれ
フフフフ
ユリッペ
バカも
やすみ
やすみ
いえて……
おめえのために
釣れなかったん
じゃねえだ……

腕だよ
腕
ホ
おらが
ヘタクソ
だからだ
そうに
きまってる
て
そ
そんな
三ちゃん
!?
だれだべ
船なんて
こいで

女の人だな……
ん
おおっきれいな人だなや

花束なげたんで
ねえか…？
三ちゃん
おーい
三平
ユリちゃん
そろそろ
褒彰式が
はじまるぞ

やったーっ!!
やったやったやったーっ

おっかあーっ
み 見て
くれーっ
おらあ
ついに
やったぞ——っ
ワア
ワイ
ガヤガヤ
ナニッ
カッゼニ
クルんじゃ
バーン
アホ
ガハハ——ッ
!? ン
おお
一平さん
こ これ
これ 見て
くれ!!
おらの腕も
まんざらでも
あるめえ
優勝と
大物賞を
ひとりじめ
だぞ

オド
しずかにしてよヤスさん
おう 三平くん おめえ ヒラメなんちゅうバケモノを釣ったそうじゃなあ
ひっひ
ごぐろうごぐろう
しかし ざんねんだったなあ めずらしい魚には ちげえねえが しょせん ヒラメは外道にすぎねえ
今回の対象魚は ヘラ・マアナ 野鯉の三種じゃから
なーんぼ釣ったとこで 外道じゃ 賞の対象にはならねえからな ガハハ
ヤスさん……
うれしいって気持ちはわからんでもねえが
なんぼなんでもすこしのりすぎじゃねえのか
あれっ!! 一平なんちゅうことをいうだ
おめえうれしくねえのか

いや…
そういうわけじゃ ねえけど
ガキじゃあるめえしそんただはしゃがねえでも…
ハハーン一平おめえやいてるな
おらに二つも賞をとられたんでくやしいだな…
ガハハそのツラはそういうツラだ
くやしくてハラクソわるくてどうしようもねえってツラだ
まあまあそんたにやくなって
勝つも負けるもこの世のならい人生すべからく勝負勝負!!
なーんじゃいおめえたち
コンニャクがへこいたみてえなツラをして
ヒッ

この栄誉をたたえて拍手じゃ拍手じゃーい
嵐のような拍手じゃーい!!
ガーン
ガーン
ガーン

——けっきょく
本年度 釣友会例会の入賞者
は つぎのとおりとなった

優勝
釣りあげ重量 七・一〇キログラム
大物賞
野鯉
重量
七・一〇キログラム
体長六十二・三センチメートル

準優勝
釣りあげ重量
六・二五キログラム

第三位
釣りあげ重量
五・五〇キログラム

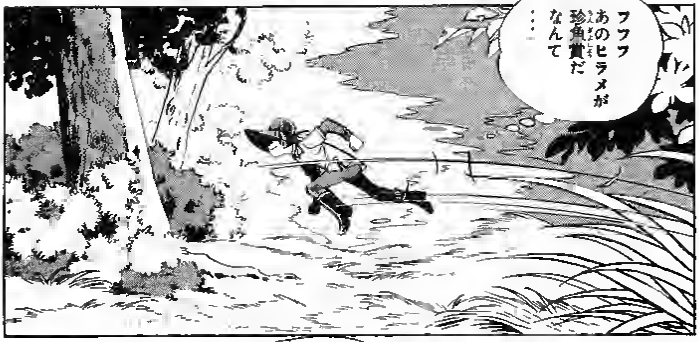
ガハハ
いいきみだ
胸がすーっとしただ
あまりのはしゃぎようで会員のひんしゅくをかったヤスさんではあったが……
ケッヘヘ
みなさーんせいしゅくにねがいまーす
入賞者の表彰はいちおうおわりましたが
さきほどより本部役員が慎重審議をかさねました結果!!
本年度はとくべつにあらたな賞をもうけることになりましたただいまよりその特別賞の表彰にうつりまーす
特別賞だとよぉ
なんだべそりゃあ
いってえだれがもらうだその特別賞とやらは……
せいしゅくにせいしゅくに

三平三平くーん
三ちゃん
ン!?
三平
三平くん
どうぞ
出てきて
くださーい
あなたが
特別賞
でーす
じいちゃん
これは
どういう
こっちゃ
フフフ
ヒラメじゃよ
いってこい
三平

みなさーん
三平三平くんは
淡水の三日月湖から
海の魚であるはずの
ヒラメという
珍魚を釣りあげ
ました
この世にも
奇なる新事実は
もしかして
自然界のミステリーを
とく重大なカギに
なるやもしれません

よってここにわが釣友会の歴史の一ページになが〜くこの珍事をしるすとともにこの快挙をたたえて!!
ポカーン
パパパパパパ
珍魚賞を贈呈いたしまーす!!
三平くんおめでとう!!
ポケーッ
パチパチパチ
また やったかやられたか
ハチハチ
やんなっちゃうなあ 毎年かならずなにかの賞をとっちまうんだから
優勝
すんごいガキじゃて…
さすが一平じいさんの孫だな…
かくして三平の珍魚賞で釣り大会の幕はおりた

三ちゃん
おめでとう
……
じいちゃん
あのヒラメ
いってえ だれが
本部さ 持って
いっただ
フフフ
わしじゃよ
んだって
じいちゃん
あれは
外道で
審査の
対象に
ならねえ
魚だべ
いや さきほど
本部の役員がきて
参考に見せてくれ
ちゅうもんだ
から…
なんでも
見なれねえ
黒メガネの男が
本部さ きて
おめえのことを
つたえたそうじゃ
魚紳
さんだ
!!
魚紳さんに
ちげえねえ
!!
じいちゃん
おら
ちょっくら
いってくるだ


フフフ
あのヒラメが
珍魚賞だ
なんて
……

きっと
魚紳さんが
本部に
知らせたに
ちげえねえ
もう一度
会って
礼をいわなく
ちゃあ
……

それにしても
ふしぎなんだ
なや……あの
魚紳さんて
無口で
ぶっきらぼうで
なにを考えてるのか
さーっぱり
わからねえような
人だけど……
なーんか
おもしろ
そうな人
だなや……
この三日月湖さ
カッパを
さがしにきただ
なんて……
フフフ
……

魚紳さーん!!
あれっ!?
たしかさっきまでここで釣ってたはずだが…
おかしいなどこさいったべ…
ン!?
なんだべ土なんかほじくりかえして…
タバコのすいがらだ…
カーッ感心しちゃうなあ魚紳さんて…
タバコのすいがら
ばかりじゃなく紙クズや食べもののカラをあたりかまわずちらかしてかえる釣り人がいっぱいいるちゅうに
こうやってタバコのすいがらを土ン中さうずめてきれいにしていくなんて…
さーすがほんものの釣りキチだなや

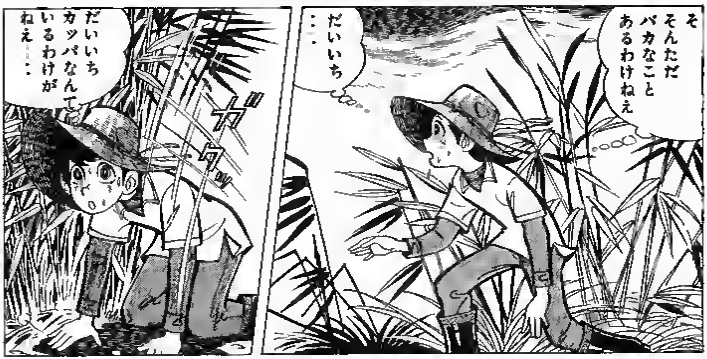
それにしても
魚紳さん
どこさ
いったべ…
きっと
釣り場を
かえたに
ちげえねえ
もうすこし
下流のほうを
さがして
みるべ…
魚紳さーん
!!
おっ
あれは
…
たしか
さっき
船できた
おねえちゃんが
なげた花束だ
…

あねさかぶりが
よく似合う
きれいな
ねえちゃん
だったなや
……
ン!?
んだども
なして
花束なんか
なげたんだ
べえ……
ユラ〜

ああっ!?
は花束が……はじけとんだ……

な なにかいる……
ぎょ紳さんがいってたようにここの三日月湖にはやっぱしなにかが……いる!!
と……とてつもねえなにかが……
ま まさかカッパが……!?

……
カッパ
……


そ
そんただ
バカなこと
あるわけねえ
だいいち
……
だいいち
カッパなんて
いるわけが
ねえ……
ガタッ

だ……
だとすれば
あれは
いってえ
なんだべ……

魚!?
…まさか魚にあんただ芸当が…
ユリの花束をはじきとばすなんちゅう芸当ができるもんだべか…
するとやっぱしカッパ…!?
いやいまどきカッパだなんているわけはねえし…
でも魚があんただこと…
するとカッパ…

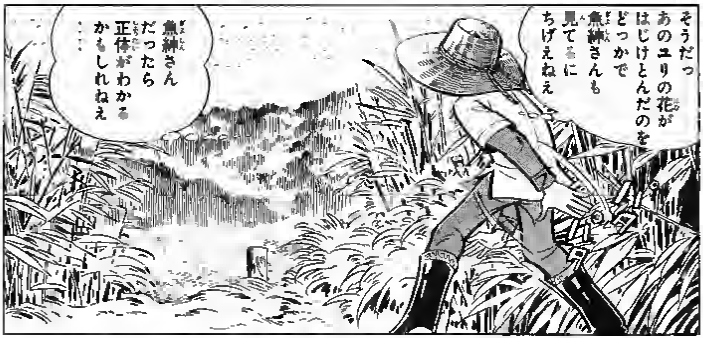
いや……
しかし……
そのう……
ウ～～～ン
ウケケケケ――ッ

ズザザ
まーさかいまどきそんなだことがあるわけねえて
おれは水があって魚が釣れるところならどこだっていい
ただ…この三日月湖に立ちよったのは…
ここにカッパがすんでいるという情報をキャッチしたからだ

ハハハハハ
おじさん
おらが なんぼ
子どもだからと
いって
からかわねえで
けれ
カッパは
むかしの
人が考えた
架空の動物だべ
こんただ
科学のすすんだ
今日に
カッパだなんて
ハハハハ……
日本一周釣行脚

いや
いるかも
しれない
この世の中
には
科学では
解決されない
ことが
たくさんある
だろう

この三日月湖に
カッパがいるという
うわさがあるいじょう
そこには なんらかの
根拠があるはずだ
たとえば
みょうな型の
魚を見まちがえた
とか……
ハッ
なんでえ
おらあ
魚紳さんを
さがしに
きたんじゃ
ねえか


そうだっ
あのユリの花が
はじけとんだのを
どっかで
魚紳さんも
見てるにちげえねえ
魚紳さん
だったら
正体がわか
かもしれねえ
……

魚紳
さーん

魚紳
さーん

こんだけ
さがしても
見つからねえ
なんて……

どこに
いるんだ
魚紳さん

おーい
三平ーっ

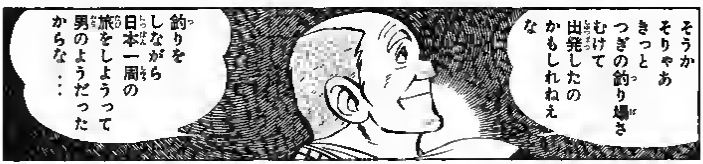
どうしただ
三ちゃん
いつまで
待たせる
気っ!!

見つかったけえ…
あの男

あーんましこねえからおいてきぼりくらわせようって 話してたのよっ!!
フフフ…

ん…

どこさがしてもいねえんだ
だれよあの黒メガネの男けえ


そうかそりゃあきっとつぎの釣り場さむけて出発したのかもしれねえな
釣りをしながら日本一周の旅をしようって男のようだったからな…

そうかなあ…
もうかえっちゃったのかなあ
三ちゃんなーにボサーッとしてるだそんただこときまってるべや
日本一周するんだからひとつとこさそんただ長いことおるわけにもいくめえ!!
考えてみれ!!

そうかあ
やっぱし
そうだろう
なあ…
フフフ
世の中にゃ
かわった男も
いるもん
じゃて…
なんちゅう
名まえだっけ
あの男…
魚紳さんだ
…

そうそう
魚紳という
名だったな
まことに
かわった
男
じゃて
フフフ
一平じいちゃん!!
あの男の人も
かわってるけど
三ちゃん
だって
そうとう
かわってるて

どーこの
馬の骨かも
わからねえ
ような人を
つかまえて
すーぐ声かけて
…
なんとなーく
友だちみてえに
なっちゃうんだ
もん…

ハハハハ
ユリちゃん
釣り人は
そうで
なくちゃあ
いかん
釣り場では
みーんな
なかのいい
友だちで
なくちゃあ
いかん…

むかしの釣り人のなかにはよく自分のエサやしかけを秘密にしたり釣り場をだれにもおしえないで自分ひとりでたのしむ人がおおかったもんじゃが
わしはそういう釣り人がだいきらいでのう…

エサもしかけもポイントもおたがいに公表しあってみんながなかよく釣ることがたいせつなんじゃ…
そうすればおたがいにみょうなあらそいごともおこさねえですむし釣り技術だってどんどんあがっていくはずじゃ

さあもういくべ…

魚神さんほんとにかえっちまったのかなあ…

この三日月湖の対岸に
一つの村落がある
三平と
ユリちゃんは
おじいちゃんたちと
駅でわかれて
この村落へ
むかった
早く!!
こっちよ
三ちゃん
この村落には
ユリちゃんの
おかあさんが
生まれた家があり
ユリちゃんが
だいすきな
おばあちゃんが
住んでいるのです

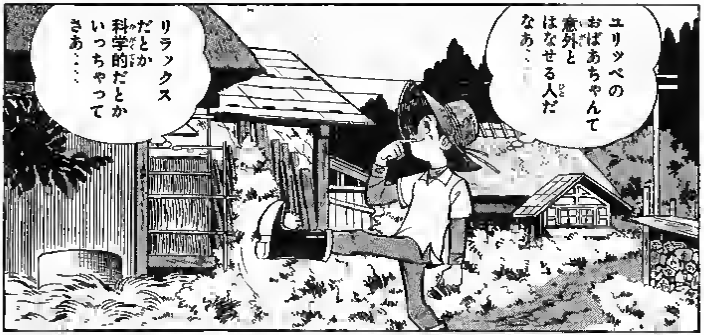
おばあ
ちゃーん
おらだ
ユリだーっ
友だち
つれて
きたぞーっ

ユリッペ
おばあ
ちゃーん
おお
ユリッペ
すんばらく
見ねえまに
すっかり
おおきく
なりおって
かわゆい
かわゆい
ん――っ
おばあちゃんたら
やだなあ…モウ
いーつも
おらのこと
子どもあつかい
するんだから
なーに
いってるだ
ケツの青味が
とれねえうちは
子どもだべ
カク
ユリッペの
ケツは
まだ
青いの
けえ
知らないっ
ンもう!!
友だちって
のは
この子けえ

ハイッ
ユリッペの
親友で
三平三平と
もうしまーす
こんばんは
えんりょなく
とめてもらい
まーす
ホホホ
おめえが
三平くん
かい
うわさは
ユリから
聞いてるが
なかなか
元気のいい
子ども
じゃな・・・
さ さ
そんただ
かたくならんと
リラックス
リラックス
・・・!?
リラックス
・・・だとよ
この おばあ
ちゃん・・・

なに…!?
カッパじゃトオ
あの頭の上にお皿があってキュウリがだいすきだというアレけえ
ホホホホはいってくるなりおもしろいことをいいだす子どもだなや三平ちゃんって
どうしただ三ちゃんきょうはどうかしてるぞ
いや…そのう
おばあちゃんは長いこと あの三日月湖の近くに住んでるから
きっとカッパの伝説なんか知ってるんじゃねえかと思ってよ
あいさカッパの話はいっぱい知ってるだ
なにしろこの村じゃあの三日月湖にカッパがすんでるってもっぱらのうわさじゃからな
カーッ三ちゃんたらバカみたいそんただむかしの迷信を本気になって聞くなんて
ええ!! ぜひ話を聞かせてけれ!

ユリッペ むかし話をすぐ迷信だといってかたづけちまうのはどうかな
わしゃあそういう中にもひょっとしたら科学的に解決できることがいっぱいあると思うがのう
カーッ 科学的なんておばあちゃんみかけによらずはなせるう!!
ウガ
そもそもカッパちゅうもんはな……
うんカッパとは
なーんかそんただ身をのりだされると話しにくいのう
おっそうじゃ村はずれの源五郎さんとこさいってみれ
あの男だったらカッパについての耳よりな話が聞けるかもしれねえな……
たしかおととしの夏ごろじゃったが源五郎さんとこのむすこがあの三日月湖で死におってな
なんでもカッパにひきずりこまれて死んだちゅうて評判になったもんじゃ
資料室

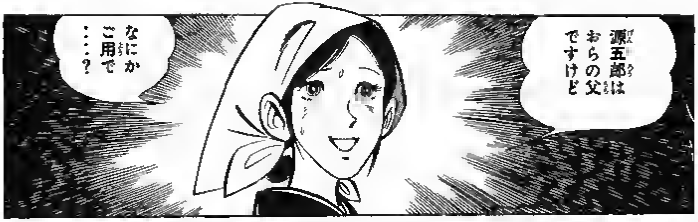

ユリッペのおばあちゃんて意外とはなせる人だなあ…
リラックスだとか科学的だとかいっちゃってさあ…

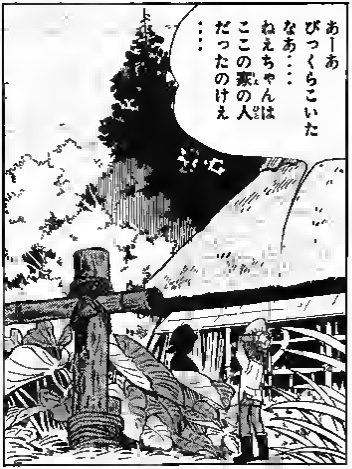
おらのじいちゃんもいい人だけど
ユリッペのおばあちゃんもすきなタイプだなあ

このあたりだな

あのうちょっとおうかがいしますが
このあたりに源五郎さんという人の家を知りませんか

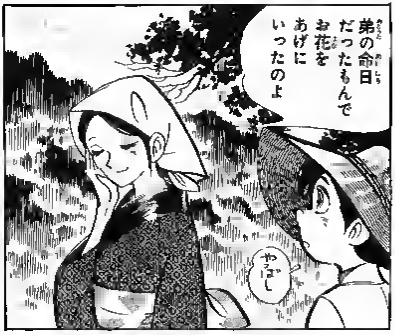
はあおらの家ですけど
ああっ


源五郎は
おらの父
ですけど
なにか
ご用で
……？


あーあ
びっくらこいた
なあ……
ねえちゃんは
ここの家の人
だったのけえ
……

へへへ
まあ
花束を
なげたとこ
見てたの

それじゃあ
さっき あの
三日月湖で
釣りでも
してたのね


弟の命日
だったもんで
お花を
あげに
いったのよ
やっぱし

愛子ーっ!!
どうしただ
お客さん
けえ!!

なーに!?
カッパの話を聞きてえだとオ!!

あの三日月湖はなおめえ…
カッパの巣よオ
何百ぴきすんでるかわかりゃあしねえ

あーあおめえみてえなガキはあすこさは
めったに近づかんほうがいいて

ズルズルと水ン中さひきずりこまれてケツのダンコ(肛門のこと)ぬかれて
どうぞ

ホレ見れ
おらのむすこみてえに仏さんになっちまうぞ

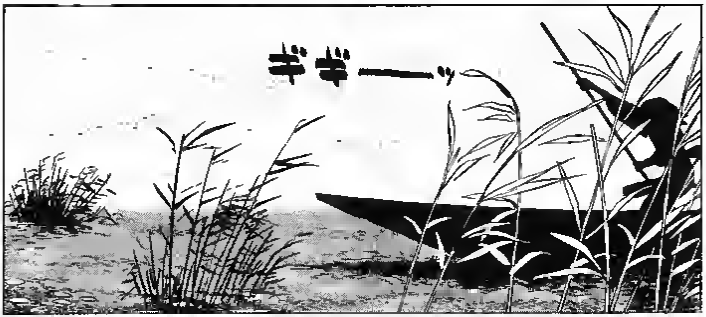
おらの弟で実っていうの
とっても釣りのすきな弟で……
おととしひとりで船をのりだしてあの三日月湖に釣りに出たまんま……
かえらなかったの……
ちょうどあなたとおなじぐらいの年できかんぼうな弟でしたわ
村じゅうの人で夜中までかかってさがしまわり
やっと見つけたときにゃあ
ケツのアナがこーんたにでかくひらいて……
ありゃあまちげえなくカッパにダンコをぬかれたにちげえねえて

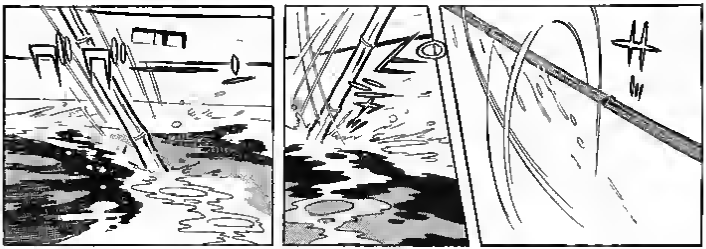
カッパの姿を見たのけえ
バカこけ
そんただやすやすと人に見つかるマヌケなカッパなんていねもんけえ!!
そしたらなしてカッパのしわざだとわかったんだべ
これが証拠じゃ……こんなアナのあいた石は三日月湖の河原にゴロゴロあるだ
カッパにへをしっかけられてできたアナじゃ
へエーッカッパのへですか
へのカッパちゅうのは聞いたことあるだが
おいおい愛子きょうはみょうな日じゃな
さっきもカッパのこと聞きにきたもんがいたぞ
えっ!!そ それはどんな人です
もしかして黒メガネかけて頬にキズがあって背のでっけえ……

おめえ よく知っているな
その男にまちがいねえだ
魚紳さんだっ!!
やっぱし魚紳さんはまだこの地にいるんだ
魚紳さんが本気でカッパの情報をあつめているとなると…
フフフこりゃあおもしれえことになってきたぞ
よーしこんどはおらが
魚紳さんの先まわりをしてやるべ…
三平ちゃん!!
!?
愛子ねえちゃん!!

わすれものよ
れ!!
フフフッ
へへへ

なんでも
カッパさがしに
いくとかいって
出かけたが
おんもしれえ
ワラシだ
なや…
フェッ　フェッ
フェッ
ンマア
三ちゃんたら
頭がおかしく
なったんで
ねえべか
まあ
朝メシ
までにゃ
かえってくる
じゃろ…
トトン
きのう
ボウズだった
もんだから
きっと釣りに
いったんだわ
釣りとなると
目の色が
かわっちまう
んだから…もう
ばあちゃん
三ちゃん
見なかった
けえ
あれれっ
三ちゃんが
いねえ
どこさ
いったべ
まさか家さ
かえったんで
ねえべな…
ああ三平
ちゃんだば
まだ夜も
あけきらねえ
うちに
出かけただ


ギギ――ッ



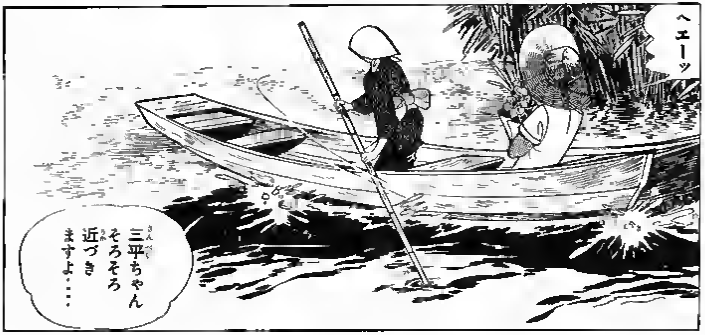
雪子ねえちゃん
すまねえな
朝っぱらから
たたきおこしたり
しちゃって
いいえ
どういたし
まして…
それより
三平ちゃんこそ
ねむくないの
へいきの
へいざの
へのカッパさ
おらあ ふしぎと
朝は 目ざめが
いいんだ
もっとも
釣りをする日の
朝にかぎるけど
な…
ホホホ
おもしろいこと
いうのね
三平ちゃんて

愛子
ねえちゃん
この船は
なにに つかう
船だべ
網なんかの
ねえとこ見ると
魚とりの船でも
ねえみてえ
だし…

桑を
はこぶための
ものよ

桑

おらの家では
絹糸をとる
蚕をかってるので
その蚕に
食べさせる
桑の葉をつんで
はこぶ船なの
桑畑が
むこう岸の
遠いところに
あるもんだからね


ヘエーッ
三平ちゃん
そろそろ
近づき
ますよ…

このあたりだったわ
ヘエーッここでカッパがあらわれて弟さんをひきずりこんだっていうわけか……
だいぶふかそうだなあ……
ええこの水棹がやっととどくぐらいよ
ほんじゃあとりあえず花束を……
ありがとう三平ちゃん弟もきっとよろこんでくれるでしょう
おっ!!
なんだ……あれは……

船の……舳先のあたり!?
あっ
ユラ〜

ざ
三平ちゃん
!!
し
しずかに
して……

ううっ
三平ちゃん
いいるのは
なんですか
……

しっ
しずかに
……!!

うぅぅぅむ
!?
三平ちゃん
ふふかくて
よくは
見えねえ
けんど
な なんだか
ぼんやりとして
お魚のかたちに
見えるわね

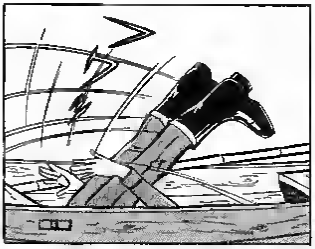
鯉だ!!
野鯉だ!!
ええっ
まちがいねえ
とてつもなく
でかくなった
野鯉だ……

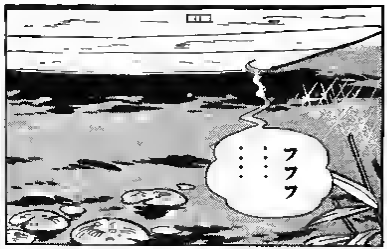
信じられないわ…
あれが鯉だなんて
どう見てもこの船の横幅の二倍以上はありそうよ…
愛子ねえちゃんおらもこんただでっけえ野鯉がいるなんて信じられねえ
んだどもあの口もとを見れ
両はしに二本ずつの口ヒゲがついてるべ
あれが鯉の特徴だ
そういえばたしかにそうね…
ヒゲが二本ずつ
あ愛子ねえちゃんそんただのりだしたらだめだ!!
水面き影をうつしたらにげられてしまうぞっ

ごめんね 三平ちゃん
ああっ
ガラ
ああ あぶない わっ!!
おっ とと と ——っ !!
ガラ
雪子ねえちゃん だいじょうぶけえ…!!
すみません もう だいじょうぶよ…
ユラ〜
ああっ

ごめんな
三平ちゃん
おら
魚のこと
あんまし
よく
知らなかった
からつい
うっかり……

ねえ
三平ちゃん
なに考えて
いるだ




フフフ
……

フフフ
カッパか
……
カッパ
……!?

こりゃあ
どえらい
カッパが
あらわれた
もんじゃな
なんのこと
カッパって
……?

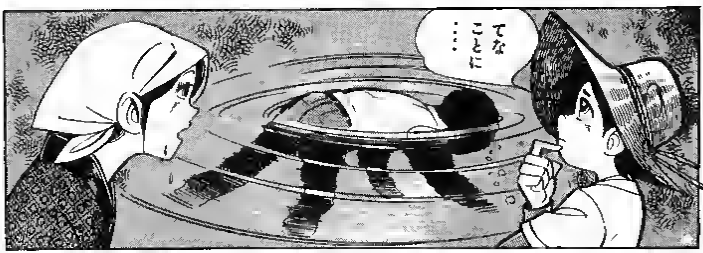
雪子ねえちゃん
まだ 気が
つかねえの
けえ……
いまのが
この
三日月湖の
カッパの正体
だべえ……

ええっ!?
すると
弟の
実は……
……

弟さんの
写真けえ
ど
ぬ

うわ〜〜っ
おらに
そっくり
じゃねえか
三平
ちゃん
すると弟は
あの鯉に
ひっぱりこまれて
死んだと
いうのですか
いや
そうかも
しれねえって
ことさ
んだって
弟さんは
この三日月潮さ
釣りにきて
水死したんだ
べ……
きっと その日
弟さんの竿さ
あいつが
かかったんだ
ウヒョッ
そして
……
あうっ

ああ
――っ


てな
ことに
……

まだか
そらっ!!
へくへくッ
!?
あわっ
ウケケケーッ

ウワ〜〜ッ
ゴボゴボゴボ

ウケケーッ

まーさかなんぼなんでもいまどきこんな話を信用する人もあるめえ
んだからあいつにひきずりこまれたんじゃねえかと思うんだ
それもそうだけど・・・・

弟は泳ぎがとってもうまかったし
船からおちただけでおぼれるなんて考えられないわ
だいいちそんなに強くひきこまれたら・・・・
水におちるまえに竿をはなすんじゃないかしら

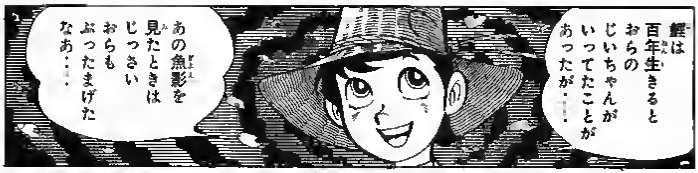
いや!!考えられることはいっぱいあるべ
なにかのひょうしにテグスが首さまきついてしまうとか
おちたとたん心臓マヒをおこしたとか・・・

三平ちゃん
あなたって
子は すごい
推理をする
子ね!!
おねえちゃん
すっかり
感心して
しまったわ
もし それが
ほんとうなら
弟の死は
あの野鯉のため
かもしれない
わね

いやあ
おらあ なにも
あの野鯉が
犯人だなんて
いってねえだ
ただ あんただ
でっけえやつ
だったら
ひきもすげえ
だろうなあ
…って思っただけだ

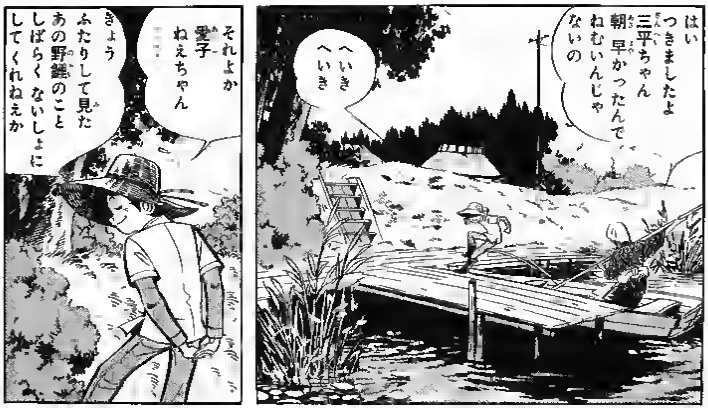
そうねえ
じゅうぶん
考えられる
わねえ…

でも鯉って
あんなに
大きくなるもの
でしょうか
どう見たって
一間(約一・八メートル)
はあったわ…
あれだけ大きく
なるんだったら
そうとうの年令
でしょうね…


鰹は
百年生きると
おらの
じいちゃんが
いってたことが
あったが……
あの魚影を
見たときは
じっさい
おらも
ぶったまげた
なあ……

この
三日月湖は
ほんとに
ふしぎな
とこだ
ヒラメが
釣れてみたり……
あんな
でっけえ
野鰹がすんでたり
……ということに
なると ひょっとして
カッパがいるかも
しれねえな フフフ

鯉の日本最大の記録は体長1 53メートル 胴まわり1 2メートル
体重45キログラムが知られている（水口憲哉著「釣りと魚の科学」より）
が 中国大陸では2メートルにたっするものもあるといわれる。

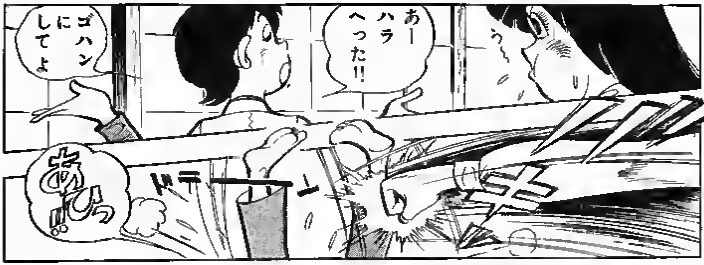


あら
べつに
かまわない
けど…
どうして
いやあ
どうって
こともねえ
けどよオ
三平ちゃん
あなた
もしかして
あの野鯉を
釣ることを
考えて
るんじゃ
ないでしょう
ね…
へへへ
……
ポ

三ちゃーん!!
こんだ朝っぱらからどーこほっつきあるいてきただ――っ!!
いまは農家の人たちにとっていそがしい時期なのよ!!
さっきまで食事もしねえでおめえのかえりを待ってたのに
なーんぼ待ってもこねえっ!!

しかたねえから
さきに食べて
はたらきに
出かけて
しまっただ
(ゴメン)
ゴメンや
ジュウメンで
すむのなら
警察なんか
いらねえべ
いってえ
どこさ
いって
きただっ
フフフ
そんただこと
きまってるべ
……
ンマア
したら
やっぱし
三日月湖さ
……
ユリッペ
あんまし
口やかましく
すると
嫁さんの
もらい手が
なくなる
ぞ……
女の子
ちゅうのは
おしとやかで
なくちゃあ
いかんなあ
……

おしとやか……!?
あいさまあいってみりゃあ
山里の草かげに人知れずひっそりと咲くかれんな山ユリの花のように……
こうこなくっちゃなあ……
おなじユリでもおめえの場合はさしずめオニユリってとこかな……


あーハラへった!!
ゴハンにしてよ
ドテ

だまーって聞いてればしゃあしゃあとぬかしおって
なーにが嫁のもらい手がなくなるだっ!!
おおきなおせわじゃねえか!!
ウヒョッ
DG ヒュッ
やめろてユリッペ

うんにゃ ならねえだ
なーにが おしとやか よっ…
なーにが 草かげに 人知れず ひっそりと咲く 山ユリの花よ!!
ユリッペ やめろて じょうだんだ…
ハハハハ じょうだんにきまってるべ
ギュッ
じょうだんでよくもそんただことがいえるもんだ
ハヒッ
おらのどこがオニユリだ――っ
わ
ぎゃっ どひて!!

チョーシのるのもいいかげんにしろてっ
ドヨ
ブーツ
どうでぇ聞いたべ三ちゃん
おら一回これをためしてみたかっただ…
あや〜〜っスカッとした…
ホーイテもろに横ッツラさきめやがったなあ
まーだこりねえならもう一発ヒジ打ちをかませてやるけえっ
いやもうたくさんだ
わるかったよう…ゴゴメン
このとおりあやまるからメシだけは食わしてくれよなあ
ハラペコなんだおらあ…

かってに食ったらいいべっ
そこのテーブルの上さあるもの……
いやあありがてえなあ
モグモグ
んーっ!!
ゴクン
おほっ……
せーっかくおめえのすきなタマゴヤキつくって待っていたのに……
さめてまずくなっちゃったじゃねえか
三ちゃんのバカン
こいつあいけるぞモグモグパクパク
おーいユリッペこのタマゴヤキグンバツだなや
モグ

そうおそんただうめえか
うめえのなんのってメシが三ばいよけいに食えちゃうよ
おらってタマゴヤキにゃ目がねえからなあ…
そうよかったね…

やっぱしユリッペのおばあちゃんは料理がうめえなや…
タマゴヤキひとつにしたって年季がはいってるて
こういうのを年の功っていうんだべなあ…

それおらがやいたのよ
三ちゃんに食わせようといっしょうけんめいに…

そういえばさっきからどっかちがうなあ…と思ってただ
チョイッと塩かげんが不足ぎみちゅうとこかなあ…
まあ気にするほどのことじゃねえほんのひと味ってとこだからな

なに

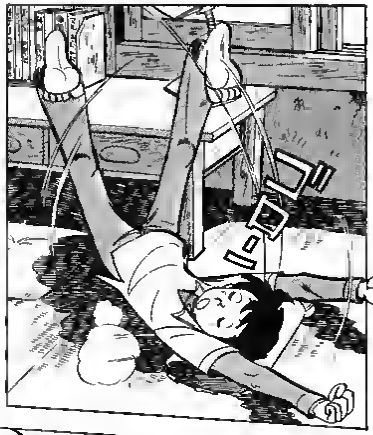
三ちゃんたら
んもう――っ
ごっあん

こらあー
にげる気か
三公ーっ

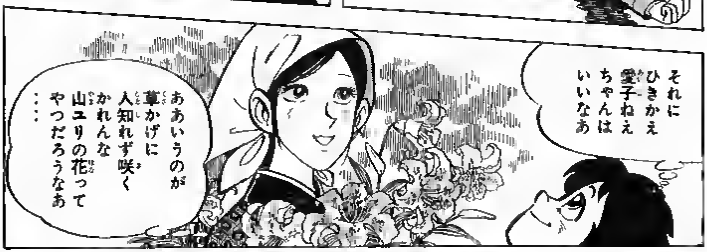
クソオ
あいかわらず
にげ足が
早いなあ
はひ…

あーあ
ハラが
ふくらんだら
ねむくなって
きたなあ…

フア～～～ッ
ユリッペのやつ
本気で
おこりやがって
……


ゴロ～ン

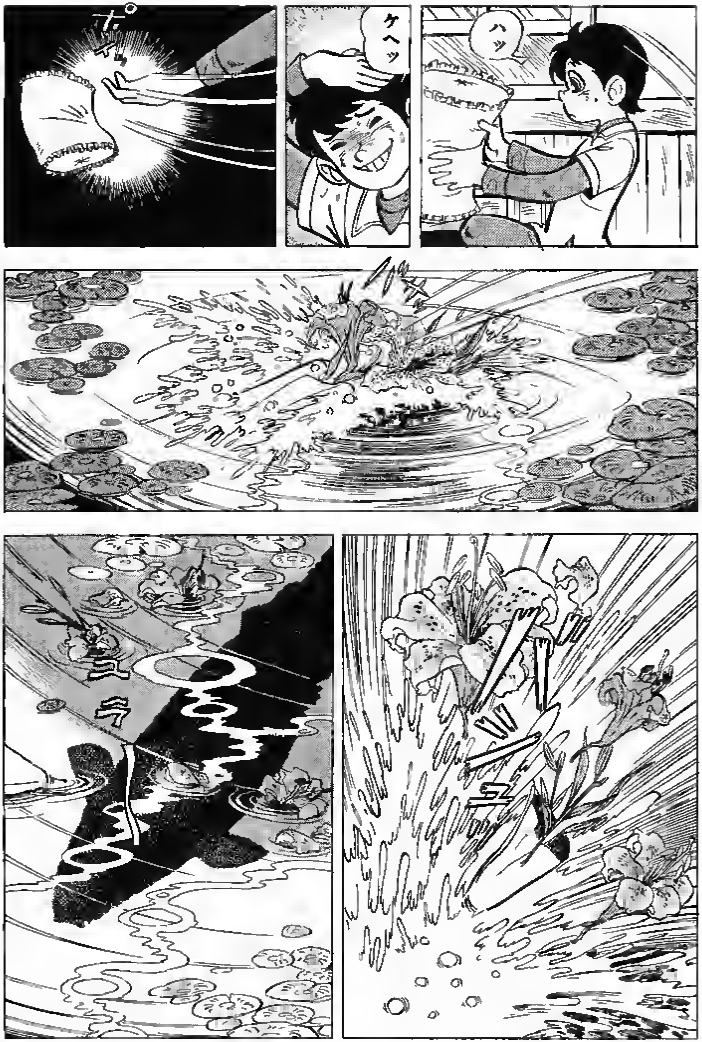
まーったく
オテンバも
いいとこだ

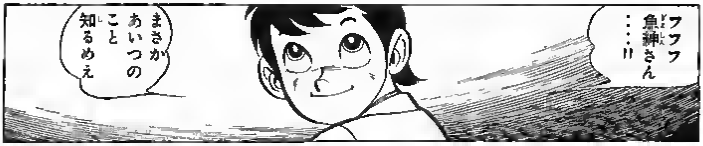

それに
ひきかえ
愛子ねえ
ちゃんは
いいなあ
ああいうのが
草かげに
人知れず咲く
かれんな
山ユリの花って
やつだろうなあ
……

三ちゃん
わすれ
ものよ
れ

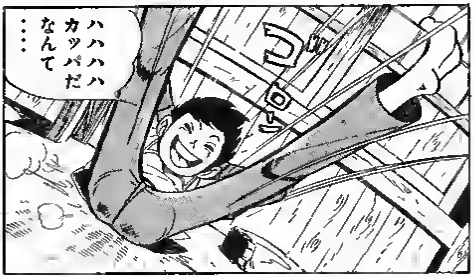
なーん
つっちゃって
ちくしょう
おらって すこし
ませてるのかなあ
んだども
おらの理想の
タイプだなあ
……愛子
ねえちゃん
クソオ
いやっ
いやっ
あばよ

フフッ
へへへ


ハッ
ケヘッ


フフフ
魚紳さん
……!!
まさか
あいつの
こと
知るめえ

この三日月湖に
カッパが
すんでいる
という情報を
キャッチした
からだ


ハハハハ
カッパだ
なんて
……

魚紳さんは
まさか
カッパの正体が
あいつだなんて
気づいて
いめえ

あの野鯉は
とうぶんの
あいだ
おらと雯子
ねえちゃんだけの
秘密よ……!!
一間
(一・八メートル)
あまりの
すげえ野鯉
……

三日月湖のカッパさがしはまずおらが一歩も二歩も魚紳さんをリードしたってとこだな…
あとはあいつを釣りあげて目の前につきだせばフフフ
どんな顔するかな魚紳さん…
カーッ身がふるえてきやがった
ン!?
パロ
んだども…
…あんただ野鯉どうやって釣りあげるだ
体長がおよそ一・八メートルとしたら目方だって五〇キログラムはこえるべ
おとなひとり分はゆうにある…

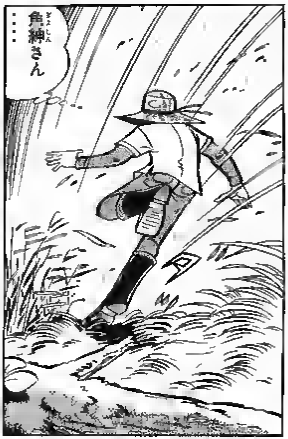
三ちゃ――ん
いる……？
さっきは
ゴメンね
イチゴに
おさとう
たくさんかけて
持ってきたの…
だから
あがっても
い――い？
ねえ 三ちゃん
いっしょに
食べようよ
そんで 食べ
おわったら
ふたりで釣りに
いこうよ
どうしただ
いるの？
三ちゃん
いるんだったら
返事ぐれえ
してくれたって
いいでねえか
そんたに
おこってるの
んだべなあ……
おこってるべ
なあ……
おらだって
自分では
いけない
いけなーいと
思いながらも
つい カーッと
なってしまうん
だもの……
バカねえ
おらって

やっぱし
三ちゃんの
いうとおり
女の子って
おしとやかで
なくちゃあ
いけないわ
ねえ…
ねえ
三ちゃん
たらあ…
イチゴ
食べようよオ
!?
あっ
いないっ
!!
三公のやつ
どこさ
いきやがった
だ――ッ

えっ!!
魚紳さんが
また きた
だとオ!!
けさがた
ひょっこりと
あらわれて
のう
おめえが
愛子と
いっしょに
三日月湖さ
いってるときじゃ
ガハハハ
まーったく
無口で
かわった
男じゃて
おらん
とこさ
くるなり
…
おやじさん
きのうは
どうも
…
三日月湖の
カッパの正体は
どうやら
わかりかけて
きました

てな
獅子なんじゃ
ええっ
そ そんで
その正体って
のは……!?
フッフッフ
くだらねえ
嘘よオ
一間あまりの
野鯉がすんでる
ようだなんて
ぬかして
いきおったわい
……
おい
おい
いきなり
かけだして
どうしただ
三平
ちゃん

ままたやられた
こんどこそは魚紳さんをリードしたと思ってたのに
もう目をつけられていたのけえ
なんちゅうすげえ男だべ……魚紳さんて……
あの男が目をつけたとなると
ひょっとしたらおらよりさきに釣りあげてしまうのかもしれねえ
どこさいるんだ……魚紳さん


魚紳さん……

どこさいるだ……魚紳さん……

ウッ
魚紳さんだ!!
タバコのすいがらをあきかんに入れて土にうずめる……
釣り場をきれいにするためこんただことまでするのはあの男しか考えられねえ
まいった
おらのいく先々にかならずあの男の足あとがあるだなんて……
これじゃあまるで魚紳さんのシリを追いかけっこしてるみてえでねえか……
こりゃあうかうかしてられねえぞ……

まさか 魚紳さんが
あの野郎さ
目エつけただ
なんて…おらあ
思っても
みなかっただ
カッパ
さがしだなんて
うすらとぼけて
たが…やっぱし
おらのにらんだ
とおりの
すげえ男だ
ガビ
フーッ

ヒュルン

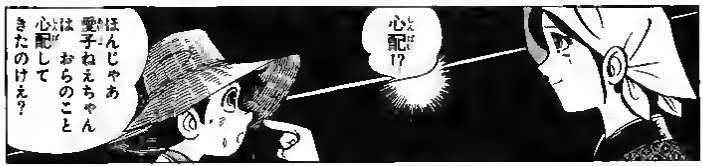
あの男ならねらった魚はかならず釣りあげるにきまってる・・・
釣りくらべちゅうことになったらおらなんか問題外だべ
クソオまいったなあ・・・・

いってえ
どこさ
かくれてるだ
魚練(ぎょれん)さん

三平ちゃん

愛子ねえちゃん!!

やっぱしここだったのね心配したわ・・・


心配!?
ほんじゃあ愛子ねえちゃんはおらのこと心配してきたのけえ?

そうよんだってきゅうにかけだしたりするんだもの
とっても心配したわ・・・

心配だなんて・・・
テレるでねえか愛子ねえちゃん

なにもよす
子どもじゃ
あるめえし
心配だなんて
……へへ……
あら
三平ちゃん
子どもじゃ
ないの
ハレッ
ホホホホ
……
へへへへ
……

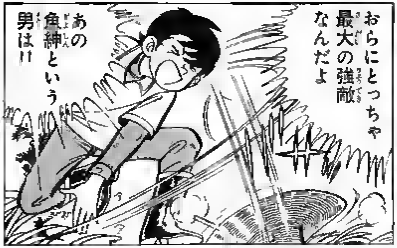
んだども
うれしいなや
愛子ねえちゃんが
おらのこと心配して
きてくれるなんて
……
それで
その……
魚紳さんとか
いう人
見つかったの

それが
まだなんだ
この三日月湖の
どっかさ
かならず
いるはずだが
どこさ
かくれたのか
なあ……
クソオ……

三平ちゃん!!
三平ちゃんはどうしてその魚紳さんという人のことになるとそんただ 目の色をかえるの…?

雪子ねえちゃんはあの男のことを知らねえからそんただへいきな顔していられるだ
とにかくすんごい腕してるだ

けさ おらたちが見たあの野鯉がその男に目をつけられているだ
釣られてしまいそうなんだ!!


おらにとっちゃ最大の強敵なんだよ
あの魚紳という男は!!

クソオいってえどうすればいいだ

やっぱし三平ちゃんあの野鯉を釣ろうとしてるのね…

あったりめえでねえか
あんただ でっけえ野鯉なんてめったにお目にかかれるもんじゃねえ!!
釣りキチだったらだれだって目の色がかわってくるべ
なにが!?
やっぱしだめなようね…

おらあの野鯉を釣ることをやめさせようと思ってきたの……
んだって弟の実をひきずりこんで水死させるようなすごい鯉でしょう

三平ちゃんがもし弟みたいになったらと思うと……
愛子ねえちゃん……
そんだなさけねえこといわねえでくれよオ

愛子ねえちゃんにそんただ顔されるとおらあますます臆子がくるっちまうだ
それでなくともいまごろどっかで魚紳さんがねらっているんだぜ

おらあだれがなんといったってひきさがらねえ!!
あの野鯉はかならずおらが釣ってみせる!!
だいいち釣りってもんは細心の注意をはらって…
ムチャなことをしなけりゃあそんただ危険なもんじゃねえだ

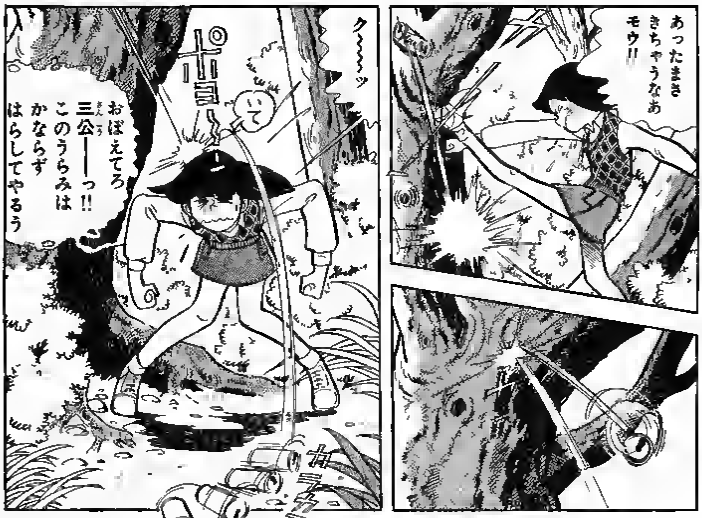
そうムキになるとこなんか弟とそっくりよ三平ちゃんって…
男の子ってどうして冒険ずきなんでしょうね…
冒険ずきかどうかは知らねえがあの鯉はかならずおらが釣るだ!!とめねえでくれ…

負けたわ三平ちゃん…
おら釣りのことはよくわからないけれどねらった魚を釣りたいと願う釣り人の心はわかるような気がするの…

でも
もしかして
危険なことが
あっては
いけないから
おねえちゃんも
おてつだい
するわ・・・
そして
ふたりして
力をあわせて
その
魚神さんと
いう人より先に
釣りあげて
しまいましょう
よ・・・
愛子
ねえちゃん
!!
うわ――っ
愛子ねえちゃんが
力になって
くれたら・・・
百人力だぞオ
シマア
三平ちゃん
あ あぶないわっ
ホホホ
三平ちゃん
たら
ようし
やるぞオ
三ちゃん
あの人に
カンゼンに
いかれてる
・・・
クマ――ッ
クマレイナァ
もう!!

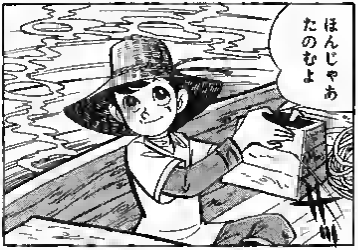
ああ…
こんどは
船さ　のる
気だな
気を
つけてね
三平ちゃん
あいよっ
と!!

クソオ
三ちゃんのヤツ
さっぱり 家さ
かえってこねえ
と思ったら
いーつのまにか
あの
ねえちゃんと
したしくなって
けつかる


あったまき
きちゃうなあ
モウ!!
ク〜〜〜ッ
おぼえてろ
三公——っ!!
このうらみは
かならず
はらしてやるう

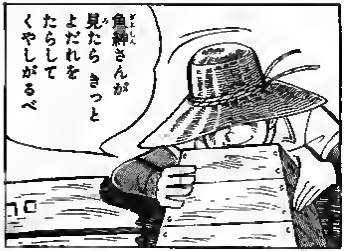
すまねえな
雪子ねえ
ちゃん
おらが
かわろうか

へいきよ
おらが
三平ちゃんに
釣りの
おてつだい
できるのは
船を
出してやる
ことくらい
だからね


ほんじゃあ
たのむよ

ちょっくら
しずかに
こいで
くれねえか

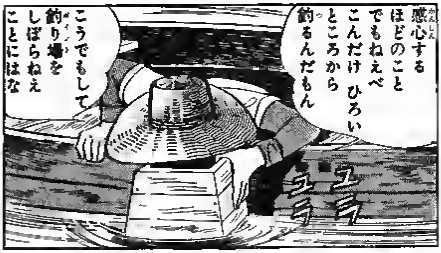
ンマア
三平ちゃんたら
さっきまで
魚紳さん
魚紳さんって
目の色をかえて
かけずりまわって
いたときとちがって
すんごく
おちついてる
わね……


そりゃあ
そうさ
この三日月湖に
一そうきりしか
ねえ船を
おらのために
出してもらって
るからな
魚紳さんが
見たらきっと
よだれを
たらして
くやしがるべ

この三日月湖は
ひろいから
なんぼ魚紳さんの
腕がよくたって
岸から釣る
だけじゃあ
限度ちゅう
もんがある‥‥
その点 おらには
愛子ねえちゃんと
この船の味方が
あるいじょう
グッと有利だべ

箱メガネなんか
つかって あの
野鯉でも
見つけようと
してるの

うんにゃ
通り路を
さがしてる
だ‥
鯉ちゅう魚は
自分の領地内の
きまったコースを
一日に何回か
巡回する習性の
ある魚なんだ

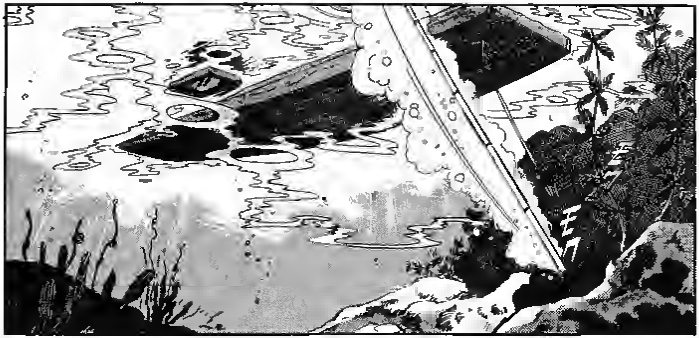


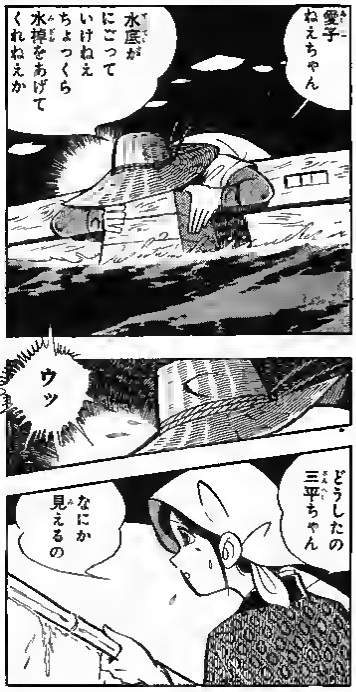
野鯉のポイント

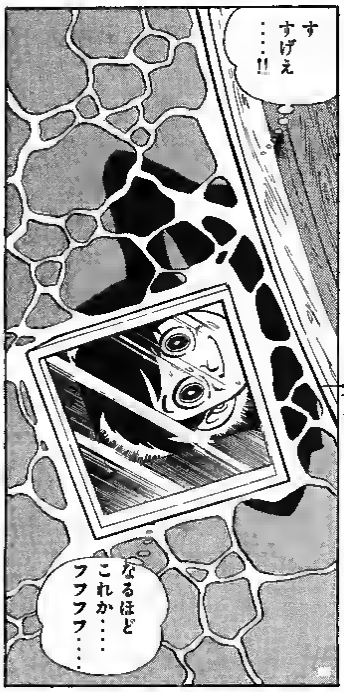
釣りコーナー

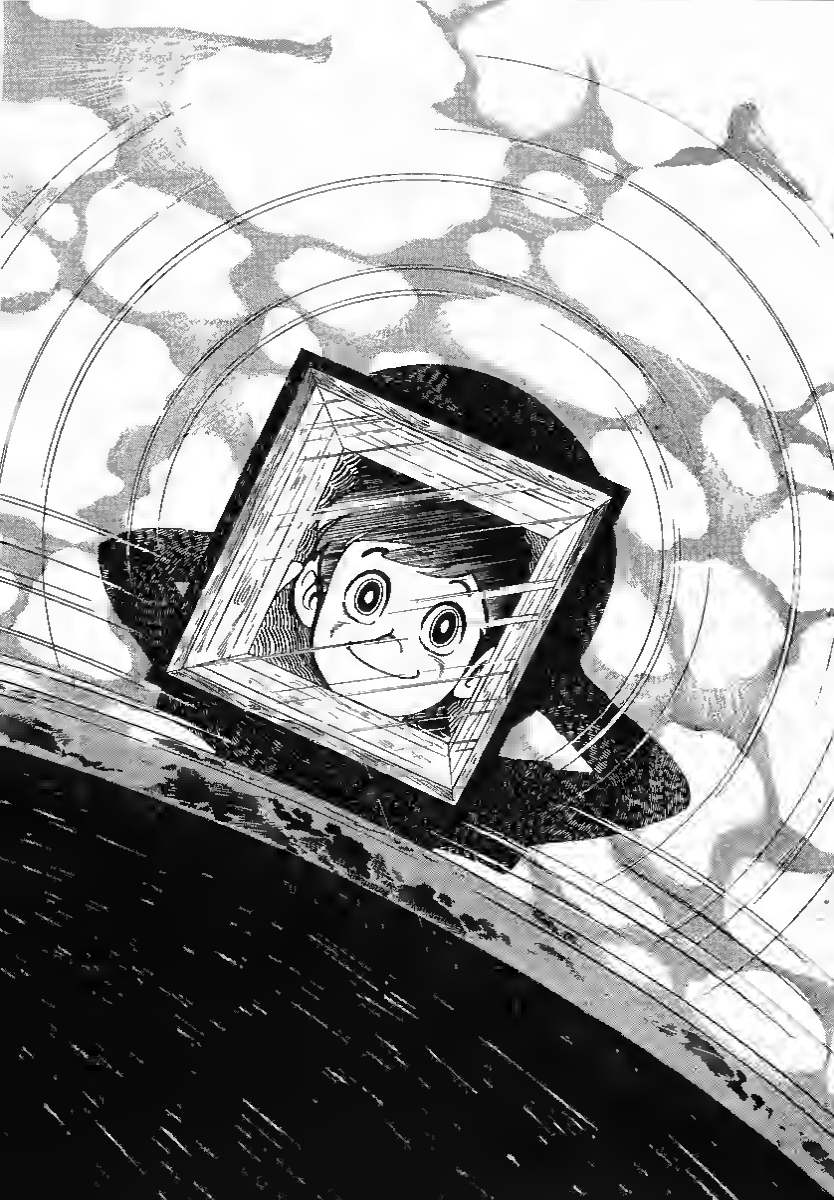
水メガネなどで鯉の通り路をのぞいてみるとたいてい底がツルツルしてなめらかでゴミやヌメリがなく きれいな様相をしているものだ

したがって野鯉釣りのポイントは水底がきれいなことが第一条件である




愛子
ねえちゃん
水底が
にごって
いけねえ
ちょっくら
水揮をあげて
くれねえか
ウッ
どうしたの
三平ちゃん
なにか
見えるの


す
すげえ
……!!
なるほど
これか……
フフフ……

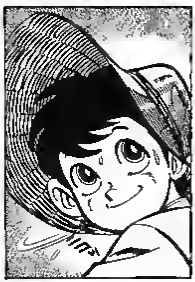


!?

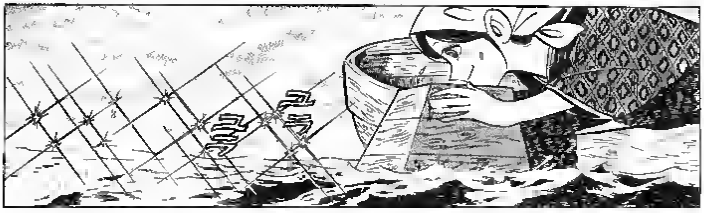
ねえ
どうしたの
よオ
三平ちゃん
…
なんなの
なにが
見えるの
…!?
ちょっと
ちょっと
ンマア
見つかった
のね!!
あの
大鯉の
通り路が
…!!

なーるほど
こいつあ
すげえや
……

のぞいて
見るけえ
愛子ねえ
ちゃん……
……



見せて
見せて
愛子ねえちゃん
そんただ
あわてる
なて・・・
通り路は
魚じゃねえから
にげる心配は
ねえから
あわっ
!!
キャー
ホラみれ
船のバランス
くずれて!!
フ〜〜〜
このへんだと
ぐらつかねえ
さき
じっくり
見てくれ
ンマア
三平ちゃんっ
たら
船頭が
ぎゃくになった
みたいね
フフフ
ぷか
ぷか

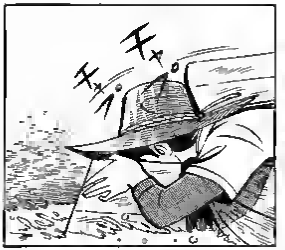

ユラユラ

どうでえ 見えるべ あいつの 通り路が…
ヌメリや ゴミがなくって きれいな 水底がよオ…

!?

さっぱり わからないわ…
とこが 通り路 なの…

おかしいなあ ちゃんと ついてるはず だよ
水藻や なんかがなくて きれいになってる ところが…

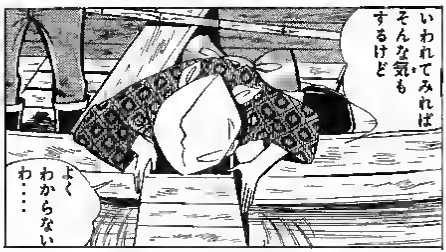

そんただはず
ないんだが
なあ…
どれ
どれ

キャ
キャ

愛子ねえちゃん
どーこ 見てるだ
はっきりと
見えるじゃ
ねえか
このくらいの
はばで
帯状に
なってる
通り路が
…

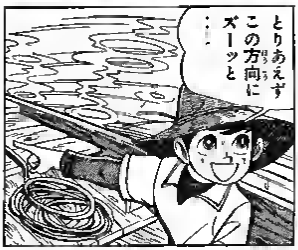
やっぱし
釣りなんか
やったこと
ないから
見わけが
つかないんじゃ
ないかしら
…

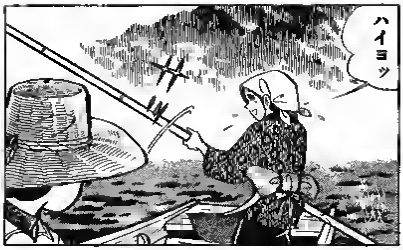
な…
見えるべ
帯状に
スーッと
なってるとこが

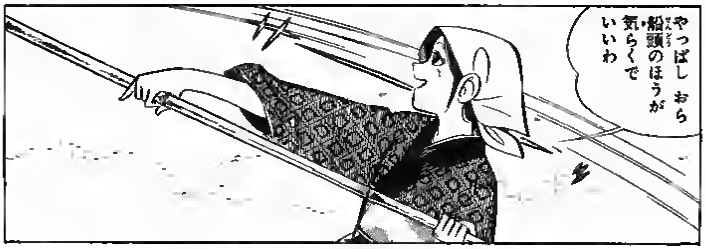

いわれてみれば
そんな気も
するけど
よく
わからない
わ…

ハニャ

ほんじゃあ
愛子ねえちゃん
ちょっくら
船をすすめて
くれねえか


とりあえず
この方向に
ズーッと
・・・


ハイヨッ


やっぱし おら
船頭のほうが
気らくで
いいわ

その鍬子
その鍬子
ウヒョ〜〜〜ッ
こいつぁ
すげえ
……

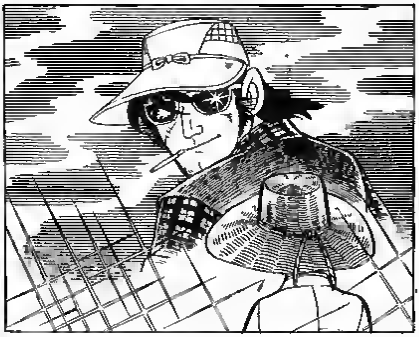
愛子ねえちゃん すこし 右さ カーブして くれねえか
このへんで まがってる から…
このくらいで いいかしら …
ピッタシ
OK OK
ンマア 三平ちゃん ったら なれた もんね
手信号 ひとつで 船を自由に あやつるん だから
ヨイ
そりゃあ 愛子ねえちゃんと おらの心が ピッタシだから だよ
だいたい 船ちゅうやつは 船長と乗組員の 心が ひとつに ならねえと うごかねえからな
ンマア それじゃあ 三平ちゃんが 船長で
おらが 乗組員って わけ …?
そ そりゃあ 愛子ねえちゃんが 船長だべ
ホホホ おじょうず だこと…

そうねえ
もしかして
あの鯉が
あの人たちに
釣られて
しまうんじゃ
ないかしら

それにしても
あいかわらず
釣り人が
おおいなあ

その心配は
ねえだ
あの
れんじゅうの
竿やテグスでは
かかっても
あがりっこ
ねえ・・・

んだども
あの男
だったら
ひょっとして
釣らねえとも
かぎらねえ
なあ・・・



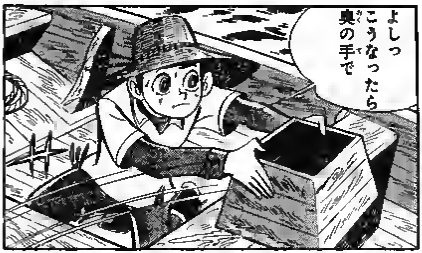
三平ちゃん
また あの
魚紳さんと
いう人のこと
考えてるの
ね・・・

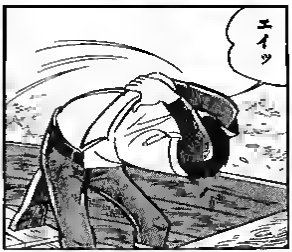
ひとはひと
自分は自分
…それで
いいじゃ
ないの…
そうなんだ
けど…
なにしろ
魚紳さんは
あの巨鯉のこと
知ってやがる
からなあ…
そんなこと
考えずに
がんばり
ましょうよ
三平ちゃん
には おらと
この船が
ついてるじゃ
ないの
つ・い・て・る
…おらに
愛子ねえ
ちゃんが…
ホ
ク～～～ッ
泣かせるう
エネルギー
たまる
三平くん
ガゼン
はりきる
!!
ウッ

どうしたの
三平ちゃん

きゅうに
ふかくなってて
こいつじゃあ
通り路が
見とおせねえだ

こまったわ
ねえ せっかく
ここまで
たどって
きたのに


よしっ
こうなったら
奥の手で


エイッ

ンマア
とびこむつもりね
あぶないわ
そんなことして
だいじょうぶ
なの…

心配ねえて
それより 船を
うごかさねえ
ようにしてて
くれ

三平ちゃん!!
だいぶ ふかく なってるな

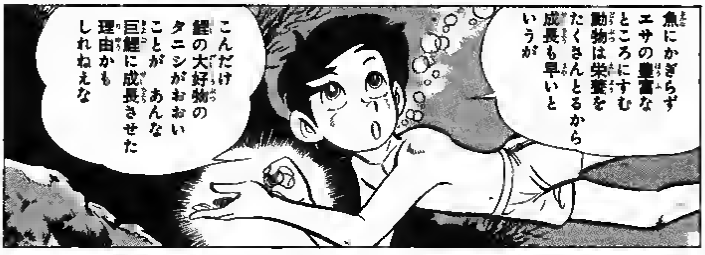
フフフ
これが
まちがいなく
通り路だ

このへんだと
通り路は
水藻も
むしりとられた
みてえに
はえてねえ
きれいな
もんだ

思ったとおり
水底はヌメリもなく
泥もねえし
比較的
土質をしてる
な・・・

フフフ
魚紳さん
・・・
まさか
おらが
こうやって
通り路を調べて
いるなんて
気づいて
いねえだろう

ほほう
タニシが
やたらと
おおいな
これだったら
野鯉たちは
エサに不自由
することは
ねえな


魚にかぎらず
エサの豊富な
ところにすむ
動物は栄養を
たくさんとるから
成長も早いと
いうが
こんだけ
鯉の大好物の
タニシがおおい
ことが あんな
巨鯉に成長させた
理由かも
しれねえな

水面におちた
イナゴ
バッタ
トンボ
水藻や
流れてくる
草の実
水中にすむ
タニシ
カラス貝 エビガニ
カニ ドジョウ
ヤゴ（トンボの幼虫）
ミミズなど

とくにタニシなどの
貝類が大好物で
臼状の咽頭歯で
じょうずに殻を
わって食べるんだ
だから
野鯉にとって
タニシは
人間でいえば
ビフテキに
あたる
ごちそう
なのだ
ン!?

やち釣りコーナー

野鯉の食性

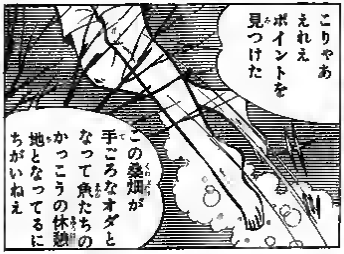
鑑賞用の
池の鯉には特別な
エサがあるが
自然の沼や川に
すんでる鯉は
動物性・植物性
両方のエサを口に
する雑食家だ

ヘチ(崖)にむかってゆるやかなカケアガリになってるな
この状態(じょうたい)だとここらあたりがいいポイントになるべ

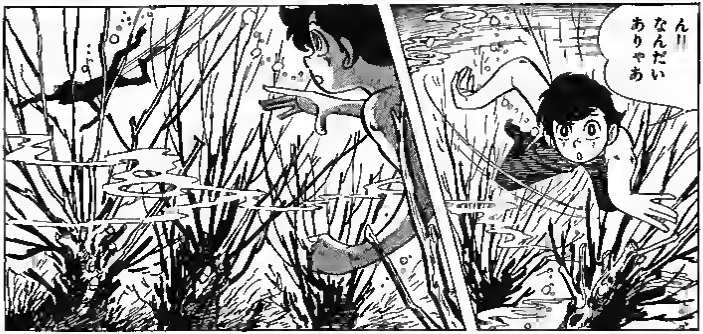
おっ!!なんだいありゃあ

ちゅうことは
ここらあたりは
むかし 陸地で
桑畑だったが
洪水かなんかで
この三日月湖の
底にしずんで
しまったちゅう
わけだ…

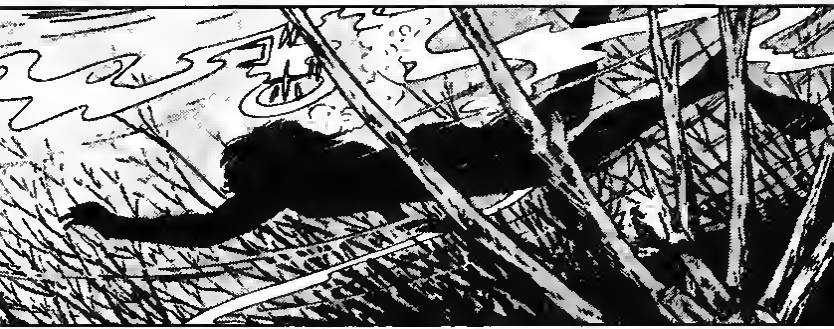
なーんだ
桑の木じゃ
ねえか…

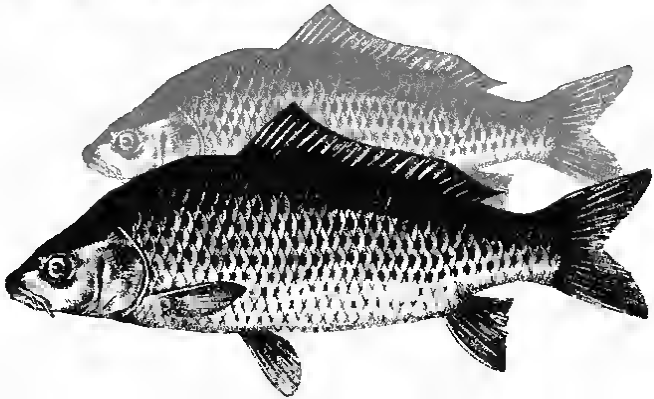

こりゃあ
えれえ
ポイントを
見つけた
この桑畑が
手ごろなオダと
なって魚たちの
かっこうの休憩
地となってるに
ちがいねえ

あんのじょう
大小のフナが
うじゃうじゃ
いる…


ん!!
なんだい
ありゃあ

ああっ
あれは
なんだっ!?





ゴォ
ウウッ
もしかして
カ……
カッパ!?
……だとしたら
こいつぁ
……!
にげる気だなっ

ようし!!
おっかけてとっつかまえてやるう!!
クソオ

なんて早いおよぎだ追いつけそうもねえや
それにしてもおかしいなあバカにはでにアブクを出すでねえか
ウグいけねえ息がくるしくなってきやがった

しめたっ
こいつの
あとを
つければ
三平
ちゃん
!!

どこさいくのよオ
船はここよーっ
あぶっ
ばっく
どうしたのよう
あんまし長いことあがってこないので心配してたのよう
愛子
ねえちゃーん
どうしたもこうしたもねえだーっ
アーッ
なーにあわててるだ
三平ちゃん

で出ただ!!
アブクが……
アブク……!?
オケつ
愛子
ねえちゃん
あ あれだ
あのアブクを大至急追ってくれ!!
コポ
コポ
なあにあれは
説明してるヒマはねえんだよ早く早く船を出してくれ――っ
こまったわこのあたりは深すぎて水掃がとどかないのよ
ナヌッ
NO!!
NO!!

クソオ
せっかくの
チャンスだった
のになあ
どうしたのよオ
なにがあったのよオ
三平ちゃん

そらみれ!!
いわねえこっちゃあ
ねえべ
あの三日月湖は
カッパの
巣じゃ
ノコノコ
ついていこう
もんなら
いまごろあ
ケツのダンコ
ぬかれて
仏さんに
なってたべ

ねえ
三平ちゃん
ほんとうに
カッパだったの

水中メガネしてた
わけじゃねえから
ぼんやりしてて
はっきりは
見えなかっただが
潮底が
桑畑になってる
ところで
たしかに…

ほんじゃあ
まちげえなく
カッパじゃて
とくに あの桑畑は
深いとこだし
カッパの巣には
もってこいの場所と
おらあ にらんどる
だいたい
カッパちゅう
やつはな
カカシみてえに
両手の骨が一本に
つながっとると
いわれてるだ
んだから
右手がつかまれ
そうになると
ヒョイッと
ひっこめて
そのぶんだけ
左手のほうが
長くなるし
その反対に
左手を
ひっこめれば
右手がだらりと
長くなるように
なってて
なんとも
つかみどころの
ねえシロモノ
じゃとよオ
カーッ
そ そんな
そんだら
水ン中で
魚なんか
つかまえるとき
やたらと
便利だべ……

そうよ…
そんで その
縦長い手で
人間の
ケツのアナから
手ェつっこんで
生き胆を
ぬいて 食べ
ちまうちゅう
おそろしい
動物じゃて
グーン
ツ"ヤッ

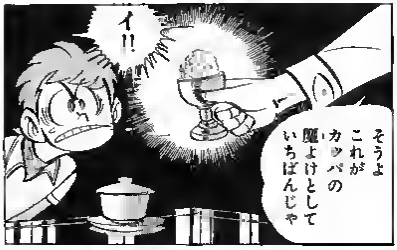
動物と
いったって
図鑑なんかに
のってねえ
もし
動物だと
すりゃあ
なに科に
ぞくする
動物だべ

うーんん
そりゃあ
おめえ
手が一本に
つながってるから…

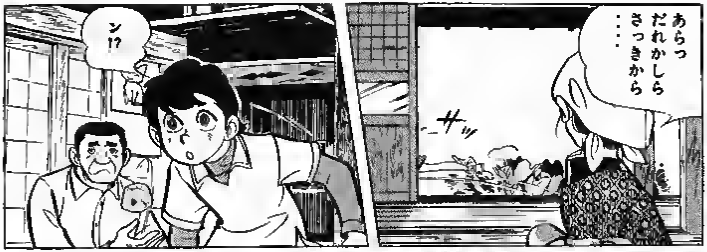
カカシ科
だべ

こんど あの
三日月湖さ
いくときにゃ
これを食ってから
いったほうが
ええぞ

おとう
それは
仏さまにあげた
ごはんじゃないの


そうよ
これが
カッパの
魔よけとして
いちばんじゃ
イ!!

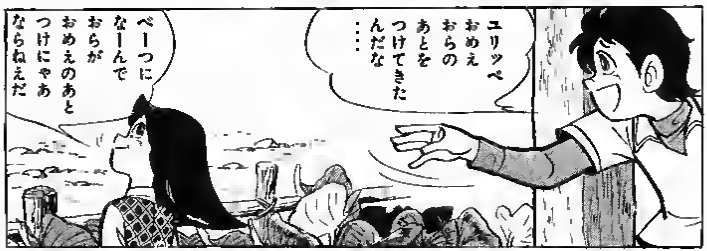
それにしても バカに はでに アブクを出す やつだったなあ……
陸にもすめるが おもに 水の中さ すんでるちゅう カッパが あんなに アブクを出す もんだべか
チラ
そりゃあ おめえ おそらく およぎながら へこいたんでねえか……？
へ!?
そうよ カッパにゃあ 尻のアナが 三つもあってのう……
音は出さねえが ムス――ッと やらかしたへは くせえの なんのって
このにおいさ あてられたら 気絶なんて いいほうじゃ
へのかぎぐえええが わるいと 死ぬ人さえ あるちゅう ことじゃ
げんに この石で さえも アナがあく ぐれえだからな
てえしたもんよ カッパのへの威力は


あらっ
だれかしら
さっきから
……
ン!?

なーんだ
ユリッペじゃ
ねえか
どうしただ
いってえ

あんれ
三ちゃん
どこさいったと
思ったら
こんただとこさ
いたのけえ

まあ
三平ちゃんの
お友だち?
べつに
友だちって
ほどでも
ねえけどな


ユリッペ
おめえ
おらの
あとを
つけてきた
んだな
……
べーつに
なーんで
おらが
おめえのあと
つけにゃあ
ならねえだ

トンボがにげてきたんで追いかけているうちにここさきてしまっただけだ
ほんじゃごゆっくりしてねバハハーイ
三平ちゃんのガールフレンドね……
とってもチャーミングでかわいい子じゃないの
ブハーッ
雲子ねえちゃんあいつの顔がチャーミングならサルもブタもチャーミングちゅうことになるだ
さしずめユリッペは三日もたったくされごはんでつくったチャーハンみてえなツラよオ
どうしようもねえやつよハハハ……
朝寝っこきの夜ふかしのおせっかい屋のでしゃばり屋の便秘症……
クソオ

ほんじゃあまたな

んまあ三平ちゃんったら口がわるいわねえかわいそうじゃないの ホホホ
なあに気にしない気にしない
クーくーくー

さーてと!!
エネルギーがたまっちゃうなあ…

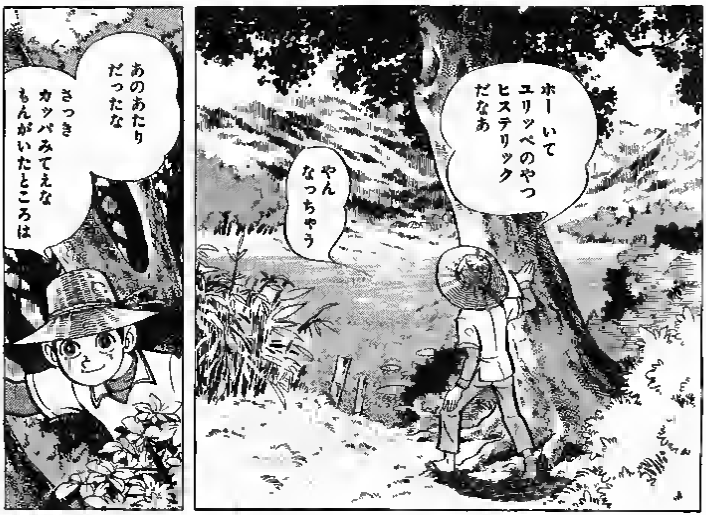
ありゃ

なんでえユリッペじゃねえか
どうしたべ

ちょうどよかったおらあこれから三日月湖さいくどもおめえもいくけえ
ムカ

あのほら
さっきの人
愛子ねえちゃん
ちゅうだども
おら ああいう
タイプすきだ
なあ
あっ
そうそう
そういえば
ユリッペのこと
えらーく
ほめてたぞ
かわいらしく
って
チャーミング
だってさ
そんで
おらあ
いって
やっただ
あったりめえだべ
おらの
だいじな
ガールフレンド
だからなっ
…てな
ハハハン
まあ…
なんちゅうか
そのう…
女の子の
タイアちゅう
やつは
さまざまだ
から…
その人の
このみちゅう
やつがあって
いちがいには
きめられねえ
けどよオ…
ハーレム!!
ガーフライヤ
様のサレンダー
ミタイネ……
ゲボッ
……
ユ ユリッペ
……
おめえ

ンモーッ
だまって
聞いてれば
心にもねえこと
ベラベラと……
なにが
三日もたった
くされごはんで
つくった
チャーハンよオ
ブヒ
なーにが
朝寒っこきの
夜ふかしの
おせっかい屋の
でしゃばり屋の
便秘症
だ――っ
ピュー
ハテ
なにかが空をとんでゆく
Y字記者


ホーいて
ユリッペのやつ
ヒステリック
だなあ
やん
なっちゃう
あのあたり
だったな
さっき
カッパみてえな
もんがいたところは

キーン
ムッ
はて・・・
あのガラスを
ツメでかいた
ような
ヒステリー声は
ユリッペの
声・・・
三ちゃーん
カッパだ
カッパだ
カッパだ〜〜〜っ
なに
カッパ
・・・・
ど
どこだ
!!
ボっ
ボっ

でででで
出(で)たぁ～～っ
ささささ
三(さん)ちゃーん
!!

おうっ!!
ユリッペ
どこだ
どこだ
カッパは
どこさ
いるだっ
!!

ハクション！
ムンゴ～～～
おぶぶぶぶ～～
ギャヒッ
あんれ
三ちゃんで
ねえけえ

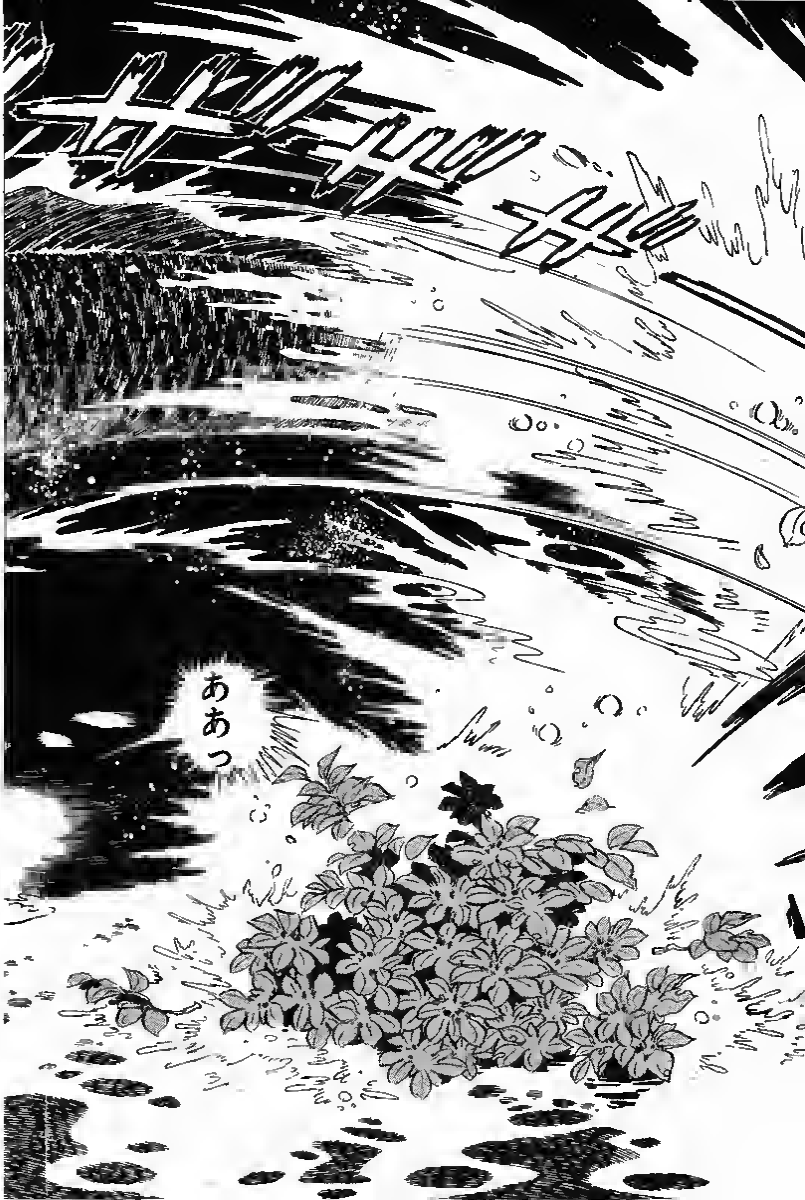
三ちゃんのんきに寝てる場合でねえだ
おきれおきれってば!!
へへへへ
なーにねぼけてるだ三ちゃんのバカ
雪子ねえちゃ～～～ん
てやーーっ
ヒラヒラヒラ
ナロ

ユリッペ!!
ソーン
カッパはどこだ
どこさあらわれただっ
あほん
イヤイヤもうイヤゆるして
ここでもう一度プチューッとやらかして
モミモミウッシッシ……
先生さっきからなにニタニタしてるんですか
ぜーんぜん
ぜーんぜん
わっみ見ちゃいけない
まじめにやれっ
記者
ヒラヒラ
ホーそ

ほれっ
三ちゃん
おめえが
さきに
いけっ!!
おほっ
とっ
とっ
とっ
おすなて
ユリッペ
!!

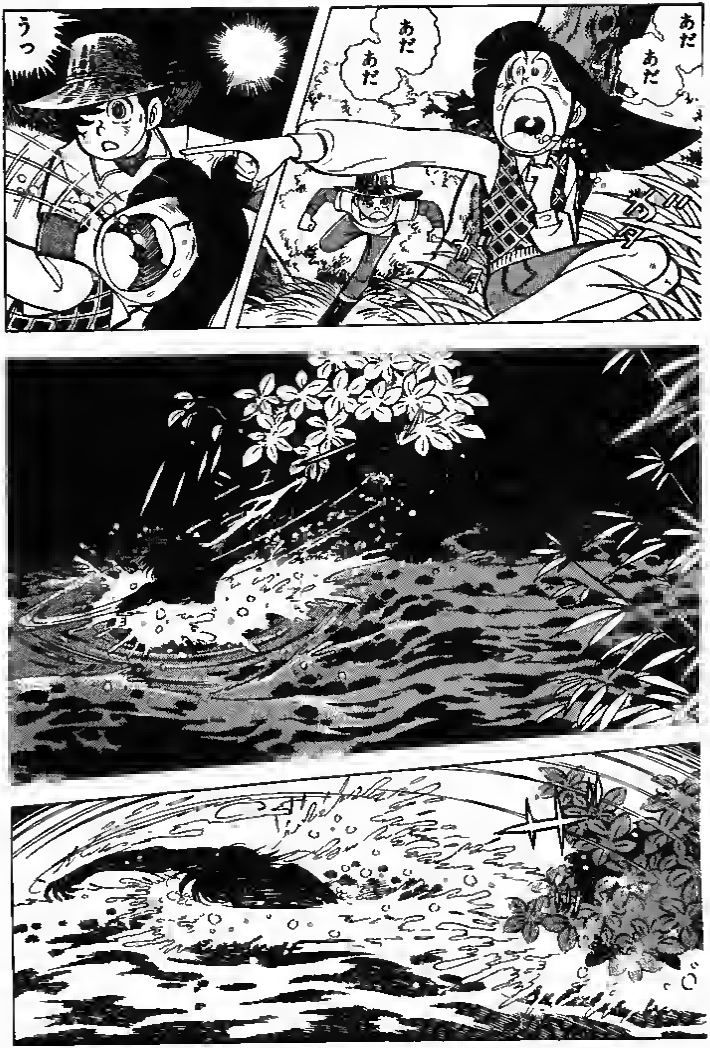
あ あれ
あれ…
あのあたりさ
葉のついた
木の枝が
ながれてるべ
あの下の
あたりで
黒いものが
ユラッと…
ガタガタ
あれだ
なっ!!
ゴゴゴ
おおっ
!!
メラメラ
あの
アブクは
おらが
見たのと
おなじだっ

ゴゴゴ
ゴゴゴ
ズズズ
ズズズ
ズズズ


ああっ

おお
!!

キャッ
すげえ
!!
船から見たときよりかず――っとすげえ
体長といい胴まわりの太さといい
ユリッペ
どうしただ


うっ
あだ
あだ
あだ
あだ

うっ
あ あの
足は……
カッパじゃ
ねえ!!
アヒッ
ゴク
むこう岸さ
いくつもり
だな
ようし!!
さ
三ちゃん
!!
おめえ
おらを
おいてく
つもりけえ
ガシ
カーッ
世話のやける
ユリッペ
だなや
おらあ いま
それどころで
ねえだ

大至急むこう岸さいかにゃあならん
おめえもいっしょにいってみるけえ
そ そんただこといったっておらあ…
どうしただいってえ
腰でもぬかしたのけえ
ウウン
あのな…だれにもいわねえでけれな…
あーんナニナニ
!?
ハハハユリッペかってにしろっ
小便ちびってはずかしくってうごけねえやつのめんどうなんかみきれんて
三ちゃんのいじわる——っ
いわねえって約束したのに——っ

わらってる
場合じゃ
ねえぞ
もし
そうだと
したら
こりゃあ
えれえ
こっちゃあ
……
ハア
ハア

……
アーッ
ゴクッ

そんなところにかくれていないで出てきたらどうだい
フフフとうとう気づいたようだな
カサカサ
三平くん三平くんだったな

魚紳さんっ!!
や……やっぱし魚紳さんでねえか

あーあ
びっくら
こいたなあ
魚紳さんだと
わかってりゃあ
ガタガタすることも
なかったのに…
撮
しちゃったなあ
もう
フフフ
そうかな
その顔は
撮したって
顔じゃ
ないぞ
まあな
魚紳さんの
ねらいが
カツバさがしじゃ
ねえってことが
わかったからな
でもよオ
魚紳さんは
どうして おらの
名まえを
おぼえてただ
釣り大会のとき
ちょびっと会った
だけじゃねえか
…
フフフ
そういう
三平くんこそ
どうして
おれの名まえを
知ってるのかな
そりゃあ
ほれ…
あんとき
おらが
釣った
ヒラメを
…

魚紳さんが本部さ とどけてくれたそうじゃねえか
おかげで珍魚賞をもらっただ
日本一釣行脚
あの お礼がいいたくてずいぶんとさがしまわっただ
そうかいそりゃあおめでとう
おれのほうも三平くんのおかげであんな すげえ野鯉に めぐりあえたんだから……
礼をいわなくちゃあならんな……
おらのおかげで……!?
そうさ
脚
三平くんがあのとき ヒラメを釣りあげなかったらもう この三日月湖にいなかったかもしれん……
そろそろつぎの目的地に出発しようと思ってたからな……

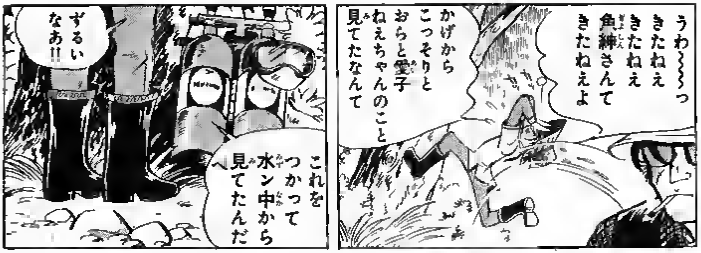
そんで おらの名まえを おぼえてたってわけか
そうさ・・・
どうやら 三平くんとは へんな因縁が あるみたいだな・・・フフフ
日本一周釣行

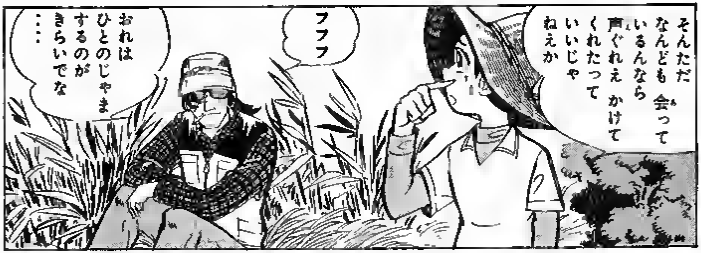
それにばかりじゃなく 三平くんとはずいぶんとあちこちで会ってるぞ

フーン 因縁けえ そういえば そうだなあ
考えてみりゃあおらも 魚紳さんのこと ろくすっぽ知らねえはずなのになーんか ずーっと前から知ってたみてえな気してたもんな

ええっ どこで!!

きれいな おねえちゃんの船にのって 野鯉の通り路を 調査してたじゃないか
子どものくせに すげえ釣りキチだと 感心して見てたぜ


うわ〜〜っ
きたねえ
きたねえ
魚紳さんて
きたねえよ
かげから
こっそりと
おらと愛子
ねえちゃんのこと
見てたなんて
これを
つかって
水ン中から
見てたんだ
ずるい
なあ!!


そんただ
なんども 会って
いるんなら
声ぐれえ かけて
くれたって
いいじゃ
ねえか
フフフ
おれは
ひとのじゃま
するのが
きらいでな
・・・

カ——ッ
とかなんとか
いっちゃって こっそり
こんただ機械を
もちこんで
あの巨鯉を
ひとりじめにする
魂胆にきまってるて

三平くん
感服しちゃあ
こまるなあ
あれが あの
三日月湖に
もぐったのは
この三日月湖に
どうして あんな
巨大な野鯉が
成育したのか
・・・・
水質 水流
プランクトン
魚貝類 水藻類
などを しらべて
いたんだ

やい
魚紳!!
ここで
会ったは
百年目
!!
だが
そうはイカの
キンタマ
タコのメンタマ
エビのドタマ

いいわけは
聞きたくねえ
!!
カッパさがしとか
なんとかと
ぬかしおって
けっきょくは
あの野鯉を釣るのが
目的じゃねえか
祈願
日本一周釣行脚

釣りキチなら
釣りキチらしく
かげでコソコソ
しねえで
正々堂々
勝負しようじゃ
ねえか……

フフフ
やっぱり
思ったとおり
おもしろい
子どもだ
鯉を釣るのに
通り路まで
しらべるだけあって
釣りとなると
目の色がちがって
くる…
祈願
日本一周釣行脚

気にいったぜ
三平三平くん
!!
きみの挑戦を
うけて
たとう!!
ええっ
釣りキチらしく
正々堂々と
な・・・
もちろん
だとも・・・
なーんか
ちょうしいっていいすぎてるぅ
ちょうしのって
ないすぎてるぅ

どうしただ
三ちゃん
そんただ
とこで
だまり
こくって
クークークー

三ちゃん
おらに
おいてきぼり
くわして
こんただ
とこさ
いたのけえ

ほう
三平くんの
ガールフレンド
か……
なかなか
丞発な
おじょうさん
だな

あ
あら
おめえは
おめえは
魚紳さん
……!?
ん

そのせつは
どうも

三ちゃん
よかったで
ねえか
あこがれの
魚紳さんに
会えて……

はて
みょうな
ふんいき
だなや
どうしただ
いってえ
うるせえな
ユリッペ!!
いま
魚紳さんと
ふたりして
男と男の
話をしてるだ
女ごときの
出る幕じゃ
ねえ
すっこんでろ
な
魚紳さん
そんで あの例の
大物野鯉のこと
だけどよオ
釣れる見とおしは
ついたのけえ
もちろん
だ……
あーん
ほ
ほんとけえ
なにしろ
巨大だから
なあ……
なみのテグスや
竿では
むりだろうな
……
新潟
日本一周

三平くんのほうはどうだいいい方法を思いついたかね
わらわらがちょーん
三ちゃんいっちゃあいけねえよ

こういう人におしえたらどんなことになるかぐれえわかるべ
おい魚紳さんとやら
三ちゃんを子どもだと思ってあまく見たらいけねえぜ
ユリッペ

こう みえても三ちゃんはおとなのあいだにはいって 何回も優勝してるほどめっぽう釣りがうめえんだ
あんたはなんぼうめえかもしれねえが三ちゃんにかかったらそうはイカのキンタマ
おいユリッペやめろて
パパカだなあ女の子のくせしてイカのキンタマだなんて‥
ウグ
わ〜〜っ三ちゃんがもたもたするからいけねえんだべーっ
ホーリ
こぼすかしいて

三平くん
おれは しかけや
釣り場を
秘密にする やつが
だいきらいでね
あんれ
三ちゃんの
じいちゃんと
おなじこと
いってらあ
これを
見てくれ
なんでえ
こいつは
おれの方法で
しらべた
この三日月湖の
地図だ
ウヒョ～～～ッ
いつのまに
こんなこと
……!!

三日月湖はもともと川だったからこのように上から下まで細長い形をしてるが
この○に×印をつけたところがあの巨鯉の採餌場(エサを食べるところ)であり休憩所と思われる釣り場だ…

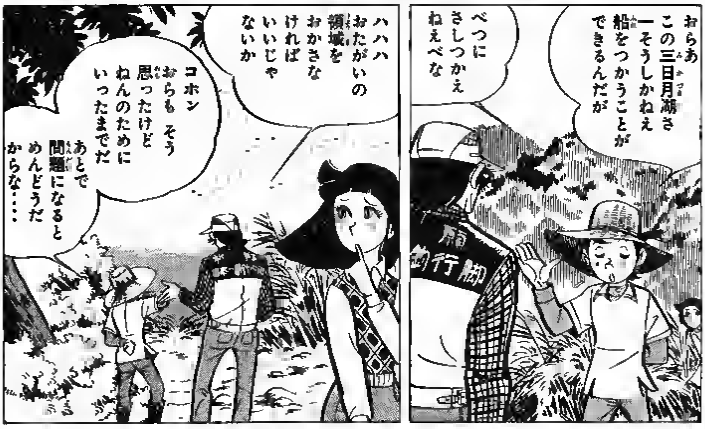
ハハーン
鱼紳さんと会った桑畑のポイントはこれだな…

そうだ
だが 水底にしずんだ桑畑はそこばかりではない…
○に△印のところがすべて桑畑でぜっこうのポイントだ

この×印のところを点線でむすんだのがあの巨鯉の通り路ということになる
三日月湖バス停
木の木
橋
三明神社
川
杉の木
川上
しかもかならず一日に二回巡回するのだ…

おれが調査したネタはおおむねこんなところだ
どうだね三平くんきみの調査とあんまりちがわないだろう
なんとかいったらどうなの三ちゃん……
クッ
まあほぼそういったところかな
しっかりしてよ三ちゃんたよりねえなあ
そこで三平くん
釣り勝負をなるべく公平にするために紳士協定をむすぼう……
ポイントの数は右岸も左岸もほぼおなじだし
通り路を一日二回かならず巡回するので
うらみっこなしに右岸と左岸にくぎって
おたがいの釣り座をきめたらどうだろう
おもしれえ文句なんかねえ
おらあむこう岸をとらしてもらうだ!!

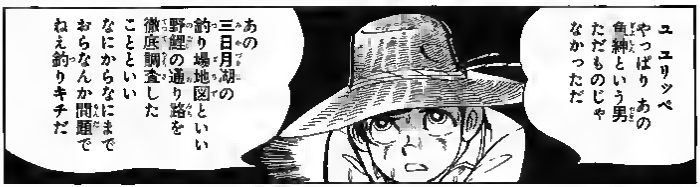
そうか
それで
きまりだな
さてと
あー
ちょっくら
まってけれ
なんだ
ね・・・


おらあ
この三日月湖さ
一そうしかねえ
船をつかうことが
できるんだが
べつに
さしつかえ
ねえべな
ハハハ
おたがいの
領域を
おかさな
ければ
いいじゃ
ないか
コホン
おらも そう
思ったけど
ねんのために
いったまでだ
あとで
問題になると
めんどうだ
からな・・・

ほんじゃ
いよいよ
勝負だな
ユリッペ
いくぞ
三ちゃん
まってよオ

どうしたのよオ 三ちゃん
きゅうに木のかげさかくれたりして

なによオ 三ちゃん へーんなの
だまりこくって……


ユ ユリッペ やっぱりあの紳士という男ただものじゃなかっただ
あの三日月湖の釣り場地図といい野鯉の通り路を徹底調査したことといいなにからなにまでおらなんか問題でねえ釣りキチだ

んだって三ちゃん勝負だ勝負だってはりきってたじゃねえか

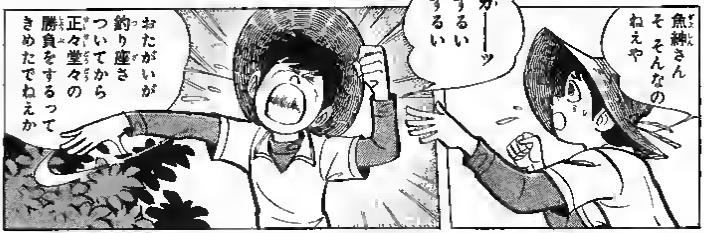
タハーッ ことばのはずみってやつあ じつにおそろしい
ああいうつもりじゃなかっただが調子さのってしゃべってるうちに クーッ

三平ちゃーん
ああっ
愛子
ねえちゃん
愛子ねえちゃーん
ンマア
どうしたの
三平ちゃん
愛子ねえ
ちゃ〜〜〜ん
おらあ〜〜〜
おらあ
どうすれば
いいだ〜〜〜っ
カーッ
三スケの
バッキャ
ロ――ッ
フフフ
カリ
カリ
日本一

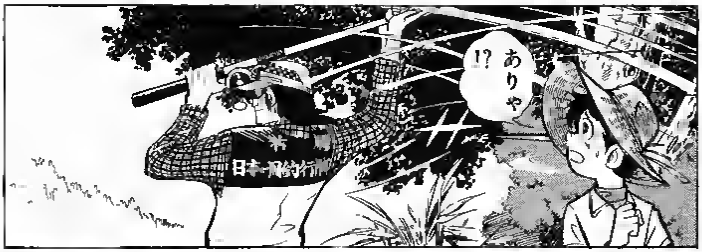
!?
ああ
カリカリ
新
日本一周
まったぁぁぁっ
あわわ
まった
まった
カーッ
だらしねえ
三公だこと
このごに
およんで
ジタバタ
しおって
もう
かえる

魚紳さーん
なんぼなんでも
そりゃあ
ねえべ
はじめるのが
早すぎるて
おらまだ
釣り座も
とってねえ
のに……
魚紳
さーん
フフフ

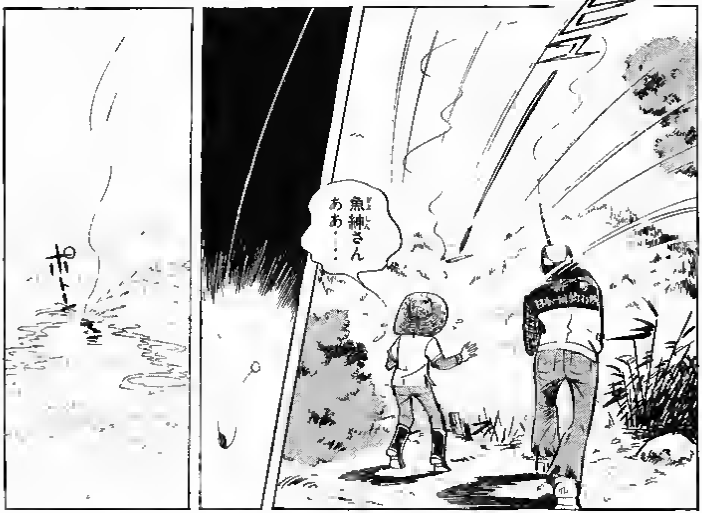
三平くん
勝負は もう
はじまってる
……
きみが
釣り座に
つこうが
つくまいが
そんなこと
関係はない


魚紳さん
そ そんなの
ねえや
カーッ
ずるい
ずるい
おたがいが
釣り座さ
ついてから
正々堂々の
勝負をするって
きめたでねえか

おとなが
約束を
やぶるなんて
きったねえや
フフフ
おれは
約束した
ことは
やぶらないぞ
三平くん


!?
ありゃ

!!
ぎょ

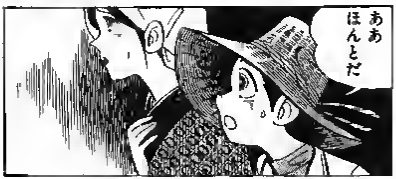

魚紳さん
ああ・・・
ポトー

あーあ
やーめたっと
約束
やぶって
自分ばっかり
早く竿を
出す人なんかと
勝負は
できねえだ
フフフ

魚紳さん おら
この勝負は
おりただ
ちっとも
正々堂々と
してねえ
もんなあ
三平ちゃん
どうしたの
そんなに
ひとのこと
ばっかり
気にして
クーーーッ

…
んだって
雪子
ねえちゃん
…
あの人が
魚紳さん
なんだよ
えっ!?
これは
どうも
魚紳さんだか
だれだか
知らないけれど
しっかり
しなさいよ
三平ちゃん
ひとは
ひと
自分は
自分じゃ
ないの
だって
三平くん
いい味方が
いて
うらやましいな
魚紳さんと
いいましたね
あなたも
あなたです
勝負
勝負って
釣りとは
そういう
ものですか
雪子ねえちゃん
ちがうってば
なんですか
いいおとなが
子どもを
つかまえて
はっきり
約束した
ことなら
まもったら
どうなんです
フフフ
これは
手きびしい
ですね
おれは
約束を
やぶったわけじゃ
ないですよ

三平くん
いつまで
興奮して
いるのかね
じっくり
おちついてさえ
いれば　おれが
うちこんだ
ポイントが
あの野鯉の通り路を
はずしてある
ことぐらい
わかるはずだ

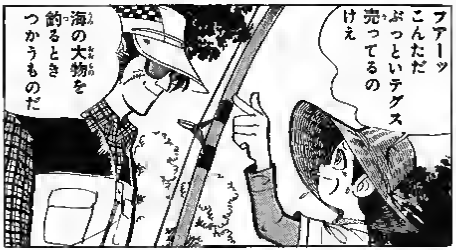

ああ
ほんとだ

勝負の相手を
まちがえないで
ほしいな
相手は
一・八メートル
の　巨鯉だ

あいつに
挑戦するには
それ相応の
準備というものが
あるだろう
なみの竿や
しかけじゃ
まず　もつまい
……

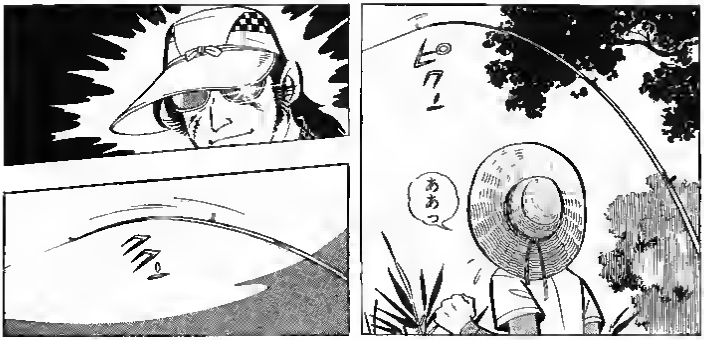
そんじゃあ
魚紳さんは
竿やしかけの
調子を
ためしてる
んだな
もちろんだ
だから勝負は
約束どおり
おたがいに
釣り座について
からだ
そ そう
だったのけえ
そんなら
はじめっから
いってくれれば
いいのに
はは

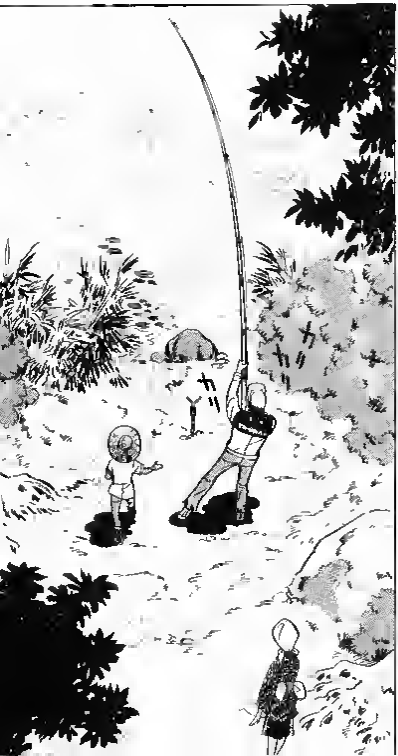
カ――ッ
なーんか知らんが
えらい ゴッツイ
しかけだなや
おら
はじめて
見るだ


フアーッ
こんただ
ぶっといテグス
売ってるの
けえ
海の大物を
釣るとき
つかうものだ

そのリールは
三十キログラム
の大物さえも
らくらくと
ひきあげる
ことができる
ものだ

キ――ッ
こんただ
秘密兵器を
持ってた
のけえ
魚紳さん
フフフ
三平くんだって
あのおねえちゃん
と船があるじゃ
ないか…

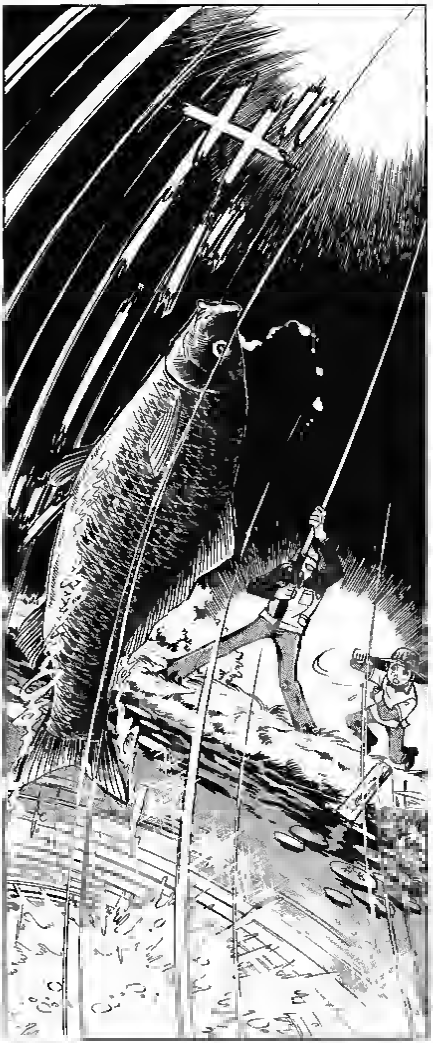

ムクリ
あぁっ
ヒラリ


カ
カ
カ

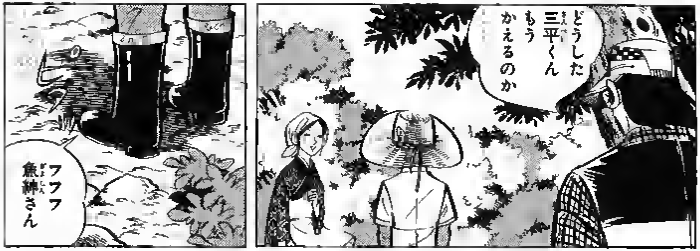
シマア
き
きたっ

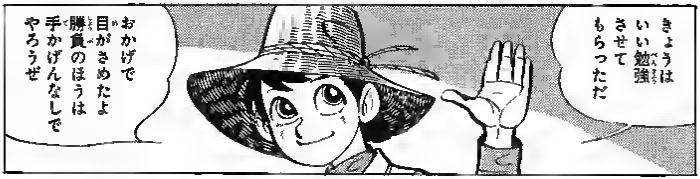
釣神さん
だいぶ強い
ひきだが
だいじょうぶ
けえ
フフフ
これぐらいでは
このテグスは
きれっこないよ
カリカ
ま
まさか
あの野鯉が
かかったんで
ねえべな
心配するな
まちがっても
かかりっこ
ない・・・
ゴボ

ああっ
ガリガリ
すげえ五十センチ級の野鯉がかるがるとあがってくる……
なんちゅうすげえ機械だべ……
カリカリカリ
機械も機械だがテグスもてえしたシロモノだこんたにむちゃにひいてもびくともしねえ
やっぱしあの野鯉を釣りあげるにゃこれだけの道具がいるかもしれねえ……


ンッ!!
ああっ

タハーッ
五十センチ級の
野鯉を
ゴボウ抜き
けえ
だいたい
こんな調子
だな
しかし
ふしぎだなあ
この三日月湖の
釣りは……
ほかの
釣り場だったら
いまクラスの
野鯉なら
とびあがるほどの
大物なのに
ちっとも
大物って感じが
しない
やっぱり
あの
バケモノ鯉を
見てしまった
からだろうな


どうした三平くん もうかえるのか
フフフ 魚紳さん


きょうはいい勉強させてもらっただ
おかげで目がさめたよ 勝負のほうは手かげんなしでやろうぜ

三平くん その目は
どうやら もとの釣りキチの目にもどったな

あったりめえだべ こんだけ すげえ技を見せられて燃えてこねえアホがいるけえ

気にいったぜ三平くん そうこなくちゃはりあいがない・・
汗
日本一周

のこりもんでわるいがこいつをつかってみろ
二十メートルほどはあるはずだ

これは いま つかってた テグスで ねえか
おれは 自分が ためしてみて いいと思った ものは ひとに すすめたい タチでね
ぜひ つかって みてくれ

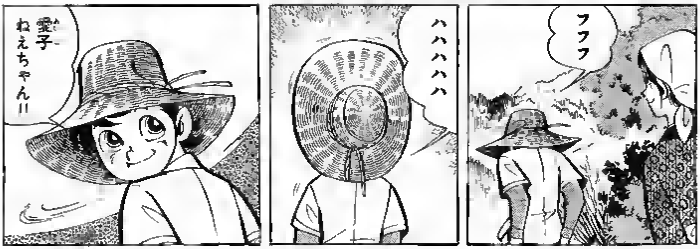
?
へ?

なにを ぼんやり してるんだ 勝負開始は なるべく 早く してくれ
一分でも早く あの巨鯉の顔が 見たいからなあ ハハハハ…

魚紳さん ありがとう
勝負開始は あしたの 朝まずめで どうだろう

ウム 朝まずめだな
承知
朝まずめ＝夜あけより日の出までのこと 反対に 夕方から夜になるあいだをタまずめという 釣りには ぜっこうの時間帯だ

三平ちゃん
あんなこといって
だいじょうぶ
なの…


フフ
ハハハハ
雪子
ねえちゃん!!

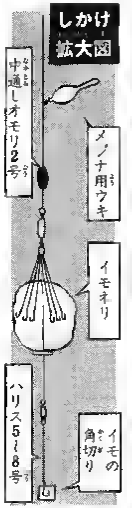
魚紳さんって
すんげえ
釣りキチだ
なや
やっぱし
おらの
思ったとおり
の人だ
だいたい
人間のケタが
ちがうて
釣りキチは
ああでなくちゃ
いかんなあ

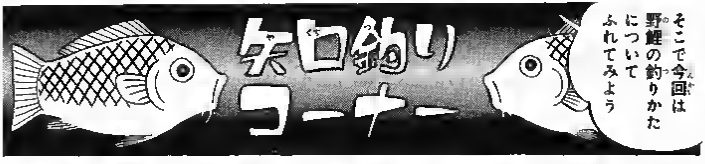
フフフ
勝負の
相手のおらに
こんただ
テグス
くれるんだ
から
あらあの人は
三平ちゃんのこと
はじめっから
相手にして
ないんじゃない
の…？
ハレッ
きついなあ
だいぶ心さ
キズついたぜ
雪子ねえ
ちゃん…
ホホホ
おら
三ちゃんの
ツラなんか
見たくねえ
けどよオ
ああ
じいちゃんに
ユリッペ
一平じいちゃんが
きたんで
家内してきた
だけだ フフン
こりゃ
どうも
三平が
えらいこと
お世話に
なってる
そうで

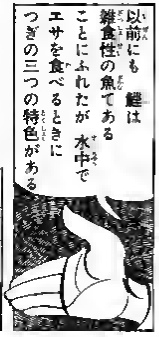
そうけえ
そんただ
でっけえ野鯉を
追いかけまわして
いたのけえ
そうなんだよ
じいちゃん
んだから
三ちゃんったら
もう むちゅうに
なってるだよ
なるほど
そんたに
でかいやつ
じゃったら
しかけのほうも
くふうせんと
いかんじゃろ
なあ

うん
おらも
そのことで
頭をいためて
いるだが……
三平
おめえ
どろぼう釣り
ちゅうのを
知ってるけえ
どろぼう
釣りだとオ
そうじゃ
鯉の
どろぼう釣り
じゃ……

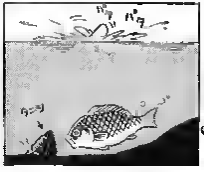
拝啓 矢口先生
三日月湖の大物野鯉を釣る
しかけを考えてみました
この方法で三平くんに釣らせて
みたら きっと釣れると思います

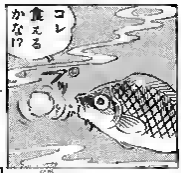






Ⓐ水面に浮いたエサを
あまり食べない
もっぱら水底を食べ
あさる例が多いので
エサを底につける
釣りかたをする





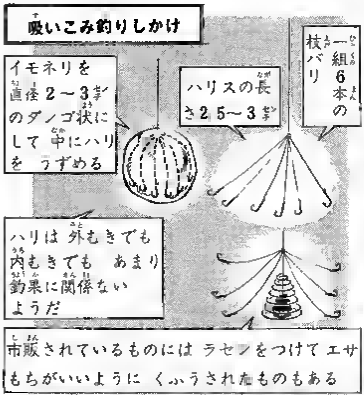
Ⓑ流れのない
よどんだ水の中では
いったん口にした
エサをプッと はき
だすことを二三度
くりかえしたあと
食べる性質がある

Ⓒ水流のある川
などのばあいは
エサを口にすると
すぐ はきださないで
移動する例が
わおい

このⒶⒺⒸの特性を考慮して 現在一般的には つぎの2種類に
大別した釣りかたがおこなわれている

ポイント	水流のないⒷのばあい	水流のあるⒸの ばあい
釣り法	吸いこみ釣り	食わせ釣り（ぶっこみ釣り／ウキ釣り）

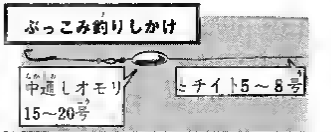
吸いこみ釣りしかけ



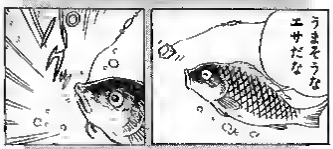
市販されているものには ラセンをつけて エサもちがいいように くふうされたものもある

釣りかた（水底にエサをつけておく）

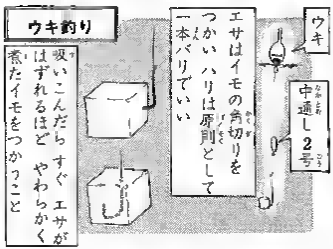
ぶっこみ釣りしかけ



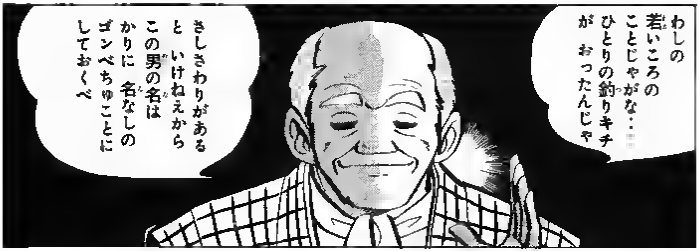
釣りかた（水底にぶっこんでおく）



ウキ釣り



鯉の
どろぼう釣り
……!?
ンマア
どろぼう
釣り……
はて
「恋泥棒」
ちゅうのは
歌謡曲に
あったが
フフフ
……
なんでえ
じいちゃん
……その
鯉のどろぼう
釣りってのは


わしの
若いころの
ことじゃがな…
ひとりの釣りキチ
がおったんじゃ
さしさわりがある
といけねえから
この男の名は
かりに 名なしの
ゴンベちゅうことに
しておくべ

このゴンベちゅう
男の釣り腕は
そうとうなもん
じゃった
しかし
なにしろ
タチのよくねえ
釣りキチじゃった
魚とみりゃあ
めったやたらに
釣りたがる
産卵期で
あろうが
いっこうに
かまわねえで
荒釣りもする

エサを食わねえ
時期なんか
ひっかけてでも
釣りあげなきゃ
気がおさまら
ねえし…
ひとつところの
ポイントにいる
魚も ぜんぶ
釣ってしまわねえと
気がおさまらねえ
男でなあ…

ヘエーッ
ずいぶんと
きたねえ
なあ…
釣りキチの
風上にも
おけねえじゃ
ねえか
フフフ
ところが
このゴンベ
ちゅう
釣りキチとしての
ほこりがあった
だなあ…
こんただ
あらっぽい
男じゃが
網を
つかったり
いっさい
しねえ
もっぱら
テグスとハリを
つかっての釣り
ちゅうことに
全力をかたむける
男じゃった
このゴンベが
目をつけたのが
ある金持ちの
池の鯉じゃった
…
この家の主人は
鯉道楽だったので
大きな池には
そりゃあ もう
かぞえきれねえ
ほどの鯉がいた
…

緋鯉や真鯉をはじめ
一ぴき何万円もする
錦鯉や・・・

大きさだって
一メートル級が
うじゃうじゃ
ってありさま
じゃった・・・

ゴクッ

ゴンベは
そのうちでも
もっとも でかい
みずほ黄金
ちゅう錦鯉に
目をつけた

この鯉は
からだ全体が
緋黄金色で
背ゴケが黒色に
かがやく
みごとな
もんじゃった

ゴンベは暗闇にまぎれて その池に第一投を投じたわけだが・・・
飼育されてるものだったけに すぐエサに食らいついて・・・
ゴンベは腕には自信があったし その鯉を釣ってべつに どうしようというのでもない・・・
ただ釣りあげることに意義があったようじゃ・・・
――だが

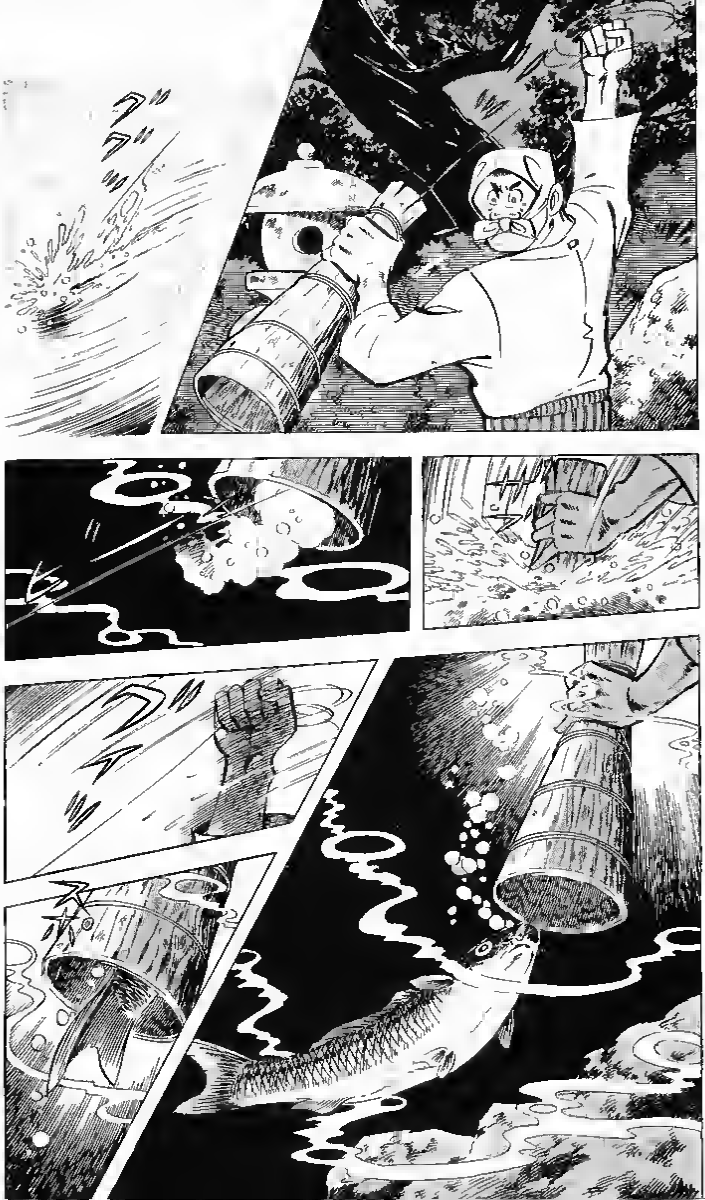
なんだろう
いまごろ
みょうな
あばれかたを
したが…

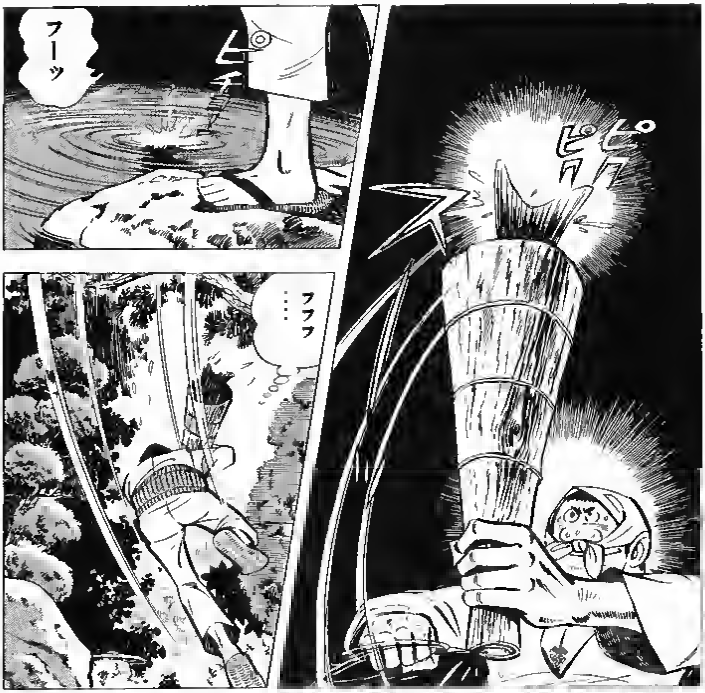
水の音が
したために
家の人に
気づかれた
わけね

第一回めは
みごとに
失敗した
そうじゃ
アー

そうじゃ
…じゃが
ゴンベは
そんただこと
ぐれえで
あきらめる
男じゃねえ
それから
なんども
足をはこんで
いろんな しかけで
こころみた結果
ついに 釣りあげた
のじゃ

ど どんな方法で……!?
ゴンベは杉の皮をつかってメガホンのような奇妙な道具を考えたのよオ……
ひとの家の池からどろぼうしたわけじゃから
どろぼう釣りだべ
やつはそれを持って池に近づき
ヘッヘヘ
ん――っんだから そのどろぼう釣りってどんなやつか聞いてるでねえか




フーッ
ピチ
ピン
フフフ……

どうじゃ これがゴンベのどろぼう釣りじゃ……
鯉どろぼうをしたちゅうことはわるいが ここまで釣ることに執念を燃やしたゴンベってやつはてえした男よ……
……どろぼう釣り……ウ〜〜〜ン

ゴンベの
どろぼう釣り
……

なるほど
水ン中さ
つっこんだ
メガホンのなかさ
鯉をスッポリ
おさめたら
どんただ
力の強い鯉でも
あばれることが
できねえなあ
……

さすが
どろぼうする
だけあって
えれえ しかけを
考えるもんだ
へへへ……
名なしの
ゴンベさんと
やら……

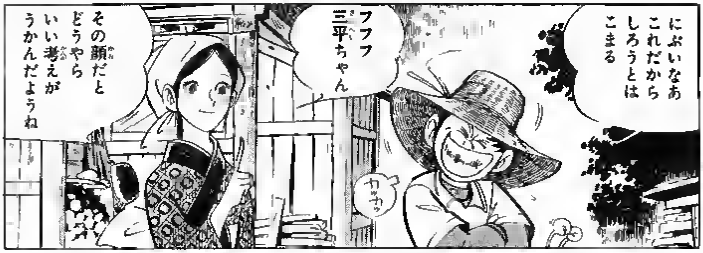
ン!?

そ
そうけえ
……

こ これだ
!!
じいちゃん
わかっただ
……

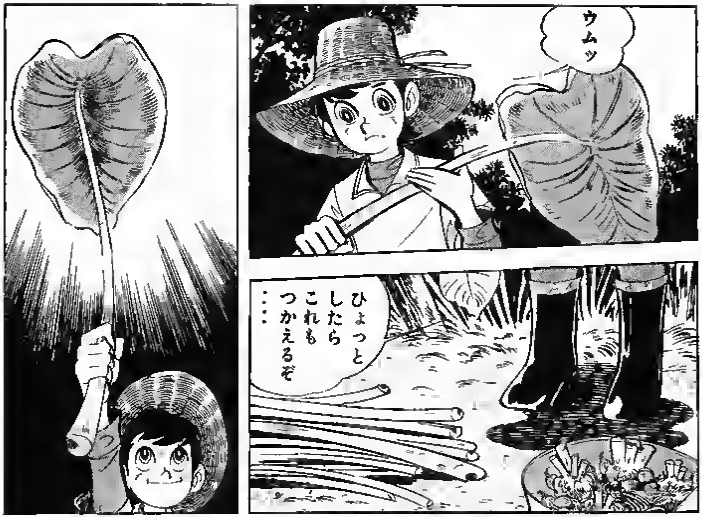
いける
きっと
いけるぜ
……!!
あの
三日月湖の
バケモノ野鯉
釣り!!
魚紳さん
見てろ!!
あしたの
朝まずめに
勝負だっ!!
愛子ねえちゃーん!!

どうしたのよ
三平ちゃん
そんなに
大声出して
どうしたも
こうしたも
ねえ
たのみが
ある!!
できるだけ
たくさん
ジャガイモを
煮てくれ
あら
これ
サトイモよ
ちがうってば
あの野趣の
エサにする
ジャガイモ
なんだ
カーッ
泣けてくるぜ
もオ…
ンマア
そう
だったの


においなあ
これだから
しろうとは
こまる
フフフ
三平ちゃん
その顔だと
どうやら
いい考えが
うかんだようね

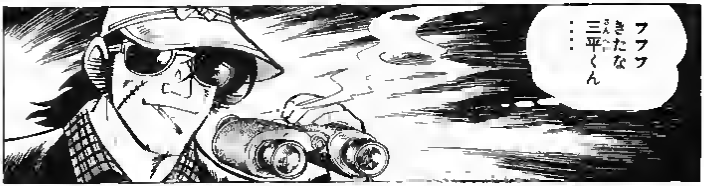
あったりきよオ!!
魚紳さんを
ギャフンと
いわせる手が
な・・・
ンマア
そんなら
いそいで
したくを
しなくちゃあ

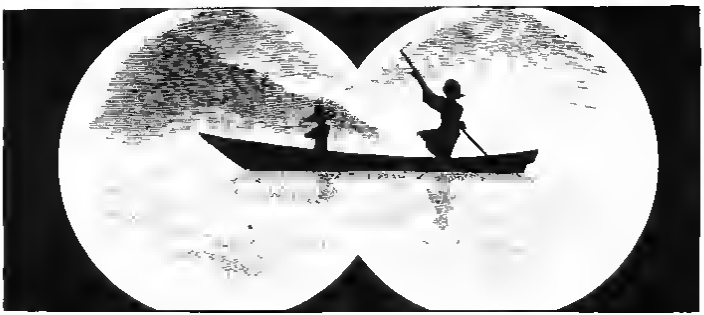
たのみまーす
愛子さまーっ
!!
ホホホホ
三平ちゃんったら
ケッヘヘ

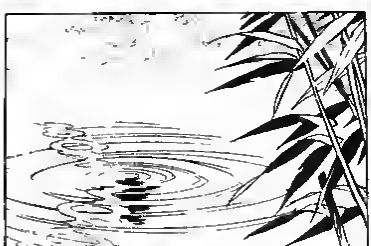

ウムッ
ひょっとしたらこれもつかえるぞ……

その夜は星がきれいにかがやいていた

――そして
東の空が ようやく
白みはじめ
三平と魚紳の
釣り勝負の舞台
三日月湖の夜は
まさに あけようと
していた

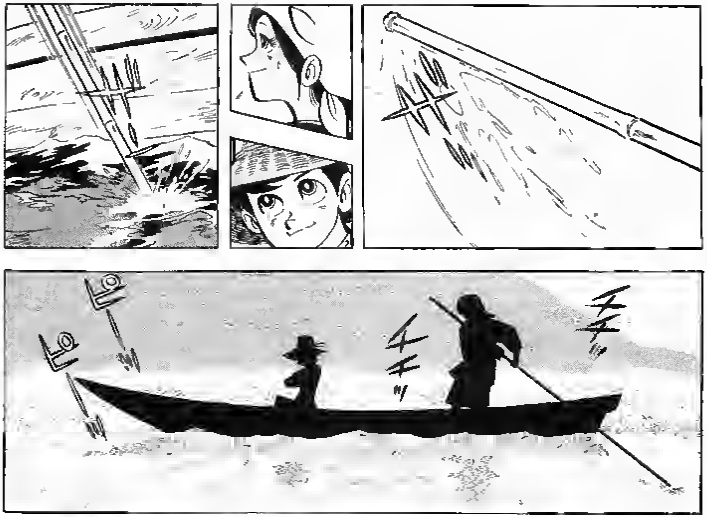

フフフ
きたな
三平くん
……





チチチ
チチ

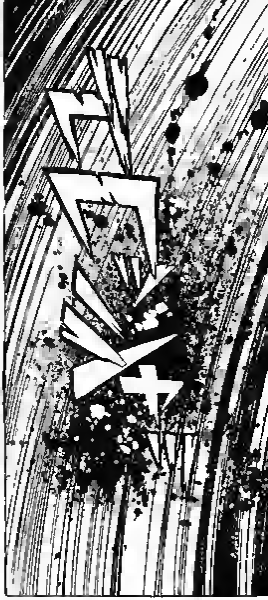
どうしたのよオ
三平ちゃん
さっきから
だまり
こくって・・・・

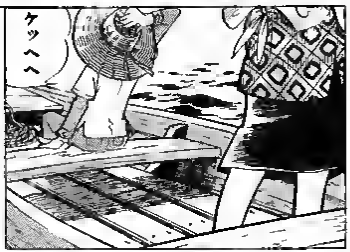

チチ〃
チチ〃
フフフ……

雫子ねえちゃん
おらあ いま
巌流島さ むかう
宮本武蔵みてえな
気持ちよオ・・・
ンマア
そんなら
魚紳さんが
佐々木小次郎
ってわけね
あったりき
よオ・・・
武蔵!!
おくしたかっ!!

スラッ
ヒュッ
小次郎
やぶれたり！
だまれっ
たわごとを
!!
ここい!!
この勝負
おぬしの負けだ
死にいそぐは
おしいぞ
小次郎!!

ウヌッ

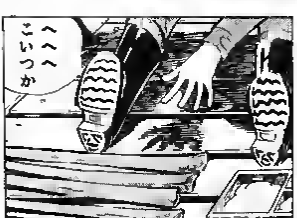



ケッヘヘ

三平ちゃん
そんなに
カッコつけて
だいじょうぶ
なの…
どんな
作戦があるか
知らないけど
釣り竿も
持たないで

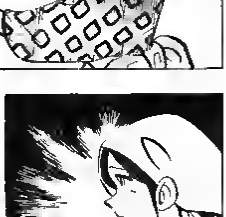
だいいち
そのイモガラ
(里芋のクキ)は
なにに つかう
つもりなの

勝負はときの運だべ
ましてや魚紳さんのあのフェアーなマナーといい すご腕といいおら ハナッから勝てるなんて思っちゃいねえ
まあ見てろって


へへへ こいつか

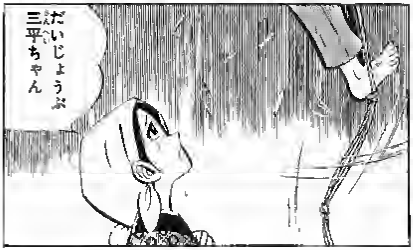
サバサバしたもんよ……
サバサバしすぎてかえって おちついてさえくるちゅうもんじゃ……んだども……

あの巨大な野鯉は一日二回かならず通り路をまわる
おらんとこさまわってきたときはおらのチャンス
魚紳さんとこさまわったときは魚紳さんのチャンスだべ……
そう理屈どおりいくかしら



勝負はときの運
おらにだってチャンスはじゅうぶんあるはずだ

さあ
ついたぞ
いよいよ
勝負開始だ
愛子ねえちゃん
ストップ
ストップ
ほんじゃあ
きっき
うちあわせた
とおり
たのむぞ
シマア
いつのまに
こんな
しかけを


だいじょうぶ
三平ちゃん

よいしょ
っと!!

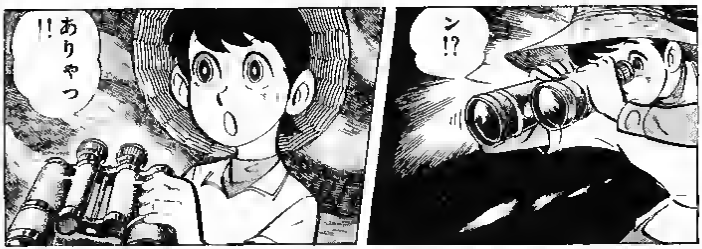
心配
するなて

ウンセーッと

いよいよ
夜明けだな
魚紳さん
まちくたびれてる
だろうなあ

それにしても
きょうは
湖面に朝霧が
たなびいて
ぜっこうの
釣り日より……

さて!!
魚紳さんは
……っと


ありゃっ!!
ン!?

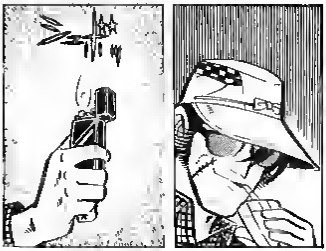
準備
OK

クソオ!!
こっちだって
OKだぜ!!
愛子
ねえちゃん
!!
その
二番めの
プラカード
とってくれ
これね
いくわよ
スル
スル
ありがとう
よ――っ

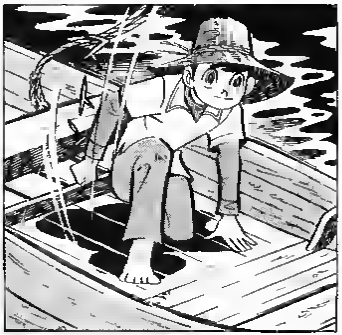
勝負開始

スルスル

フフフ……

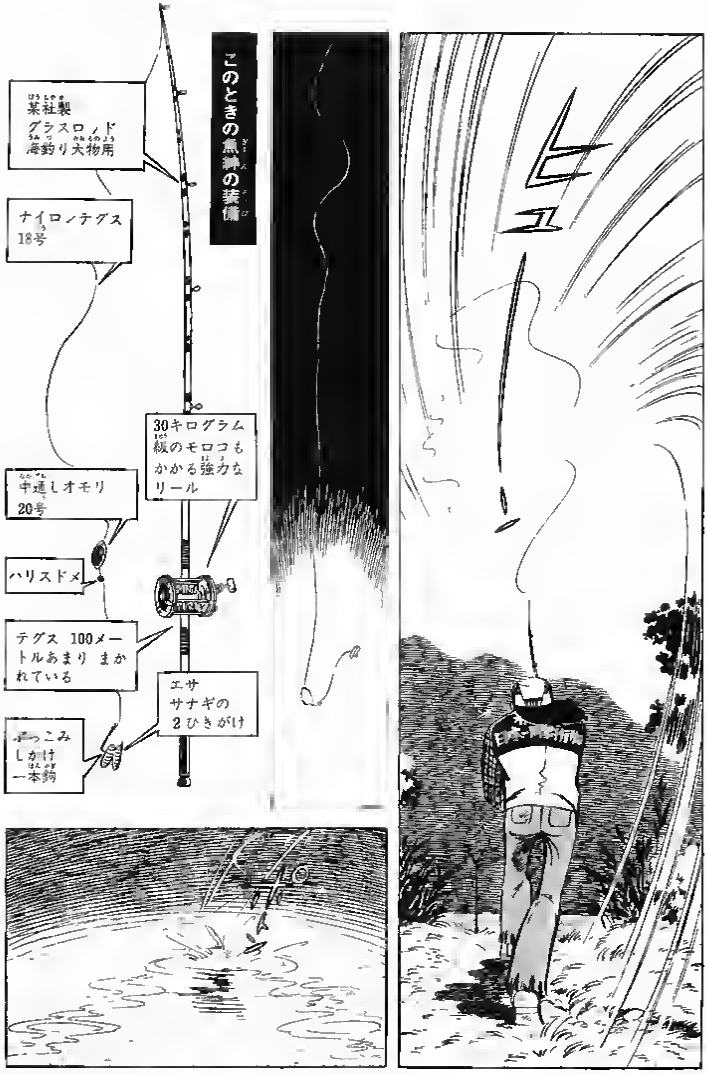


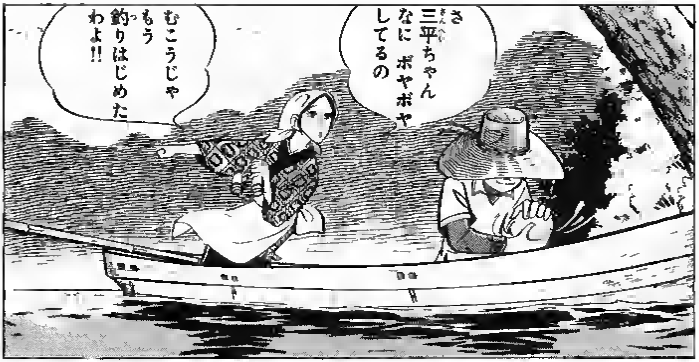
日本一周釣行



三平くん
きみって子は
たいした
子どもだな
おれは
はじめっから
きみのこと
なめてかかってる
わけではないが
なんだか
分のわるい勝負に
なりそうだ
だが おれだって
日本一周釣り行脚を
しているほこりがある
正々
どうどうと
勝負だ
フフフ
負けないぞ
新潟
日本一周釣行脚

三平と魚神の
対決の朝は
白々と　あけ
はじめた・・・
約
日本釣


このときの黒鯛の装備
某社製
グラスロッド
海釣り大物用
ナイロンテグス
18号
30キログラム
級のモロコも
かかる強力な
リール
中通しオモリ
20号
ハリスドメ
テグス 100メー
トルあまり まか
れている
エサ
ササギの
2ひきがけ
ぶっこみ
しかけ
一本鈎

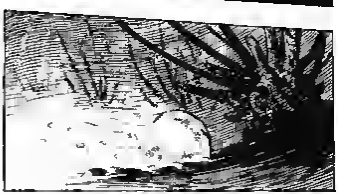

さ 三平ちゃん なに ボヤボヤしてるの
むこうじゃ もう 釣りはじめたわよ!!

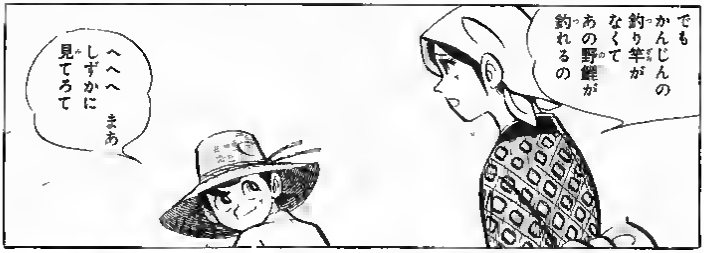
へへへ 雪子ねえちゃん そんただ あわてるなて

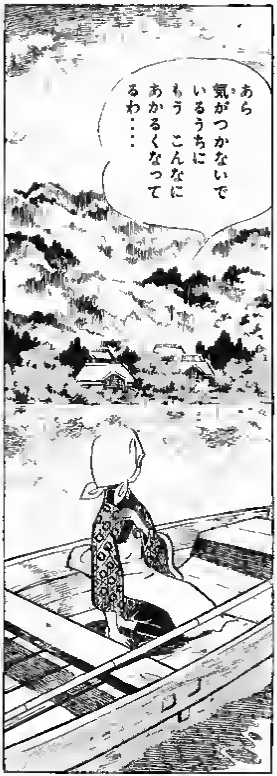
釣りちゅうもんは 釣るまでに それなりの準備があるだ

寄せ餌をうって そこに なるべく 鮭を長く とどめておく 必要があるべ

ンマア それで そのウラゴシした イモネリを さかんに ほうり こんでるのね




でも
かんじんの
釣り竿が
なくて
あの野鯉が
釣れるの
へへへ
まあ
しずかに
見てろって


あら
気がつかないで
いるうちに
もう こんなに
あかるくなって
るわ……

ウーム エサが
いいあんべえの
とこさ
おちついてる
やつの
通り路の
ド まんなか
だ……

おらの目に
くるいがなければ
あの野鯉は
かならず
この桑畑の
ポイントで
エサをあさる
はずだ……

さて
はじめるぞ
愛子ねえ
ちゃん!!
がんばってね
三平ちゃん
ど どうしたのよ
イモガラなんか
まきちらして
……
ビーン
ガーシャ

こんなのであの鯉が釣れるというの
シーッ
へんなの…

フフフ
三平三平
…か
不敵な
子どもだな
こっちを
見はってる
なんて
なんか
みょうに
よゆうみたいな
ものが 感じ
られるな……

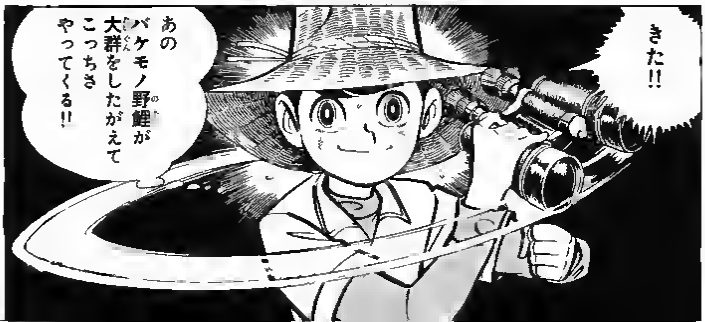
ふしぎだ
……
どうしたと
いうんだ

それにしても
おれの けさの
この胸さわぎは
なんだ
いままで
なんとなく
釣り勝負を
してきたのに
こんな気分は
一度もなかった

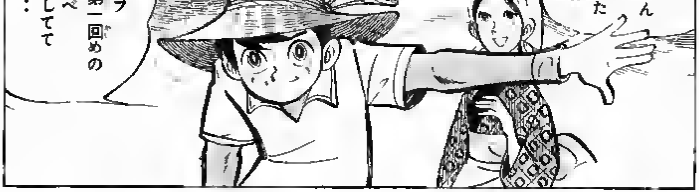
三平くんの
あの おちついた
顔を 見れば
見るほど
胸さわぎが
大きくなる
……
もしかして
……
……

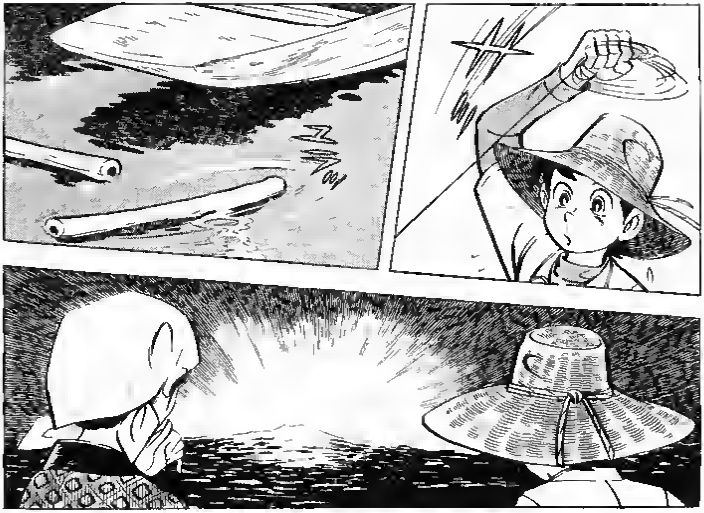
三平くんは
あの巨鯉を釣る
重大な手がかりを
つかんだのでは
あるまいか……
たとえば
まったく
とっぴょうしも
ない しかけを
思いついたとか
……

いかん
……
こうまで
相手が気に
なるようでは
この勝負
負けるかも
しれない


きた!!
あの
バケモノ野鯉が
大群をしたがえて
こっちさ
やってくる!!

スル


さ
三平ちゃん
野鯉が
やってきた
のねっ!!
フフフ
まず 第一回めの
挑戦だべ
じっとしてて
けれ・・・



ウーム
いよいよ
やってきた
ようだな
だが
竿をつかわず
手釣りをしてる
ところを見ると
…やっぱり
なにか…
あたらしい
くふうを
考えついた
のに
ちがいない
三平三平くん
…おれの
にらんだとおり
ただの
釣りキチじゃ
なかったな
フフフフ
新版
日本一周釣行

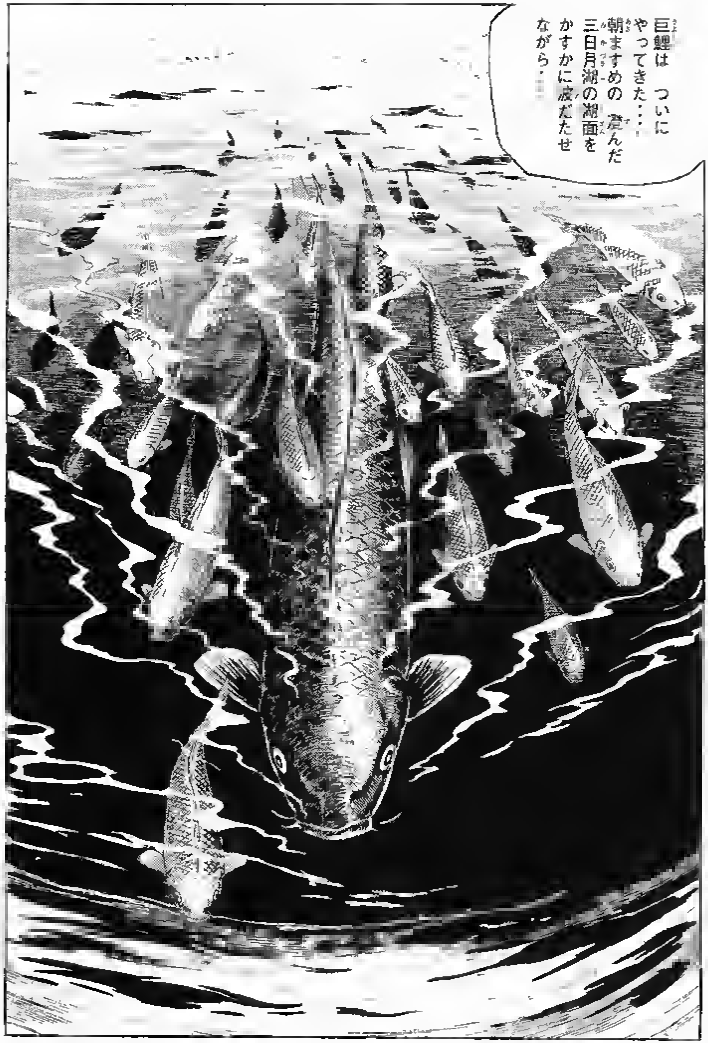
フア～～ッ
おんもしろく
ねえなあー
フフ
なに そんただ
ふくれっツラ
してるだ
ユリちゃん

んだってよ
一平じいちゃん
考えてみてよ
釣りに
いくから
ちゅうて
こんただ
朝早くから
おこされて
けーつきょくは
あの
おねえちゃんと
ふたりして
鮎さのって…

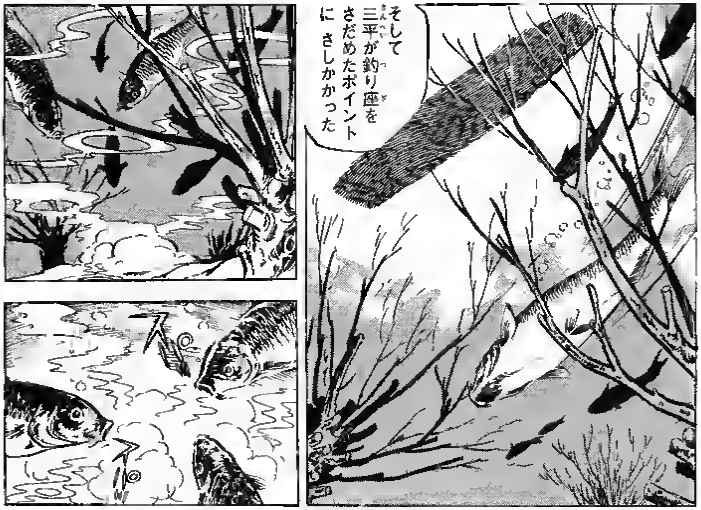
さっさと
いっちまった
でねえか
こんただ
ワリのあわねえ
話ってあるけえ

足は蚊に
食われるし
ロクなことが
ねえ
ホホー
カユイ
!?

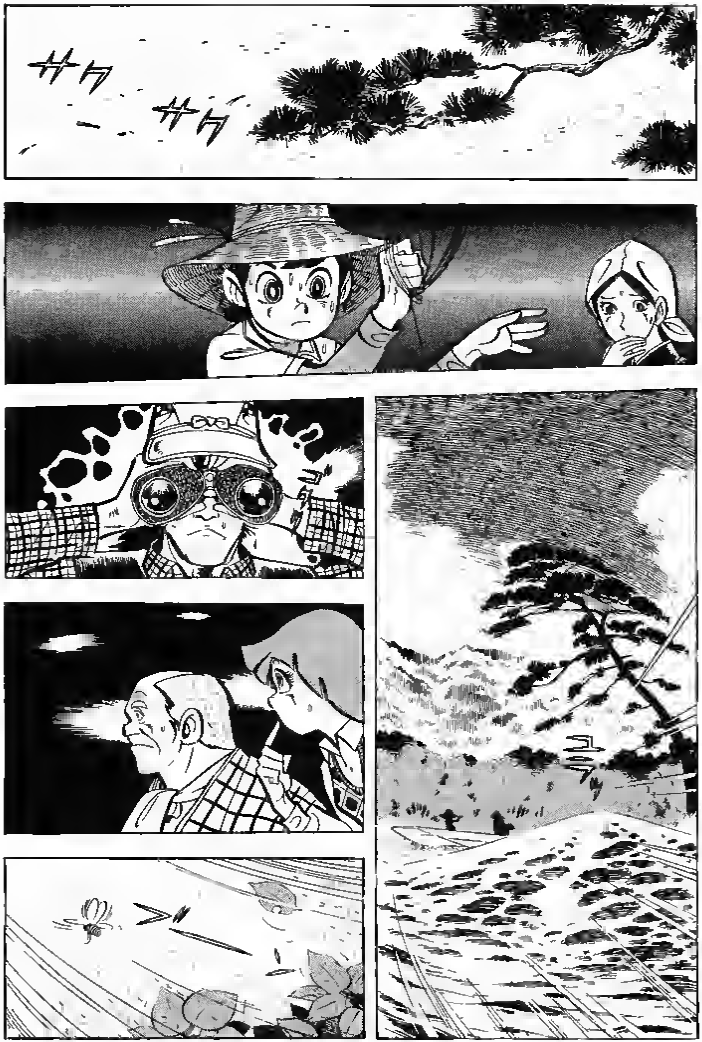
ウーム
きたな…
三平…
うめえこと
いくか…
どろぼう
釣りが…

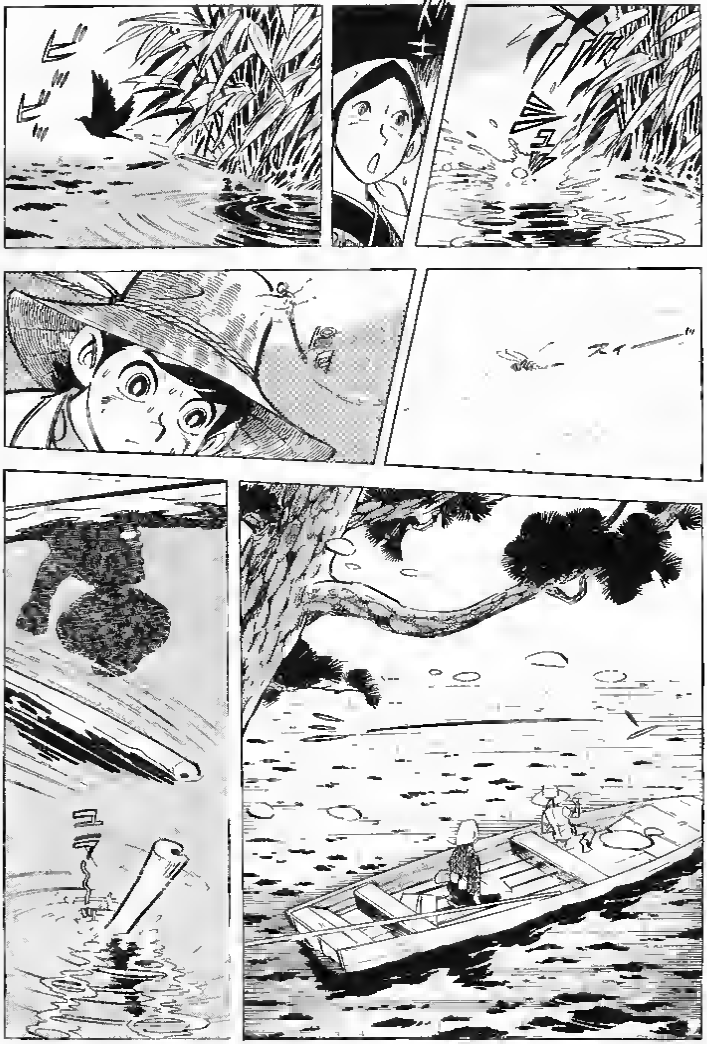

巨鯉は　ついに
やってきた・・・
朝ますめの　澄んだ
三日月湖の湖面を
かすかに波だたせ
ながら・・・

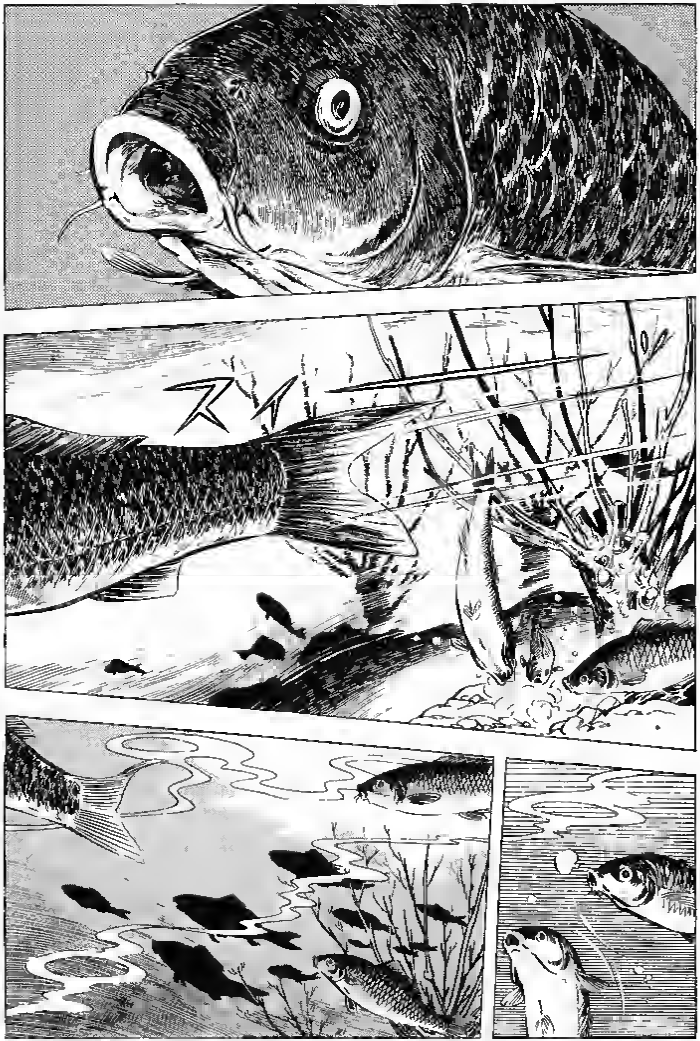
巨鯉は
大小の鯉を
したがえて
まがうことなく
通り路を
ゆうゆうと
すすんでいく


そして
三平が釣り座を
さだめたポイント
に
さしかかった

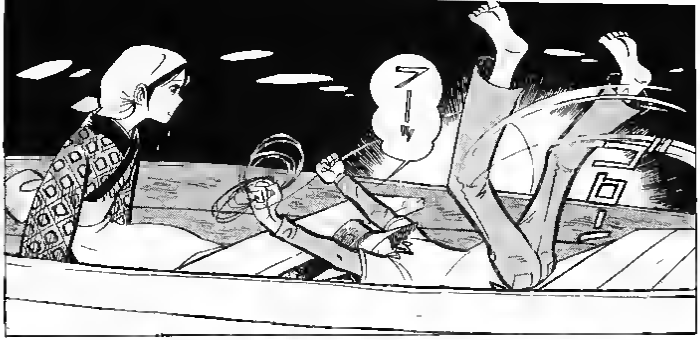
ピク
ピク
あら
イモガラが
うごいてるわ
シッ


ザワ
ザワ
ゴ
ゴ
ゴ


ビビビ
ハッ
ユラ
ヒヤ
スイーッ
ユラ


スッ

ウッ
ああっ
三平ちゃん


ヒロー

フーッ
いっちゃった
わね……
ハイハイ

巨鯉
通過せり
どうぞ
三平

フフフ
巨鯉通過せり……か
いよいよおれの出番だな……
よし準備OKいつでもこい!!
カリ
カリ
ジジ
フフフ……

プラカードを
あげたら
対岸の
魚紳さんが
うごきだしたわ
そりゃあ
そうじゃろ
鯉の群れは
岸づたいを
むこう岸に
むかったから
な……
もしかしたら
魚紳さんが
釣るかも
しれねえぞ

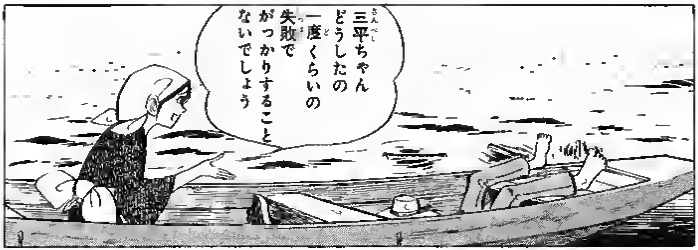
さあ そう
かんたんに
いくかな……
あの野鯉が
あれだけ
でっかくなった
ちゅうことは
まっこと
用心ぶかくて
いままで だれにも
釣られることもなく
病気にかかって
死んだりすることも
なかったから
生きのびてこられた
のとちがうかな……

それと この
三日月湖一帯は
水質がよく
毒に汚染された
ことがなかったことも
大きな理由じゃろう
……
こう考えて
みると
あの野鯉に なにか
とっぴょうしもねえ
ことが おこらねえ
かぎり エサに
食いつくことは
あるめえ……
ということは
釣れねえと
いうことけえ
そうじゃ
……
三平もあの男も
釣りあげること
ばかり考えて
いるようじゃが
エサに食いつかせる
ほうが いかに
むずかしいか
わかってねえ……

おお!!
もう 日の出
けえ……

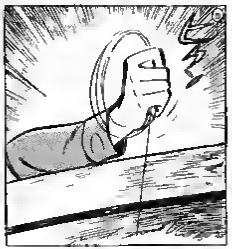
三日月湖の巨鯉が
これほどまでに
成長したことを思うとき
一平じいさんのことば
はうなずけよう!!
なにげなく はいた
一平じいさんのことば
ではあったが
三日月湖が朝日に
かがやきはじめた
とき……
とっぴょうしも
ないことが
おこりつつ
あった……

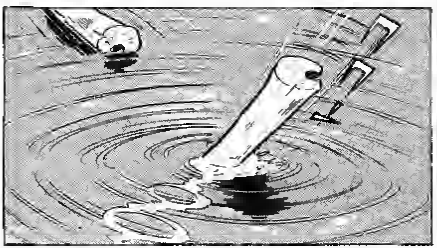
おかしい
もう とっくに
野鯉の群れが
まわってきても
いい時間なのに
……
どうしたと
いうんだ
おかしい
……


三平ちゃん
どうしたの
一度くらいの
失敗で
がっかりすること
ないでしょう

どうしたのよオ
寝てるの
……
ムリないわねえ
朝早かった
もんねえ

フフフ
かわいいわ
ねえ
三平ちゃん
……
……

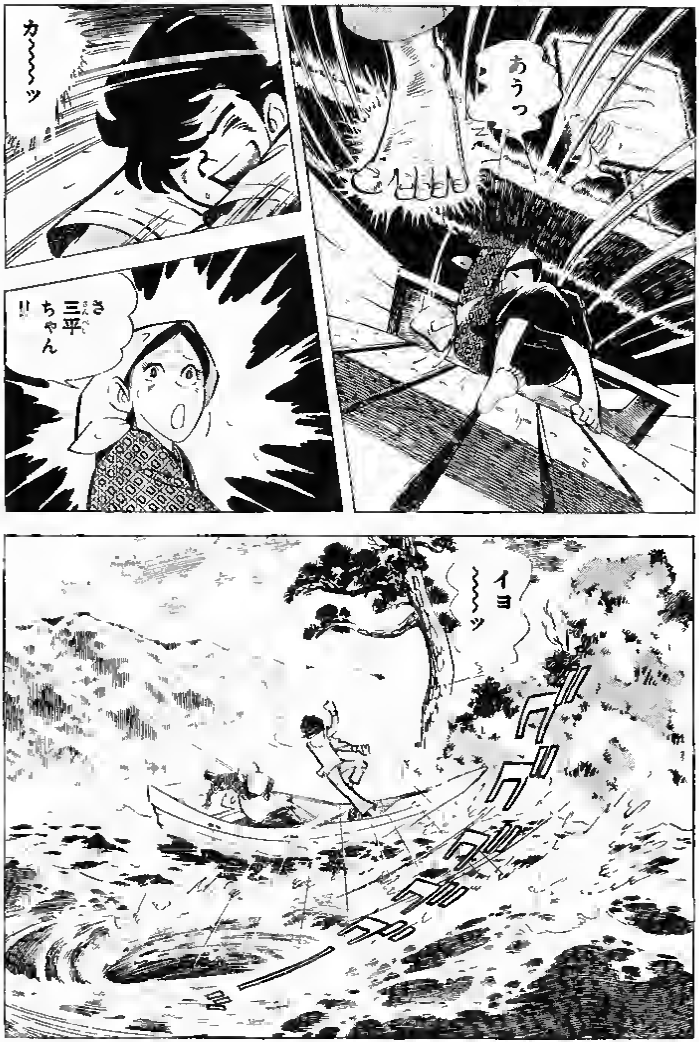




さ
三平ちゃん
どうしたの
どうしたの
きゅうに
ウッ
グ
グ
ー
ー
ー
グ
ー

やった〜〜〜っ!!
あぁっ
とおりすぎた
はずの鯉が
いつのまにか
船の下に
……

愛子ねえ
ちゃん
早く
知らせて
くれ～～～っ
ハハイ
おおっ
かかったぞ!!
三平
ムッ
うわ～～っ!!
グ～


カ～～～ッ
あうっ
三平ちゃん!!
イヨ～～～ッ

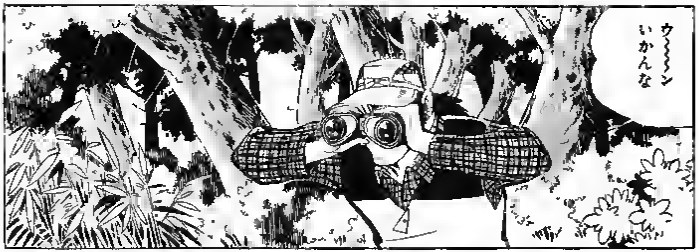
あやーっ
一平じいちゃん
見れ
船が
ひきずられ
ているだ
ウム
三平
おめえって
やつは
よくよく
運のいい
やつじゃな
……
ああっ
ほとんど
見込みのねえと
思ってたことを
あっさりと
やってのけたが
これからが
腕の見せどころ
じゃろ……
うめえこと
あげることが
できるかな
うんにゃ
そのまえに
テグスで手が
しめつけられて
水ン中さ
ひきずりこまれる
かもしれねえぞ
そんだら
おちついて
ねえで
なんとかして
けれ～～～っ
あや～～～っ
そんだら
三ちゃんは
死んで
しまうべ
それも
ありうる
……

あうっ
ガハーッ
すすんげえ
ひきだなや

愛子ねえ
ちゃ――ん
しっかり
つかまってて
くれよなーっ

ク〜〜〜ッ
ング〜〜ッ
さ三平ちゃん
ククッ

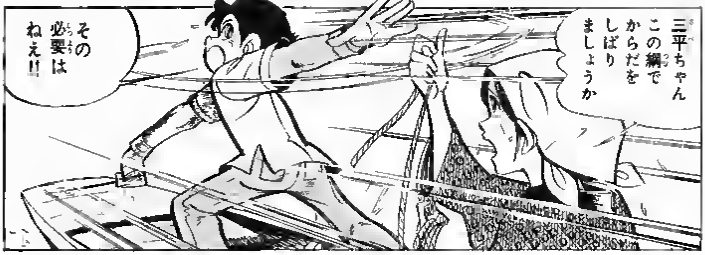
Uh, o

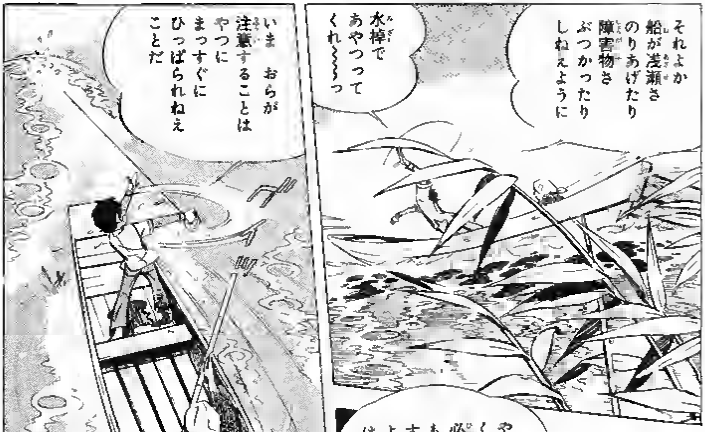

ウ～～～ン
いかんな

このままでは
水中に
ひきこまれて
しまうぞ
……

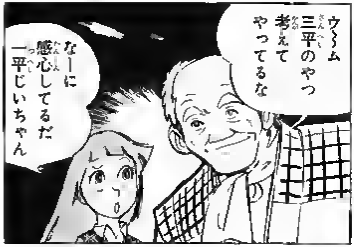
もしもの
場合を考えて
いつでも
とびこめる
準備をして
おこう

こうなることは
だいたい予想は
していたが
思いのほか
強いひきを
してる……
たいした
野鯉だ
……

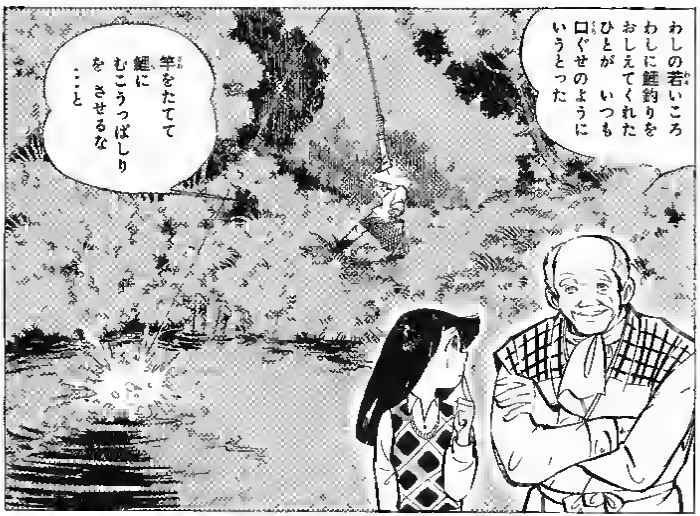

三平ちゃん
この網で
からだを
しばり
ましょうか
その
必要は
ねえ!!

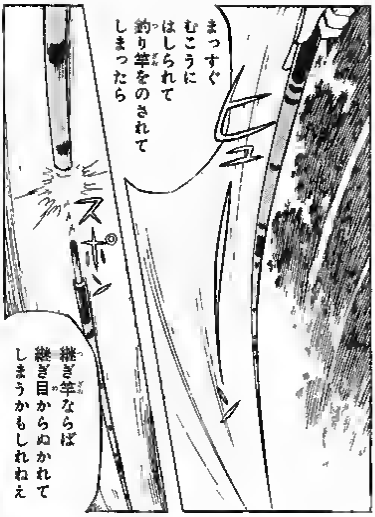

それよか
船が浅瀬さ
のりあげたり
障害物さ
ぶつかったり
しねえように
水棹で
あやつって
くれ〜〜〜っ

わかったわ
やつだって
くるしくって
必死だべ
もうすこし
すれば
よわってくる
はず!!
いま おらが
注意することは
やつに
まっすぐに
ひっぱられねえ
ことだ
ピン!


ウ〜ム
三平のやつ
考えて
やってるな
なーに
感心してるだ
一平じいちゃん

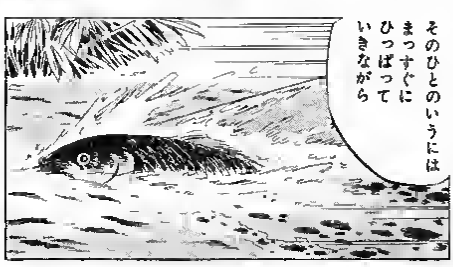
見ろ
ユリちゃん
三平のやつ
鯉の力を
よわらせるため
鯉がつっぱしる方向
をまっすぐに
しねえで ジグザグに
させとる


わしの若いころ
わしに鯉釣りを
おしえてくれた
ひとが いつも
口ぐせのように
いうとった
竿をたてて
鯉に
むこうっぱしり
を させるな
…と


まっすぐ
むこうに
はしられて
釣り竿をのされて
しまったら
ヒュー
ズボン
継ぎ竿ならば
継ぎ目からぬかれて
しまうかもしれねえ

そして
それよか
鯉の背ビレ
で
テグスが
きられる
ちゅう
ことじゃ
アヤ
～～～ッ

鯉ちゅう魚の
背ビレは
前のほうが
ノコギリの歯
みてえな
ギザギザに
なってる
もので
ノコギリ状に
なってるどころ


そのひとのいうには
まっすぐに
ひっぱって
いきながら

いきなり
からだを
反転させて
そのノコギリ状の
背ビレでテグスを
きってしまう
……とのことじゃ

こんなことを
鯉が　ほんとうに
やるもんかどうかは
たしかめたわけじゃ
ねえから
わしは知らねえが
じゃが　もし
やるとすれば
三平のあの
テグスの操作は
まちがっていねえ

トヒョ〰〰ッ
ズサササ
ガサガサ
いいかん
ここは 桑畑の
ある深場だ
このまま もぐられて
テグスが桑の根にても
ひっかかったら
てえへんだ
クソオ
さすが
バケモノだぜ
なっかなか
よわらねえやい

あうっ
あち……
三平ちゃん
どうしたの
あっ
血!?
ポタ
ポタ
し心配するなて
あ…愛子
ねえちゃん

あぁぁ

うわ
〜〜〜っ
さ
三平(さんぺい)……
……ちゃん

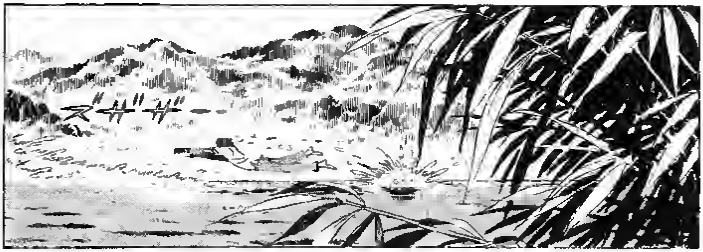
三平ちゃ――ん
ああっ
ムッ
いかん!!
ああ
～～～

ハアッ
さささささ
三ちゃ〜〜ん
ぶるる
ぶるる
どこにいるだ三ちゃん
!! 三ちゃ〜〜〜ん

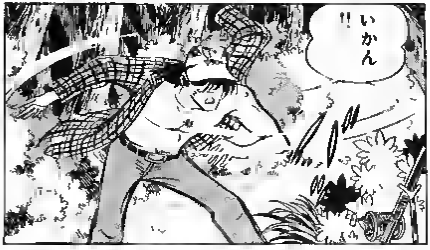
ズザザザ
さ三ちゃーん
い生きてたのけえ
クソオ心配させやがってもう
なんでえユリッペおめぇのオテンバはあいかわらずなおってねぇな
ガクリ
しゃあねえなあ…このバケモノ野郎め
こうなったら奥の手でいくしかあるめえ

ユリッペ――ッ
見てろよ――っ
おらあ いま
とってきの
奥の手をつかって
こいつを
だまらせてみせる
からな――っ
さ三ちゃん
おめえ まだ
あきらめ
ねえのか
そんただごど
いつまでもやってたら
水ン中さ
ひきずりこまれて
死んじまうべ――っ
やめろ
あぶねえ
糸を
きれ～～～っ
あうっ

ぶちぶちっ
チョホーッ
ブラーン
三ちゃ〜〜〜ん
よさねえか
〜〜〜っ
死んじまう
ぞ〜〜〜っ
ケヘッ
バーカ
せっかく
かけた
バケモノ野郎だ
死んだって
あきらめねえ
ぞ!!

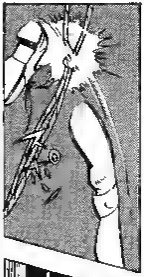

ズザザー

ああ
さ
三平!!


いかん
!!

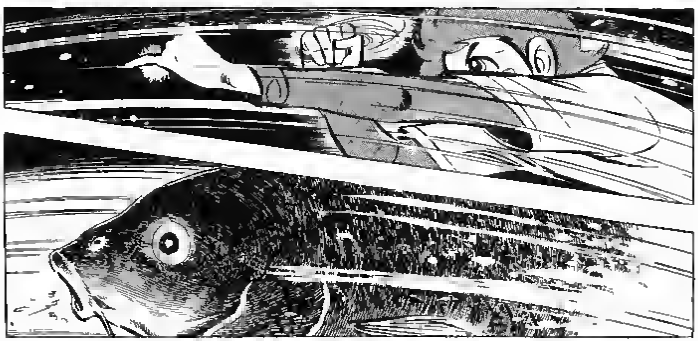
あぁ~~~
三平
ちゃ~~~~ん

死んじゃう~~~~っ
なんとかして
けれ~~~っ
一平じいちゃ~~~~ん
あぁ~~~~っ
三ちゃんが
ひきずりこまれ
る~~~~っ

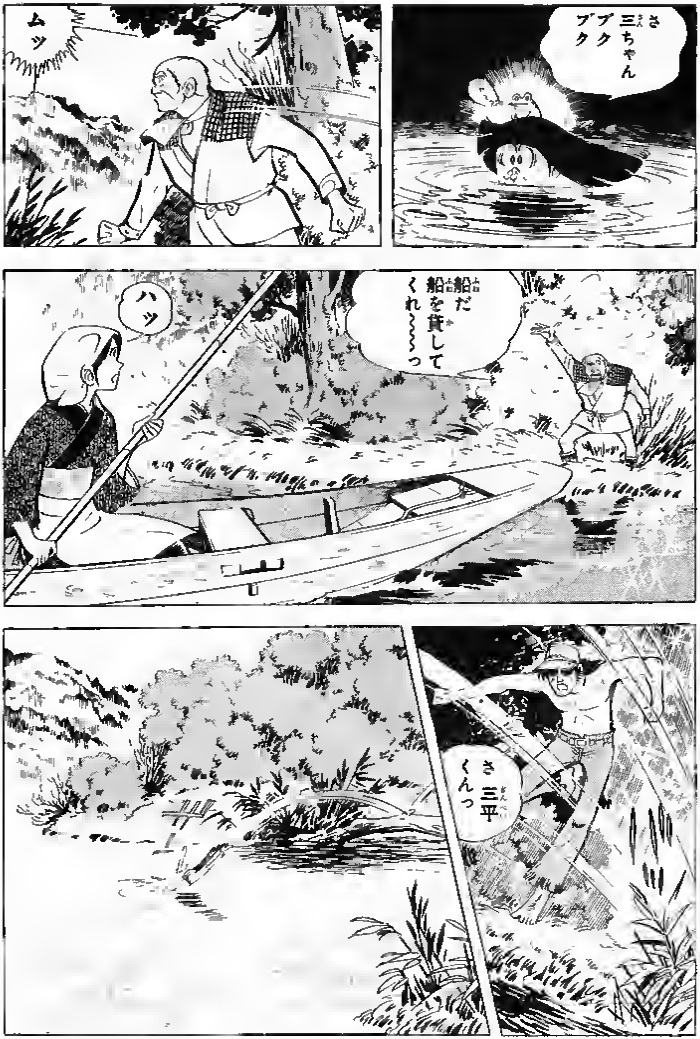


あわっ

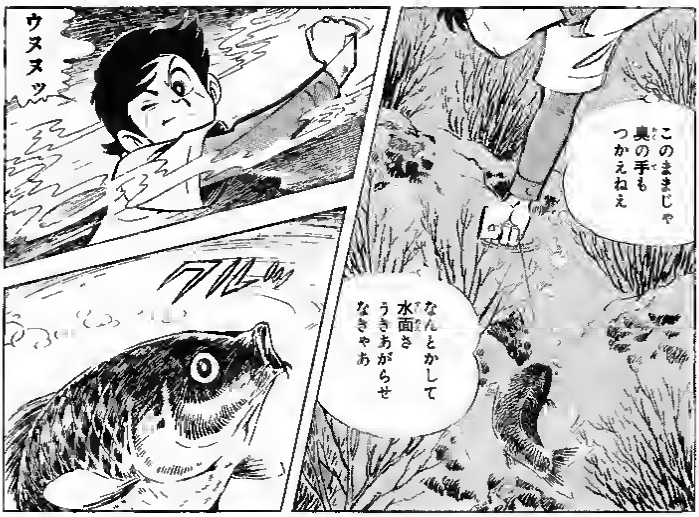
ウヒョ〜〜ッ



ウッ


ムッ
さ三ちゃん
ブク
ブク
船だ
船を貸して
くれ〜〜〜っ
ハッ
さ三平くんっ

クソオ!!


このままじゃ
奥の手も
つかえねえ
なんとかして
水面さ
うきあがらせ
なきゃあ
ウヌヌッ
グルル

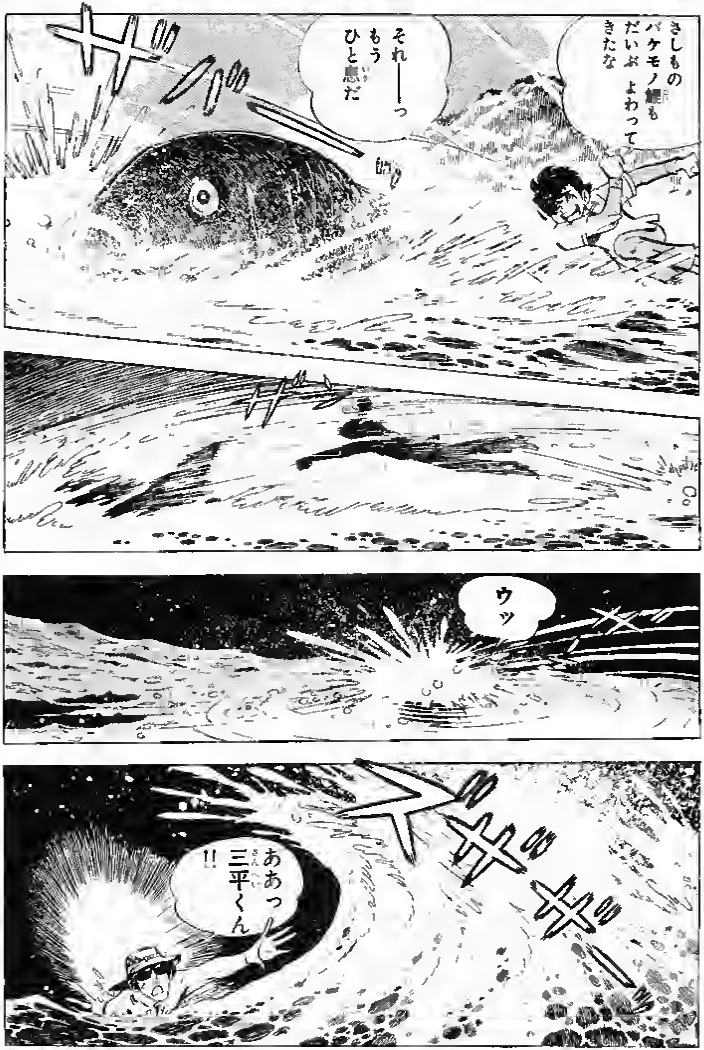
そ そうだ
その手子だ
ズズズ

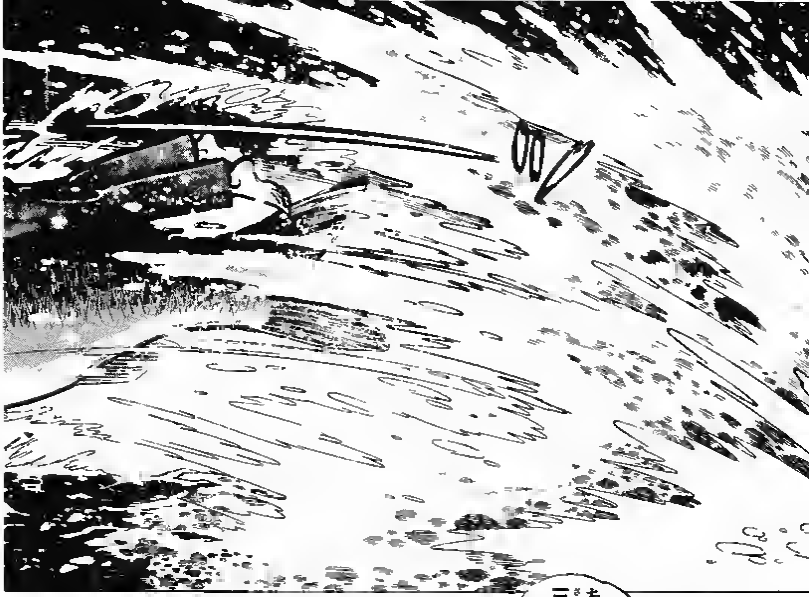
!!?
!?
プアーッ
あっ三ちゃん!!

イョホ――ッ
なんでえ
みんな
そんな
近くまで
わざわざ
見物にやって
きたのけえ

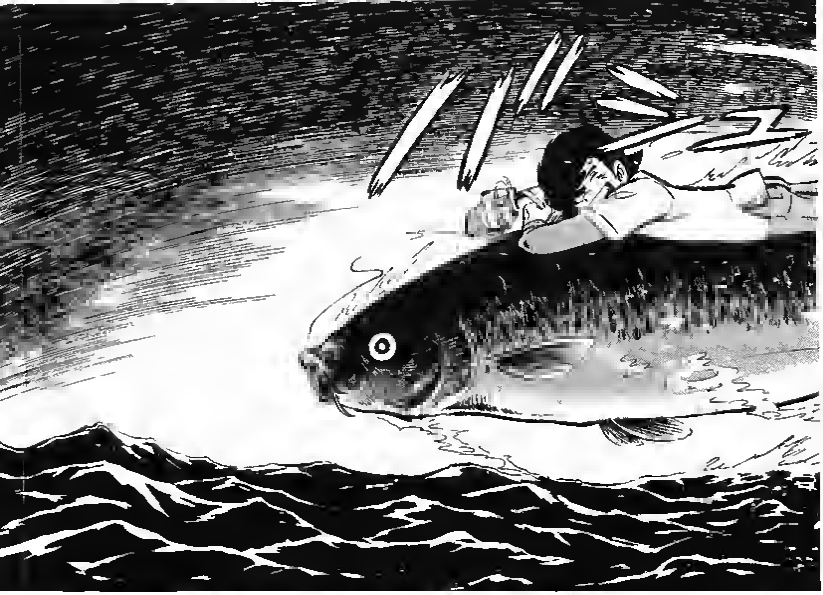
そんだら
ちょっくら
かっこいいとこ
見せなくちゃあ
なあ
ウップ
き 三平
テグスを
はなせっ
それ
いじょう
深追い
すると
あぶねえ

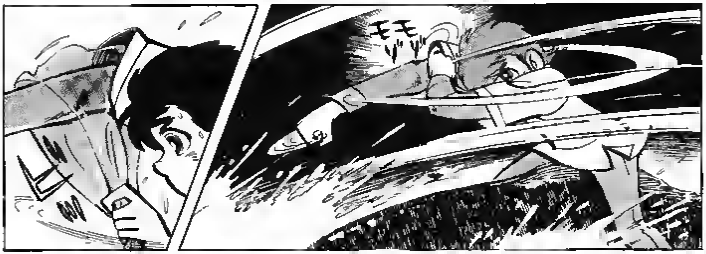
じいちゃん
ガタガタ
わめくなて
いま
こいつを
おとなしく
してみせるから
じっくりと
見物してて
くれや…

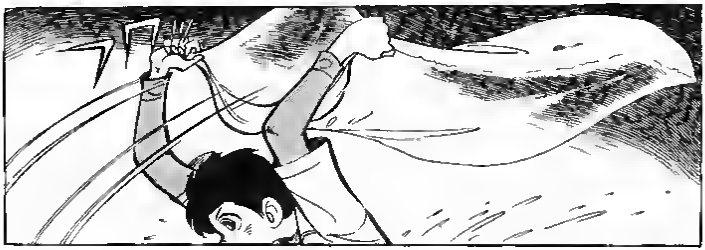

きしものバケモノ鯉もだいぶよわってきたな
それ――っもうひと息だ
ウッ
ああっ三平くん!!

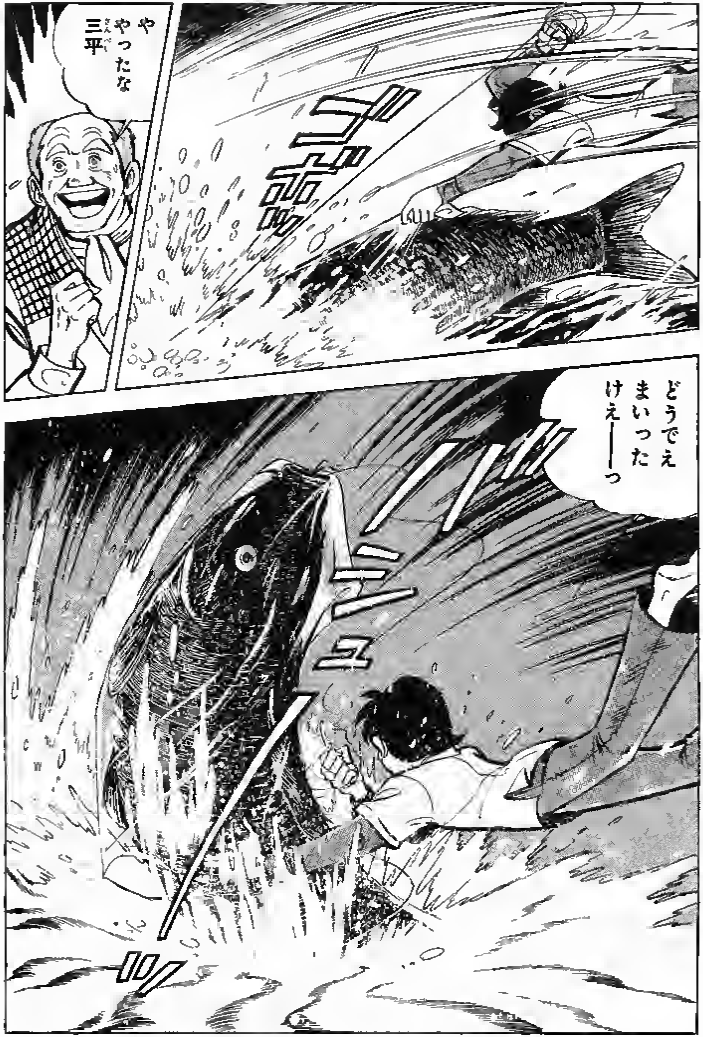


ああっ
三ちゃんが
ウムッ
背ビレに
つかまるとは
…
なんと
だいたん
な
ことを
ムッ
三平の
ヤツ!!
いよいよ
奥の手を
つかう
つもり
だなっ








やったな 三平(さんぺい)
ゴボッ
どうでえ まいったけえ――っ

あ あれは
なんという
やりかただ
!!

フフフ
どろぼう
釣りじゃ
あらかじめ
折りたたんで
腕さ まきつけて
おいた ビニール袋を
頭から すっぽり
かぶせて
野鯉のうごきを
ふうじたのじゃ

なんと
……!?
三平のやつ
なんちゅう
とっぴょうしも
ねえことを
考えおる!!
カ――ッ
もう
いっちょう
いくぜ――っ
ああっ
こんどは
サラシの
腹マキを
とりだした
ぞ!!

それ――っ
スルスル
フフフ
どうでえ
うごけめえ

思ったとおりうごきがにぶい
もうじたばたするなて

ンマア
三ちゃんったら
サラシの腹マキで
鯉に目かくしで
するつもりかしら
ウムッ

だきとりだっ!!
あの方法は鯉のだきとりという方法だ

なんと鯉のだきとりだとお

そうです
おれのいなかでは
川漁師のあいだに
ふるくからつたわる
鯉釣りの秘技で
鯉の頭に
手ぬぐいをかぶせて
目かくしをし
素手でだきあげて
とりこむのです

なるほど
鯉は目かくし
すると あばれな〜
なるもんじゃが
だきとりという
方法 この地方には
ねえから 三平のやつが
知ってるはずはねえ

だとすれば
三平くんは
自分で
考えだした
ということに
なる……
おそろしい
釣りキチ
少年だ
フフフ

ムッ
ゴゴゴゴ

ぶぱっ
ぶぱっ
ぶぱっ

やった
やった!!
やったぞ――っ
三日月湖のバケモノ鯉をとうとうふんじばったぞ――っ
ウヒョ～～～ッ
気イくるったとちがうけえ
よっぽどうれしかろうて…
三ちゃんよかったわね
ウ～～～ムやられた…
かんぜんにやられた…

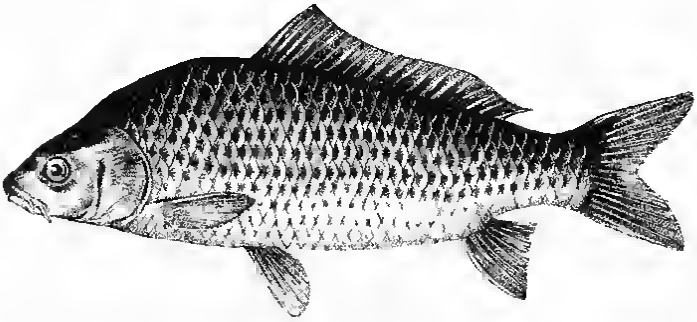
魚紳さん……
わしらも三平の釣りあげた鯉をおがましてもらうべ……
ジャブ
ジャブ
ぷく
ぷく
そうですね……
ウムッ すごい!!
あや～～～っ
これがカッパの正体ね
わしもこの年になってはじめて見る大物じゃ……すげえ
おもくてもちあがらない
よくしばってあるからこのまま岸へひいていくのがいい……

そのほうがええじゃろ
このロープでしばってくれ傷つけねえようにな
ああっ三平ちゃんが!!
三平ちゃんがしずんでいく〜〜〜っ
おおっ!!
いかんうっかりしてた
三平くんはさっきまでの格闘でヘトヘトにつかれてるはずだ
三平ちゃん
ああ三ちゃん
三平くんまってろよ——っ
魚紳さんたのむぞ——っ
まかしといてくれー

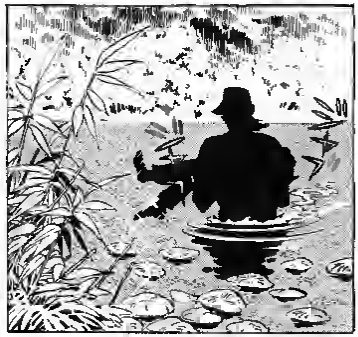
ウッ

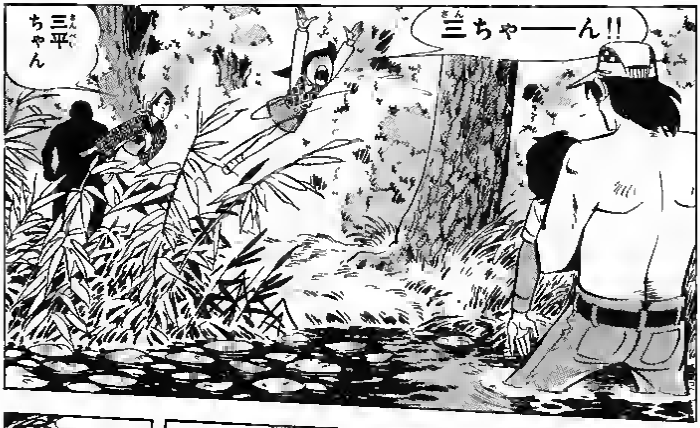
あんまりうれしくてつかれているのを気づかなかったにちがいない

ン!?



フフ
こいつめ
なんと
ずぶとい
神経を
してるだ




三ちゃ――ん!!
三平
ちゃん

三平
ちゃん
だいじょうぶ
……!?
ムグッ

あわわ
クソオ
クソオ
まーた
三ちゃんを
とられて
しもうた
心配ない
水は
一滴も
のんでない
ぱくぱく
ゴス
魚紳さん
えらいとこ
たすけて
もらって
いや
ほんとのところ
おれも おどろき
ました
なにしろ
三平くんは
うれしさと
疲労のために
水上にうかび
ながら
気絶してたん
ですから
ハハハハ
そうけえ
そうじゃった
のけえ

ユリちゃん
なんで
ふくれっつら
してるだ
三平は
ぶじじゃ
った
イヤッ
一平
じいちゃ〜〜〜ん
一平じいさん
いま野鯉の口から
ハリをはずして
みましたが
ハリスは
がんじょうな
ピアノ線で
つくった
手製の
吸いこみ
しかけ
ですね
ウ〜ム
このしかけの
大きさだと
あの野鯉以外は
まず〜わえこむ
ことはムリじゃろ
……
三平のやつ
こんなもんを
つくっていた
のけえ……

ひとつ
おうかがい
したいが
イモガラに
テグスを
とおしたのは
どういうわけ
ですか
そいつは
三平から
聞いてみないと
わからんが
日本一月釣行
わしが思うには
釣り人ちゅうもんは
一厘でも細いテグスで
魚を釣りあげることに
ほこりをもってる
もんじゃし とくに
渓流釣りは テグスの
細い大いに かなり
神経をつかう
三平は
こんな太い
テグスをつかうのは
はじめてじゃから
魚にテグスを
発見されやしまい
かと 心配したん
じゃろう
その結果——
どうせ発見される
テグスならば
思いきって
見えるように
してやれ
ちゅう気持ちで
つまり
太いイモガラで
カモフラージュ
したわけじゃ
ウ〜〜〜ム
なんとすごい
釣りキチじゃ
ただ
おどろくばかりで
ことばもない

フフフ
魚紳さん
三平が
あの巨鯉を
かけたのは
まぐれじゃて
まぐれに
きまってるだ
えっ!?
新
日本一周釣行脚

あれだけ巨大に
なるまで
だれにも釣られず
病死もしねえで
用心ぶかく生き
ながらえてきた
野鯉が…
こんただ
ゴツイしかけに
かかるわけがねえ
…それに
いったん
とおりすぎた
はずのものが
ひきかえしてきて
かかるのも
みょうな話じゃ

しかし
それは
三平くんが
なにか秘密の
しかけを
しておいた
とか…
特殊な
集色剤(魚を
あつめる においの
いい香料など)を
つかったとか
…

そういうことも
あるかも
しれねえが
ようするに
…
三平には
あの巨鯉を
なにがなんでも
釣ろう!!
ちゅう気迫が
あったん
じゃろう
釣りには
この気迫が
まず
たいせつじゃ

気迫!?
そうじゃいまはやりのことばでいえば念力みてえなもんじゃな……
一平じいさんとってもいい話を聞きました
カッパ伝説に異味をもち予定外のこの三日月湖に立ちよったわけだが……
これで釣り行脚にいい思い出ができました
こんなすばらしい釣りキチ少年に会えたんですから……
もういくけえ
三平くんにぜひ海をやらせてみたい……
海!?

三日月湖の野鯉の巻　おわり

あとがき

矢口高雄

たとえば、マンボウという魚がいる。ボクがこの魚をはじめてみたとき、なんと奇妙な形の魚だろうと思った。いや、正直なところ、およそ魚らしくない魚というイメージだった。水族館などをみてまわると、そんなイメージをいだく魚が多い。

では、〝魚らしい魚〟とは、どんな魚……？　ボクの答えは「鮭」であり「鯉」である。つまり、〝らしい〟というイメージは、その人間が生まれ育ち、成長するなかで最も身近に親しんだものが基本になっているように思う。

鮭は、山あいの村で育ったボクにとって、こよなくおいしい魚であった。いつでも食べられたわけではない。「紅いトト」と呼ばれ、正月や祝いごとのときでなければ食べられない高級魚だった。そんな遠い存在が、ぎゃくにあこがれとなって、お魚屋さんの店さきにならべられた鮭の姿が強く印象づけられたのだろう。しかし鯉はボクにとって、子どものころより最も身近な存在であった。

ボクの生家は、奥羽山脈の山あいの小さな村の農家である。七十戸あまりの家があるが、どこの家にもかならず一、二個の池がある。池の目的の一つは防火用水である。さらに農具の泥をおとしたり、野菜を洗ったりする洗い場の役目もある。そして最後は養鯉場というわけ。海から遠く、海産の魚介類に不自由だったかつては、この池の鯉が村人の重要な魚類蛋白源だった。

田植えもおわり、苗代が休耕となる初夏に、きまって村をおとずれる男がいた。男は、二個の大きなタライを天秤棒でかつぎ、「フナッコいらねえかーっ！」とふれまわった。フナッコとは、体長二センチたらずの鯉の稚魚のことである。ふれ声にさそわれて家々からは、バケツや洗面器をもった主人や主婦がとびだし、百匹、二百匹と買いもとめた。買った稚魚は、休耕となった苗代に放流される。苗代は水温が高いので、稚魚の育成にはもってこいらしい。こまるのは、ときどきゴイサギがやってきて稚魚を捕えることだった。だから、どこの家でも稚魚を放流するや、青草を刈ってきて苗代一面にほうりこんだ。青草はゴイサギの攻撃にそなえた稚魚たちの隠れみのだったし、同時に腐れば格好の堆肥となった。

こうして、一夏苗代ぐらしをした稚魚たちは、秋には二十センチばかりに成長し、池にうつしかえられる。秋の鯉の収獲は、じつにたのしいものだった。苗代の水をぬき、あちこちに逃げまどう鯉をバケツ片手に泥まみれになりながら追いまわすのである。ほとんど真鯉だったが、なかには緋鯉や、白や黄色や、三色鯉なんかの変わりものがまじっていたりすると、ことのほかうれしいものだった。

しかし、そのうれしさが他家のことだったら、たちまち羨望に変わった。なかでも地主の池には、いつもそうした赤や黄色や三色鯉が悠然と泳いでいて、子ども心にもうらやましいものだった。ボクら悪童たちのあいだで、泥棒釣りがはやったのはそのころのことである。地主の池をターゲットに、なるべく大きな三色鯉を盗み釣って、わが家の池にはなそうというのである。池の鯉だから、ハリを投げこめばたちまち食いついてくれる。だからかんたんと思いがちだが、じっさいはそうはいかない。釣りあげる瞬間に、けたたましい水音がたつからである。水音で地主に気づかれたらアウトである。なにしろ地主の池は、縁側のすぐそばにあって、おやじのせきばらい一つがきこえただけで逃げ

かえったことが何度もあった。

どうにかして水音をたてないで釣る方法はないものかが、当時のボクのテーマであった。考えに考えたあげく妙案がうかんだ。メガホン状の筒をつくり、その中に釣り糸をとおし、鯉がかかったら水中でその筒の中に引きこんであげれば……。思いたったら即実行あるのみ！　メガホンの材料は、やねをふく杉の皮だった。杉の皮をまるめ、ハリガネでしばってできあがり。それをこわきにかかえ、地主の池へスタコラ……。腹ばいで垣根をくぐりぬけた目のまえが池だった。池には悠然と泳ぎまわる赤、白、黄、三色……。

ゴクリと生ツバを飲みこみながら、ハリを投げこんだ。ハリはうまいぐあいに、五十センチもある三色鯉の口もとにおちたからたまらない。スッと吸いこんだ瞬間、ボクは鋭くあわせた。とたんに肩が抜けるかのような衝撃がはしった。ボクはもう必死だった。心臓がドクドク脈うって、いまにも破裂しそうだった。二、三分のファイトも二、三十分に感じられた。やっと鯉が弱って手もとによってきたのをみたとき、ボクは気をとりなおした。静かに、慎重に糸をたぐりながら、ソッとメガホンを池の中につっこみ、グイとその中に鯉を引きこんだ。地主の家の中からせきばらいが一つきこえた気がしたときには、ボクはメガホンの中でもだえる三色鯉をしっかりとだきかかえ、一目散にわが家へむかっていた。泥棒釣り大成功の一幕であった。当然、その三色鯉はその日からわが家の池を泳ぎまわり、悪童たちに鼻高々のボクだったことはいうまでもない。

他人のものをぬすみとる行為は、今も昔も悪事にかわりはない。しかし、悪事なるがゆえにたのしく、興奮した少年の日の想い出は、なつかしいの一言でかたづけるには、あまりにも惜しい気がしてならない。

（一九八五・八・一二）

あなたは、この本を読んで、どんな感想をおもちになりましたか。

編集部では、この本についての読者のみなさまのご意見をおまちしています。

このつぎには、どんな作家のどんな漫画を読みたいと、お考えですか。「KCスペシャル」にしてほしいと思う作品がありましたら、「読後の感想」とあわせて、左記あてに、どしどしお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号一一二―〇一〉
「講談社コミックス」編集部
KCスペシャル係

KCスペシャル―160
釣りキチ三平―第四集
一九八五年九月六日 第一刷発行
一九九七年一月十日 第二十三刷発行
定価はカバーに表示してあります。

著者 矢口高雄
発行者 山野勝
発行所 株式会社講談社
東京都文京区音羽二―一二―二一
郵便番号一一二―〇一
電話 編集部(〇三)五三九五―三四五九
販売部(〇三)五三九五―三六〇八
印刷所 廣済堂印刷株式会社
製本所 誠和製本株式会社

©矢口高雄 一九八五年
落丁本・乱丁本は、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。
電話(〇三)五三九五―三六〇三
なお、この本についてのお問い合わせは、週刊少年マガジン編集部宛にお願いいたします。
本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き禁じられています。

ISBN4-06-101160-X (マ) Printed in Japan